

第 4 学 年

シ ラ バ ス

2025

Syllabus

日本歯科大学新潟生命歯学部

基 本 理 念

本学は、高等の教育機関として、広く知識を授けると共に、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道德的及び応用的能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする（学則第1条）。

教 育 の 目 標

- 1) 幅広い教養と倫理観を持った医療人を育成する。
- 2) 問題を発見し解決する能力を持った医療人を育成する。
- 3) コミュニケーション能力のすぐれた医療人を育成する。
- 4) 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人を育成する。
- 5) 科学的根拠に立脚した医療を実践できる医療人を育成する。
- 6) 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人を育成する。
- 7) 高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人を育成する。
- 8) 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人を育成する。
- 9) 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人を育成する。
- 10) 世界をリードする国際性を有する医療人を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

修業年限以上在籍し，所定の単位数を修得するとともに，以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

- ・生命体との関連性に幅広い知識を有し，必要に応じて応用できる能力
- ・幅広い教養と倫理観を持つプロフェッショナリズムを備えた医療人として行動できる能力
- ・根拠に立脚した歯科医学知識を生涯学び続け，患者の問題を発見し解決する能力
- ・高いコミュニケーション能力を身につけ，患者および医療系多職種と良好な連携が構築できる能力
- ・専門に偏らない幅広い知識を身につけ，その基本的技能を実践する能力
- ・超高齢社会に対応した地域包括ケアを実践できる能力
- ・医療人として国際社会において幅広く活動できる能力
- ・生涯にわたり自らの能力向上のため研鑽する能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

建学の精神である「自主独立」のもと，ディプロマポリシー（学位授与方針）に掲げる人材を育成するために，以下の通りカリキュラムを編成している。

- ・ディプロマ・ポリシー達成のため，シラバスに全授業科目の到達目標，学習方略，評価方法を明記し，学習計画を提示します。
- ・歯科医学と生命体との関連性を念頭においた一貫教育を実施します。
- ・初期教育として歯科医学生に必要な自然科学，人文・社会科学，語学教育，情報科学教育を行うとともに，医療人の基礎となるコミュニケーション能力，倫理観，プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。
- ・医療英語コミュニケーション学習や姉妹校への短期留学により，医療従事者としての国際感覚を醸成します。
- ・PBLテュートリアルにより，論理的思考に基づく問題解決能力，科学的探究心を養成します。
- ・歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とした基礎医学，臨床歯科医学に関する教育を実施するとともに，臨床能力の習得をめざし基礎と臨床を統合した教育を実施します。

- 診療参加型臨床実習の準備教育として、臨床実習前に臨床歯科学の講義による知識の習得のみならず、臨床基礎実習（シミュレーション実習）による技能・態度の習得を目指した教育，ならびに医療スタッフの一員として参加するに必要な社会歯科学の教育を実施します。
- 学生が医療スタッフとして参加し，その一員として診療業務を分担しながら，歯科医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶため診療参加型臨床実習を実施します。
- 超高齢者社会のニーズに対応できる歯科医師を目指して，訪問歯科診療の臨床実習を実施します。
- 全身管理および他職種連携を常に念頭においた臨床実習を実施します。
- 教育課程の進級審査において，シラバスに目標として掲げられた能力を適正に評価します。

シラバス

1. シラバスとは

履修する上での必要な要件を詳細に示した授業計画をいう。

2. シラバスの役割

- 1) 授業科目についての詳細な内容と計画が示されている。
- 2) 学生の教室外における予習復習の指針となる。
- 3) 試験に際しては、試験範囲等勉強の指針となる。
- 4) 学生に履修科目選択のための情報を提供する。

3. シラバスの構成

- 1) 一般目標 (GIO)
学習により期待される成果を示す。
- 2) 行動目標 (SBOs)
学習者の到達すべき行動目標を示す。
- 3) 学習方略
目標に到達するために必要な学習方法を示す。
- 4) 評価方法
目標まで達成されたかどうかを判定するための評価方法を示す。
- 5) 授業内容
授業によって学生が何を学習できるかを示す。
- 6) 準備学習
受講における予習・復習の具体的な内容を示す。
- 7) オフィスアワー
質問や相談に応じるために設定した曜日・時間・場所等を示す。

授業科目一覧表

No.	科 目	前 期	後 期
1	医 療 倫 理	※ ※ ※	
2	医 療 法 律 学		※ ※ ※
3	歯科医療コミュニケーション実習		※ ※ ※
4	歯 科 法 医 学	※ ※ ※	
5	医療情報・医療管理学	※ ※ ※	
6	歯 科 薬 剤 学	※ ※ ※	
7	歯科麻酔と救急処置	※ ※ ※	※ ※ ※
8	口腔顎顔面外科手術学		※ ※ ※
9	口腔外科学・全身管理学実習		※ ※ ※
10	保存修復学実習	※ ※ ※	
11	歯 内 療 法 学 実 習		※ ※ ※
12	歯周疾患治療学実習	※ ※ ※	
13	小 児 歯 科 学	※ ※ ※	
14	小 児 歯 科 学 実 習	※ ※ ※	
15	部分床義歯補綴学	※ ※ ※	
16	部分床義歯補綴学実習		※ ※ ※
17	全部床義歯補綴学実習	※ ※ ※	
18	歯冠補綴架工義歯学	※ ※ ※	
19	歯冠補綴架工義歯学実習	※ ※ ※	※ ※ ※
20	口腔顎顔面外科学	※ ※ ※	
21	口腔顎顔面外科診断治療学		※ ※ ※
22	高 齢 者 歯 科 学	※ ※ ※	
23	障 害 者 歯 科 学		※ ※ ※
24	歯 科 心 身 医 学	※ ※ ※	
25	臨床診査・検査学	※ ※ ※	
26	歯 性 感 染 症		※ ※ ※
27	顎咬合診断・口腔インプラント学		※ ※ ※
28	口腔インプラント学実習		※ ※ ※
29	歯科医のための内科学	※ ※ ※	※ ※ ※
30	外 科 学		※ ※ ※
31	耳 鼻 咽 喉 科 学		※ ※ ※
32	総合歯科医学演習		※ ※ ※
科 目 総 数		18	17

新潟生命歯学部の授業科目等

授 業 料 目	単位数	計	授 業 料 目	単位数	計
医学概論・歯科医学史	1.50	1.50	解 剖 学	3.00	9.75
早期臨床実習Ⅰ・Ⅱ	1.00	1.00	解 剖 学 実 習	2.00	
臨床から振り返る基礎学	1.50	1.50	口 腔 解 剖 学	1.50	
初 年 次 セ ミ ナ ー	1.50	1.50	口 腔 解 剖 学 実 習	1.00	
プ ロ フ ェ ッ シ ョ ン	2.00	2.00	発 生 学	0.75	
社 会 学	1.50	1.50	人 類 学	1.50	
自由科目	経 済 学	1.50	基礎歯科医学補講Ⅱ(解剖)	0.00	4.00
	ドイツの生活と情報	1.50	組 織 学	1.50	
青 年 心 理 学	1.50	2.25	口 腔 組 織 学	1.50	
臨 床 心 理 学	0.75		組織・口腔組織学実習	1.00	
原 子 核 と 放 射 線	1.50	4.50	基礎歯科医学補講Ⅰ(組織)	0.00	4.00
物質の構造と反応	1.50		生 理 学	3.00	
生命の連続性と遺伝子	1.50		生 理 学 実 習	1.00	
熱と物質の物理	3.00	3.00	基礎歯科医学補講Ⅱ(生理)	0.00	5.50
基礎科学補講Ⅰ(物理)	0.00		感 染 微 生 物 学	3.00	
基礎科学演習(物理)	0.00		生 体 防 御 学	1.50	
生 体 物 質 の 化 学	3.00	3.00	感染微生物学・生体防御学実習	1.00	
基礎科学補講Ⅱ(化学)	0.00		基礎歯科医学補講Ⅰ(微生物)	0.00	4.00
基礎科学演習(化学)	0.00		病 理 学	1.50	
細 胞 の 生 物 学	3.00	3.00	口 腔 病 理 学	1.50	
基礎科学補講Ⅱ(生物)	0.00		病 理 診 断 学 実 習	1.00	4.00
基礎科学演習(生物)	0.00		薬 物 療 法 学	1.50	
自然現象の数学	3.00	3.00	歯 科 薬 物 療 法 学	1.50	
環 境 学 の 基 礎	1.50	1.50	歯科薬物療法学実習	1.00	
歯 学 入 門 実 習	2.00	2.00	基礎歯科医学補講Ⅰ(薬理)	0.00	5.50
国 語 表 現 法	3.00	3.00	歯 科 薬 剤 学	1.50	
総 合 英 語	1.50	5.25	歯 科 理 工 学	4.50	
実用医学英語Ⅰ	1.50		歯 科 理 工 学 実 習	1.00	3.00
実用医学英語Ⅱ	0.75		歯 科 放 射 線 学	3.00	
英 語 会 話	1.50		歯科麻酔と救急処置	3.00	
基 礎 独 語	1.50	1.50	口腔顎顔面外科手術学	1.50	3.10
情 報 科 学 の 実 習	1.00	1.00	口腔外科学・全身管理学実習	1.60	
医 療 倫 理	0.75	0.75	保 存 修 復 学	3.00	4.60
医 療 法 律 学	1.50	1.50	保 存 修 復 学 実 習	1.60	
社 会 歯 科 入 門	0.75	0.75	歯 内 療 法 学	3.00	4.60
歯科医療コミュニケーション実習	0.80	0.80	歯 内 療 法 学 実 習	1.60	
ファンダメンタルスキル実習Ⅰ・Ⅱ	0.75	0.75	歯 周 疾 患 治 療 学	3.00	4.00
健 康 科 学 Ⅰ	1.50	1.50	歯 周 疾 患 治 療 学 実 習	1.00	
健 康 科 学 Ⅱ	0.75	0.75	有 床 義 歯 学 Ⅰ	1.50	3.00
歯 科 法 医 学	0.75	0.75	有 床 義 歯 学 Ⅱ	1.50	
医療情報・医療管理学	0.75	0.75	有 床 義 歯 学 実 習	1.60	1.60
基礎口腔保健学	1.50	3.50	歯 科 矯 正 学	3.00	4.00
地 域 口 腔 保 健 学	1.50		歯 科 矯 正 学 実 習	1.00	
口 腔 保 健 学 実 習	0.50		小 児 歯 科 学	3.00	4.00
生 化 学	1.50	3.50	小 児 歯 科 学 実 習	1.00	
口 腔 生 化 学	1.50		部分床義歯補綴学	1.50	3.10
分子生命科学実習	0.50		部分床義歯補綴学実習	1.60	
基礎歯科医学補講Ⅰ(生化)	0.00		全部床義歯補綴学実習	1.60	1.60

授 業 料 目	単位数	計
歯冠補綴架工義歯学	3.00	6.20
歯冠補綴架工義歯学実習	3.20	
口腔顎顔面外科学	4.50	6.00
口腔顎顔面外科診断治療学	1.50	
高齢者歯科学	1.50	1.50
障害者歯科学	0.75	0.75
歯科心身医学	0.75	0.75
専門歯科治療概論	1.50	1.50
医療統計学	0.75	0.75
生体機能調節学	1.50	1.50
地域包括ケア学Ⅰ	1.50	1.50
地域包括ケア学Ⅱ	1.50	1.50
地域包括ケア学実習	0.80	0.80
材料科学	1.50	1.50
顎口腔運動制御学	0.75	0.75
唾液と唾液腺	0.75	0.75
臨床診査・検査学	1.50	1.50
口腔腫瘍学	1.50	1.50
歯性感染症	0.75	0.75
顎咬合診断・口腔インプラント学	1.50	2.30
口腔インプラント学実習	0.80	
歯科医学入門演習	2.00	4.00
歯科症候学演習	2.00	
歯科医のための内科学	3.00	3.00
外科学	1.50	1.50
耳鼻咽喉科学	1.50	1.50
臨床（病院）実習	10.00	10.00
基礎医学演習	1.00	1.00
総合基礎医学演習	1.00	1.00
総合歯科医学演習	1.00	1.00
臨床歯学探究	1.00	1.00
総合科目①②③	6.00	6.00
包括歯科医学	2.00	2.00
合 計	200.45	

第4学年 授業科目 目次

－ 前 期 －

医 療 倫 理	12
歯 科 法 医 学	14
医療情報・医療管理学	16
歯 科 薬 剤 学	18
歯科麻酔と救急処置	20
保存修復学実習	22
歯周疾患治療学実習	24
小 児 歯 科 学	26
小 児 歯 科 学 実 習	28
部分床義歯補綴学	30
全部床義歯補綴学実習	32
歯冠補綴架工義歯学	34
歯冠補綴架工義歯学実習	36
口腔顎顔面外科学	38
高 齢 者 歯 科 学	40
歯 科 心 身 医 学	42
臨床診査・検査学	44
歯科医のための内科学	46

－ 後 期 －

医 療 法 律 学	50
歯科医療コミュニケーション実習	52
歯科麻酔と救急処置	54
口腔顎顔面外科手術学	56
口腔外科学・全身管理学実習	58
歯 内 療 法 学 実 習	60
部分床義歯補綴学実習	62
歯冠補綴架工義歯学実習	64
口腔顎顔面外科診断治療学	66
障 害 者 歯 科 学	68
歯 性 感 染 症	70
顎咬合診断・口腔インプラント学	72
口腔インプラント学実習	74
歯科医のための内科学	76
外 科 学	78
耳 鼻 咽 喉 科 学	80
総合歯科医学演習	82

第4学年 前期授業科目 目次

医 療 倫 理	12
歯 科 法 医 学	14
医療情報・医療管理学	16
歯 科 薬 剤 学	18
歯科麻酔と救急処置	20
保存修復学実習	22
歯周疾患治療学実習	24
小 児 歯 科 学	26
小 児 歯 科 学 実 習	28
部分床義歯補綴学	30
全部床義歯補綴学実習	32
歯冠補綴架工義歯学	34
歯冠補綴架工義歯学実習	36
口腔顎顔面外科学	38
高 齢 者 歯 科 学	40
歯 科 心 身 医 学	42
臨床診査・検査学	44
歯科医のための内科学	46

医療倫理

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
石井 瑞樹	4	前期	火曜日	9:00～10:20	412 番教室

科目の到達目標（GIO）

歯科医師としての責務を全うするために、歯科医学研究および歯科医療における倫理と患者とのコミュニケーションの重要性を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	石井拓男, 尾崎哲則, 平田創一郎, 平田幸夫 編集	スタンダード 社会歯科学 (第2学年時に購入)	第8版	学建書院
参考書	日本歯科医学教育学会 倫理・プロフェッショナリズム教育委員会 編	よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナリズム教育プロフェッションワークブック	第1版	医歯薬出版
	日本疫学会 監修	はじめて学ぶ やさしい疫学	改訂第3版	南江堂

学習方略（重複可）

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議（PBL, TBLを含む） ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（90%） ☐ 論述試験（ %） ☐ 口頭試験（ %） ☐ レポート（ %）
☐ 実地試験（ %） ☐ ポートフォリオ（ %） ☐ シミュレーションテスト（ %）
☐ 観察記録（ %） ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（10%）

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験（90%）と、講義への出席および態度（10%）により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火曜日 時間帯：16:00～17:00 場所：院務部内の病院情報処理室（総合受付内 新潟病院1階）

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
6月10日	石井 瑞樹	プロフェッショナリズム・患者の権利	1) プロフェッショナリズムとは何かを概説する。(A-1-3)-①) 2) 歯科医師がプロフェッションであることを説明する。(A-1-3)-①) 3) 患者の権利を説明する。(A-1-2)-①) 4) 医の倫理の歴史経過と諸問題を概説する。(A-1-1)-1)
	準備学習と時間	準備学習：15分 スタンダード社会歯科学第8版 p1-5を事前に読む。	
6月17日	石井 瑞樹	医の倫理	1) 医の倫理に関する規範・国際規範を概説する。(A-1-1)-2) 2) バイオエシックスについて概説する。(A-1-1)-1, ④) 3) 生と死に関わる倫理的問題を説明する。(A-1-1)-3)
	準備学習と時間	準備学習：15分 スタンダード社会歯科学第8版 p6-9を事前に読む。	
6月24日	石井 瑞樹	患者の自己決定権	1) 患者の自己決定権を説明する。(A-1-2)-2) 2) 患者が自己決定できない場合の対応を説明する。(A-1-2)-3)
	準備学習と時間	準備学習：10分 スタンダード社会歯科学第8版 p14-15 (患者の権利と義務, 自己決定権)を事前に読む。	
7月1日	石井 瑞樹	インフォームド・コンセント事例検討	1) インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明する。(A-1-2)-④) 2) 患者の権利を説明する。(A-1-2)-1)
	準備学習と時間	準備学習：15分 スタンダード社会歯科学第8版 p10-14を事前に読む。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
7月8日	石井 瑞樹	臨床倫理4分割 AI社会の原則	1) 臨床倫理の四分割表を説明する。(A-1-1)-③) 2) AIの活用における基本原則を説明する。(A-1-1)-⑤) 3) ICT社会における倫理的問題を説明する。(A-1-1)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 スタンダード社会歯科学第8版 p20-23を事前に読む。	
7月15日	田中 彰	健康危機管理	1) 災害による健康の影響を述べる。(B-2-2)-⑪) 2) 災害時における歯科医療支援の必要性について述べる。(B-2-2)-⑪) 3) 災害発生から歯科医療支援を行う時期について述べる。(B-2-2)-⑪) 4) トリアージの概要について説明する。(B-2-2)-⑪)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 1学年時の健康科学講義「健康危機管理」の復習をする。	
7月22日	石井 瑞樹	コミュニケーション 医療面接	1) コミュニケーションの目的と技法を説明する。(A-7-1)-1) 2) コミュニケーションの条件を説明する。(A-7-1)-2) 3) コミュニケーションが良好な人間関係構築に関係することを説明する。(A-7-1)-3) 4) 医療面接に必要な知識を説明する。(A-7-2)-1, ⑥-⑧)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 スタンダード社会歯科学第8版 p28-40(医療面接)を事前に読む。	

歯科法医学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
岩原 香織	4	前期	火曜日	9:00～10:20	412 番教室

科目の到達目標（GIO）

社会に貢献できる歯科医師になるために、基礎歯科医学、臨床歯科医学の知識を整理し、医療に関わる社会的問題や法的問題を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	高橋雅典 監修，都築民幸・山田良広・櫻田宏一 編集	法歯科医学 基礎知識から臨床・災害時の対応まで	第2版	永末書店
参考書	佐藤喜宣 編著	臨床法医学テキスト	第2版	中外医学社

学習方略（重複可）

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む） ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（80%） ☒ 論述試験（15%） ☐ 口頭試験（ %） ☐ レポート（ %）
☐ 実地試験（ %） ☐ ポートフォリオ（ %） ☐ シミュレーションテスト（ %）
☐ 観察記録（ %） ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（5%）

成績評価方法

行動目標の達成度を評価するために客観（多肢選択式、穴埋め式）試験（80%）および論述（記述式）試験（15%）を実施し、授業への出席状況（5%）を加味したものを成績評価とする。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

質問事項等をまとめ、教務部に問い合わせる。

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
4月8日	岩原 香織	人の死とその証明	1) 死の定義、判定を述べる。(C-5-7)-①) 2) 死亡診断書について述べる。(C-5-7)) 3) 法医解剖を分類する。(B-2-3-②))
	準備学習と時間	準備学習：20分 教科書 p15-16 の「歯科医師による死亡診断書の交付」を確認する。	
4月15日	岩原 香織	死体現象	1) 死体現象を分類する。(B-2-3)) 2) 死後経過時間の推定を説明する。(B-2-3)) 3) 各種死体現象における歯科所見採取を考える。(B-2-3))
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p17-20 を読み、各種死体現象における口腔顔面の状態を考える。	
4月22日	岩原 香織	損傷	1) 損傷を分類する。(E-2-4)-(2)) 2) 損傷、とくに咬傷とその記録について説明する。(B-2-4)-(2)) 3) 成傷機序の推定を説明する。(B-2-4))
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p26-31 を読み、自分が経験した損傷とその成傷機序を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
5月13日	岩原 香織	虐待，子ども虐待	1) 虐待の定義，分類を述べる。(B-2-2)-⑥) 2) 虐待の医科，歯科所見を説明する。(E-4-2)-⑩) 3) 虐待の早期発見と対応を説明する。(E-4-2)-⑩)
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p38-40, 54-64 を読み，歯科医師が行える対応を考える。	
5月20日	岩原 香織	個人識別	1) 個人識別の定義を述べる。(B-2-3)) 2) 個人識別の種類や方法を説明する。(B-2-3)) 3) 性別判定，年齢推定を説明する。(B-2-3))
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p83-129 を読み，個人識別に有用な自分の特徴点を考える。	
5月27日	岩原 香織	歯科的個人識別	1) 歯科的個人識別を説明する。(B-2-3)) 2) 歯科情報の活用を説明する。(B-2-3)) 3) スクリーニングとマッチングを対比する。(B-2-3))
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p156-167 を読み，個人識別に有用な自分の歯科的特徴点を考える。	
6月3日	岩原 香織	災害医学・災害医療	1) 災害医学，災害医療を概説する。(B-2-2)-⑨) 2) 災害医療とトリアージを関係づける。(B-2-2)-⑨) 3) 災害時の歯科医療救護を説明する。(B-2-2)-⑨) 4) 災害時の歯科的個人識別を説明する。(B-2-3))
	準備学習と時間	準備学習：30分 教科書 p181-191 を読み，災害時における歯科医師の活動を考える。	

医療情報・医療管理学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
石井 瑞樹	4	前期	木曜日	10:40～12:00	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

医療機関の開設者または管理者となるために、医療情報システム、医療関係法規、健康保険・社会福祉制度、医療経済および医療政策、医療安全の基本事項を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	一般社団法人 日本歯科医療管理学会	新版 歯科医療管理 -安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために-		医歯薬出版
参考書	石井拓男, 尾崎哲則, 平田創一郎, 平田幸夫 編集	スタンダード 社会歯科学 (第2学年時に購入)	第8版	学建書院
	日本疫学会 監修	はじめて学ぶ やさしい疫学 (第2学年時に購入)	改訂第3版	南江堂

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (90%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (90%) と、講義への出席および態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間帯: 16:00～17:00 場所: 院務部内の病院情報処理室 (総合受付内 新潟病院 1 階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6月12日	石井 瑞樹	歯科医療安全(1)	1) 法に基づく医療機関の医療安全管理体制を説明する。(A-6-1)-⑤) 2) 医療事故と医療過誤の定義を説明する。(A-6-2)-①, ②) 3) 医療事故の発生要因と防止策および事故分析手法を説明する。(A-6-2)-④, ⑤, ⑥) 4) リスクマネジメントについて説明する。(A-6-2)-③), (A-6-3)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 15 分 教科書 p62-69, スタンダード社会歯科学 (参考書) p133-139 を読む。	
6月19日	石井 瑞樹	歯科医療安全(2)	1) 施設内の感染予防管理について説明する。(A-6-1)-⑤) (A-6-3)-①, ②) 2) 感染性廃棄物の処理方法を説明する。(A-6-1)-⑤) 3) 災害時における安全確保と管理を説明する。(A-6-1)-⑤) 4) 医療過誤の民事責任と刑事責任を説明する。(A-1-3)-④)
	準備学習と時間	準備学習: 15 分 教科書 p74-97 を読む。	
6月26日	石井 瑞樹	医療情報管理(1)	1) 医療情報の特徴および情報共有について説明する。(A-1-3)-③), (B-4-3)-①) 2) 情報倫理を説明する。(A-1-1)-⑤) 3) 診療に関する記録 (診療録, 処方せん, その他の指示書) を説明する。(B-4-3)-①, ②) 4) 診療情報の電子化の概念と電子情報の利用について説明する。(B-4-3)-①)
	準備学習と時間	準備学習: 15 分 教科書 p115-135 を読む。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
7月3日	石井 瑞樹	医療情報管理(2)	1) 病診連携を念頭入れた診療情報の提供について説明する。(A-4-2)-⑦) 2) 情報倫理を説明する。(A-1-1)-⑤) 3) 医療機関における個人情報保護を説明できる。 (A-1-1)-⑤), (A-4-3)-①)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 事前に教科書 p115-135 を読む。	
7月10日	石井 瑞樹	医療保険制度とかかりつけ 歯科医機能, 医療連携	1) 健康保険関連法や医療経済および医療政策について説明する。 (B-2-2)-②, ③) 2) かかりつけ歯科医機能を説明する。(A-7-1)-④) 3) 患者中心のチーム医療の意義を説明できる。(A-5-1)-①) 4) 医療チームのメンバーの役割と連携を説明する。(A-5-1)-①, ②) 5) 保健・医療・福祉の連携を理解し, 歯科医師の役割を説明する。 (A-5-1)-③)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 教科書 p158-172, 185-212, 214-223 を読む。	
7月17日	石井 瑞樹	歯科医療関係法規(1)	1) 歯科医師法を概説する。(B-2-1)-①) 2) 歯科衛生士法と歯科技工士法を概説する。(B-2-1)-③) 3) 医師法, 薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説する。 (B-2-1)-④)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 スタンダード社会歯科学(参考書)のp74-90を読む。	
7月24日	石井 瑞樹	歯科医療関係法規(2)	1) 医療法を概説する。(B-2-1)-②) 2) 薬事衛生法規, その他の医療関係法を概説する。(B-2-1)-④)
	準備学習と時間	準備学習: 15分 スタンダード社会歯科学(参考書)のp51-73, p113-129を読む。	

歯科薬剤学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
福井 佳代子	4	前期	木曜日	14:40～16:00	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯科臨床において医薬品を有効かつ安全に使用するために、歯科医師として処方に必要な医薬品に関する薬学的、薬剤学的知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	大谷啓一ほか	現代歯科薬理学	第6版	医歯薬出版
参考書	金子明寛ほか	歯科におけるくすりの使い方 2019 - 2022		デンタルダイヤモンド社
	西田次郎ほか	歯科のための内科学	改訂第4版	南光堂

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (85%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☒ レポート (10%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (5%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (85%), 毎回の課題 (10%) と, 毎回の講義の際のソクラテスを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (5%) により評価を行う。
--

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日～金曜日 時間帯: 16:30～17:00 場所: 薬理学講座研究室 (5号館3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	竹野 敏彦	医薬品と法律	1) 「医薬品, 医療機器等の品質, 有効性及び安全性の確保等に関する法律」を説明できる。(C-6-1)-① 2) 医薬品に関わる臨床試験を説明できる。(A-1-1)-⑥ 3) 医薬品の保管・保存条件を説明できる。(C-6-1)-① 4) 日本薬局方を説明できる。(C-6-1)-③
	準備学習と時間	準備学習: 10分 教科書「現代歯科薬理学」p85-92を参考に講義テーマについて学習する。	
4月17日	竹野 敏彦	患者背景と医薬品の剤形	1) 毒薬・劇薬, 麻薬の取り扱いを説明できる。(C-6-1)-② 2) 剤形分類と特徴を説明できる。(C-6-1)-①, ③, C-6-3)-① 3) 剤形体内動態の違いを説明できる。(C-6-3) ①, ② 4) 患者の状態にあった剤形を説明できる。(C-6-3)-①
	準備学習と時間	準備学習: 10分 教科書「現代歯科薬理学」p93-94を参考に講義テーマについて学習する。	
5月8日	竹野 敏彦 高橋 彬子	添付文書と医薬品情報	1) 添付文書の法的背景を理解する。(C-6-4)-① 2) 添付文書の歯科薬物療法における適応症を説明できる。(C-6-1)-① 3) 添付文書の歯科薬物療法における注意事項を説明できる。(C-6-2)-② 4) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) からの添付文書情報の確認を説明できる。(A-6-2)-③
	準備学習と時間	準備学習: 10分 教科書「現代歯科薬理学」p93 および PMDA の医療用医薬品 情報検索を参考に講義テーマについて学習する。	
5月15日	竹野 敏彦 高橋 彬子	処方箋作成	1) 歯科医師法に基づく処方箋記載事項を説明できる。(B-2-2)-①, ④, E-1-1)-⑨ 2) 処方箋作成時に必要な確認事項を説明できる。(E-1-1)-③, ④, ⑧, ⑨ 3) 添付文書から適応症を確認し, 投与量を決定する。(C-6-2)-④ 4) 小児用量を決定する。(C-6-2)-④ 5) 麻薬処方箋作成時の注意点を説明できる。(E-1-1)-⑨ 6) 処方後の注意事項を説明できる。(E-1-1)-⑧
	準備学習と時間	準備学習: 10分 教科書「現代歯科薬理学」p94-95を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月22日	竹野 敏彦	医薬品副作用被害救済制度と歯科の代表的な副作用	1) アスピリン喘息を説明できる。(C-6-4)-①) 2) アセトアミノフェンと OTC 薬の相互作用を説明できる。(C-6-4)-①) 3) 低カルニチン血症を起こす代表的な薬剤を列挙する。(C-6-4)-①) 4) ビスホスホネートによる顎骨壊死を説明できる。(C-6-4)-①, E-1-1)-⑧) 5) 抗コリン作用を有する薬剤の副作用を説明できる。(C-6-4)-①) 6) 味覚異常を起こす代表的な薬剤と対応策を説明できる。(C-6-4)-①) 7) 医薬品副作用被害救済制度を説明できる。(A-6-2)-③)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」p214-216, p253-257 を参考に講義テーマについて学習する。 PMDA のホームページより医薬品副作用被害救済制度について確認する。	
5月29日	竹野 敏彦	歯科治療で注意しなければならない血液凝固能関連薬 医科の代表的な疾患と処方 の注意点	1) 凝固能に影響する薬剤の注意点を説明できる。(C-6-4)-①) 2) 医科の代表的な疾患を説明できる。(C-3-4)-(7), (8), C-5-4)) (循環器疾患, 消化器疾患, 呼吸器疾患) 3) 医科の代表的な疾患で処方される薬剤を理解する。(E-1-4)-(1)-⑤) 4) 医科の代表的な疾患に処方される薬剤と歯科処方薬の相互作用を説明できる。(E-1-4)-(1)-⑤) 5) 精神疾患治療薬の歯科における注意点を説明できる。(E-1-4)-(1)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」p175-187, p214-216 を参考に講義テーマについて学習する。 参考書「歯科のための内科学」で循環器疾患, 消化器疾患, 呼吸器疾患の病態の講義テーマについて学習する。	
6月5日	福井佳代子	抗菌薬の種類と副作用	1) 抗菌薬の種類と副作用を説明できる。(C-6-4)-①) 2) 抗菌薬の種類と吸収, 代謝等を説明できる。(C-6-3)-②) 3) 抗菌薬の種類と使い分けを説明できる。(C-6-3)-①) 4) 抗真菌薬, 抗ウイルス薬の種類と使い分けを説明できる。(C-6-4)-①)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」24 章 p265-293 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月12日	福井佳代子	抗炎症薬, 鎮痛薬の種類と副作用	1) 抗炎症薬, 鎮痛薬の種類と特性を説明できる。(C-6-3)-①) 2) 抗炎症薬, 鎮痛薬の種類と副作用を説明できる。(C-6-4)-①) 3) 抗炎症薬, 鎮痛薬の種類と使い分けを説明できる。(C-6-3)-①) 4) 麻薬性鎮痛薬の種類と副作用を説明できる。(C-6-4)-①) 5) がん性疼痛治療における除痛ラダーについて説明できる。(C-6-3)-①)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」23 章 p246-264 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月19日	福井佳代子	歯科薬物療法における医薬品の重篤な副作用・相互作用	1) 血液障害, 皮膚障害を起こす代表的な薬剤を列挙する。(C-6-4)-①) 2) 歯肉増殖, 口腔乾燥症, 味覚異常を起こす代表的な薬剤を列挙する。(C-6-4)-①) 3) 歯科薬物療法における代表的な相互作用を列挙する。(C-6-2)-⑥)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」8 章 p67-79 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月26日	福井佳代子	漢方薬	1) 漢方の基本概念と種類を説明できる。(C-6-2)-②) 2) 漢方薬の種類と副作用を説明できる。(C-6-4)-①) 3) 歯科治療における漢方薬の使い分けを説明できる。(C-6-3)-①)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」35 章 p394-397 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月3日	福井佳代子	与薬法	1) 与薬法の種類を説明できる。(C-6-3)-①) 2) 与薬法毎の長所, 短所を説明できる。(C-6-3)-②) 3) 患者に最適な与薬法を選択する。(C-6-1)-①, ③)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」5 章 p45-47 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月10日	福井佳代子	体内動態(吸収, 分布, 代謝, 排泄)と薬理作用に影響する因子	1) 薬物の体内動態を説明できる。(C-6-3)-②) 2) 体内動態に関係するパラメーターを説明できる。(C-6-3)-②) 3) 体内動態に影響する薬物相互作用を説明できる。(C-6-2)-④) 4) 用量と反応の関係を説明できる。(C-6-2)-④) 5) 連用による作用について説明できる。(C-6-2)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」2, 5, 7 章 p8-11, 44, 47-55, 62-66 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月17日	福井佳代子	医薬品適用上の注意	1) ライフステージ毎の薬物動態について説明できる。(C-6-3)-②, E-5-1)-②) 2) 小児の薬物療法における注意を説明できる。(C-6-3)-②) 3) 高齢者の薬物療法における注意を説明できる。(C-6-3)-②, E-5-1)-②) 4) 妊婦の薬物療法における注意を説明できる。(C-6-3)-②, E-6-③) 5) 歯科治療上注意が必要な全身疾患について説明できる。(C-6-3)-②, E-6-①, ②) 6) 全身疾患患者に対する薬物使用上の注意を説明できる。(E-1-4)-(1)-⑤, E-6-①, ②)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」9 章 p80-84 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月24日	福井佳代子	歯科用薬剤の総括	1) 歯科臨床で使用する薬剤についての知識をまとめて説明できる。(C-6-1), 2), 3), 4))
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 教科書「現代歯科薬理学」を参考に今までの講義テーマについて学習する。	

歯科麻酔と救急処置

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
井口 麻美	4	前期	金曜日	9:00～10:20	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

円滑な歯科診療を遂行するために必要な局所麻酔の知識と全身管理に必要な知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	古屋英毅, 東理十三雄編集, 佐野公人, 砂田勝久 編	歯科麻酔・全身管理学の手引き	第5版	学建書院
参考書	今井 裕, 東理十三雄編集, 佐野公人, 砂田勝久 編	有病者歯科学	第1版	永末書店
	一戸竜也, 北畑 洋, 嶋田昌彦, 丹羽 均, 宮脇 卓也 編	歯科麻酔学	第8版	医歯薬出版株式会社

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (60%) ☒ 論述試験 (30%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (60%), 論述試験 (30%), 毎回の講義への出席状況 (遅刻・早退含む), レポートを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。なお, 態度には授業態度, 遅刻, 欠席に加えて, 身だしなみ, 忘れ物を含む。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日, 水曜日, 木曜日
時間: 16:00～18:00 場所: 歯科麻酔学講座研究室 (新潟病院 2 階) ※事前にメールで要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月11日	大橋 誠	歯科麻酔学の役割	1) 麻酔の理論, 諸説, 歴史について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第1章, 第2章を読み要点を確認する。	
4月18日	高橋 靖之	局所麻酔関連する神経生理	1) 神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明する。(C-3-4)-(5)-⑧ 2) シナプスにおける興奮伝達を概説する。(C-3-4)-(5)-⑨ 3) 神経伝達物質の種類と機能を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 40 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第4章3を読み要点を確認する。	
5月9日	井口 麻美	局所麻酔法	1) 局所麻酔の目的を説明する。(E-1-4)-(3)-① 2) 局所麻酔薬を分類し, その作用機序を説明する。(E-1-4)-(3)-② 3) 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明する。(E-1-4)-(3)-③
	準備学習と時間	準備学習: 40 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第4章4を読み要点を確認する。	
5月16日	高橋 靖之	局所麻酔に必要な解剖	1) 末梢神経系の種類, 走行及び支配領域を説明できる。(C-3-4)-(5)-①
	準備学習と時間	準備学習: 50 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第4章9を読み要点を確認する。	
5月23日	井口 麻美	局所麻酔薬の基礎	1) 局所麻酔薬の分類と, その作用機序を説明できる。(E-1-4)-(3)-② 2) 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。(E-1-4)-(3)-③
	準備学習と時間	準備学習: 40 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第4章5, 6, 7を読み要点を確認する。	
5月28日 (水)	井口 麻美 (4月25日 1 限入替)	局所麻酔薬各論 血管収縮薬	1) 局所麻酔薬が全身に与える作用を説明する。 2) 局所麻酔法の種類と特徴を説明する。(E-1-4)-(3)-④ 3) 血管収縮薬の使用目的と種類, 特徴および臨床使用上の注意を説明する。(E-1-4)-(3)-④ 4) 血管収縮薬添加の目的, 種類, 血管収縮薬の薬理, 全身的作用を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第4章8.10を読み要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
5月30日	齋藤 芳秀	局所麻酔と局所的合併症	1) 局所麻酔時の合併症（偶発症）を説明する。(E-1-4)-(3)-(5) 2) 血腫形成, 内出血, キューンの貧血帯, 開口障害, 遷延性知覚麻痺, 咬傷を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 45 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第 5 章 11 を読み要点を確認する。	
6月6日	井口 麻美	局所麻酔と全身的合併症(1)	1) 局所麻酔時の合併症（偶発症）を説明する。(E-1-6)-(1) 2) 神経性ショック, 局所麻酔薬中毒, 過換気症候群, アナフィラキシーショックについて説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 50 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第 5 章 12 を読み要点を確認する。	
6月13日	井口 麻美	局所麻酔と全身的合併症(2)	1) 局所麻酔時の合併症を説明する。(E-1-6)-(1) 2) 既存の全身疾患の増悪について説明する。 3) メトヘモグロビン血症について説明する。 4) 薬剤アレルギーテストについて説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 50 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第 5 章 12 を読み要点を確認する。	
6月27日	高橋 靖之	全身疾患と局所麻酔(1)	1) 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明する。(E-6)-(2) 2) 歯科治療時に注意すべき服用薬剤を説明する。 3) 全身疾患と局所麻酔との関連（高血圧, 虚血性心疾患, 脳血管障害）について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 50 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第 3 章を読み要点を確認する。	
7月4日	井口 麻美	全身疾患と局所麻酔(2)	1) 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明する。(E-6)-(2) 2) 歯科治療時に注意すべき服用薬剤を説明する。 3) 全身疾患と局所麻酔との関連（気管支喘息, 糖尿病, 甲状腺機能亢進症等）について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 50 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第 3 章を読み要点を確認する。	
7月11日	高石 和美 (徳島大学)	バイタルサインと一次救命処置	1) バイタルサインを列举し, 説明する。(E-1-4)-(1)-(1) 2) 一次救命処置の理論と方法を説明する。(E-1-6)-(2) 3) 救急処置に用いられる薬物を列举し, その作用機序を説明する。 (E-1-6)-(3)
	準備学習と時間	準備学習: 40 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第 11 章を読み要点を確認する。	
7月18日	高橋 靖之	局所麻酔と神経損傷	1) 三叉神経痛の原因, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(1) 2) 顔面神経麻痺の原因, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(3) 3) 三叉神経麻痺（感覚麻痺, 運動麻痺）の原因, 症状および治療法を説明する。 (E-2-4)-(4)
	準備学習と時間	準備学習: 50 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第 10 章を読み要点を確認する。	
7月25日	井口 麻美	総括（局所麻酔全般）	まとめ
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 前期講義のノートを読み要点を確認する。	

保存修復学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
鈴木 雅也	4	前期	水曜日	13:00 ~ 17:40	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

口腔の機能および審美性を長期間にわたり適正に維持するために、歯の硬組織実質欠損に対する各種修復法を実施するのに必要な知識と技能を修得し、併せて歯科医師として望ましい態度を身につける。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	日本歯科大学新潟生命歯学部 歯科保存学第2講座	保存修復学実習書		
参考書	千田 彰 他	保存修復学	7	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (5%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☒ シミュレーションテスト (5%)
- ☒ 観察記録 (85%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (5%)

成績評価方法

実習評価は観察記録 (課題, 提出物) の評価 (85%), 客観試験 (5%), シミュレーションテスト (5%) および態度 (5%) で行う。なお, 態度には授業態度, 遅刻, 欠席に加えて, 身だしなみ, 忘れ物を含む。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間帯: 18:00 ~ 19:00 場所: 歯科保存学第2講座研究室 (7号館4階)
 事前にメールで要予約: operativ(at)ngt.ndu.ac.jp

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月9日	海老原 隆 佐藤 史明 高橋 天佑	オリエンテーション 窩洞形成(1)	1) 保存修復学実習の進め方を理解する。 2) 清潔不潔の概念を持って実習を行う。(F-1-2)) 3) 5級コンポジットレジン修復窩洞を説明する。(E-3-3)-(1)-⑥) 4) 5級コンポジットレジン修復窩洞を形成する。(F-3-3)-(①)
		準備学習: 20分 第1回実習書を予習する。	
4月16日	鈴木 雅也 関 秀明 宮野 侑子 若木 卓 山口 耀平	窩洞形成(2) フォーハンド治療	1) 3級コンポジットレジン修復窩洞を説明する。(E-3-3)-(1)-⑥) 2) 3級コンポジットレジン修復窩洞を形成する。(F-3-3)-(①) 3) 歯間分離を行う。(F-3-3)-(①) 4) フォーハンドテクニックを説明する。(F-3-3)-(①)
		準備学習: 20分 第2回実習書を予習する。第1回実習書を復習する。	
4月23日	(非常勤) 片岡 昌士 川嶋 里貴 高橋 弘直 大久保達人 吉田 孝	窩洞形成(3) OSCE 課題 IV-3-5)-(1)	1) 1級コンポジットレジン修復窩洞を説明する。(E-3-3)-(1)-⑥) 2) 1級コンポジットレジン修復窩洞を形成する。(F-3-3)-(①) 3) 齲蝕染色液を用いて感染歯質を除去する。(F-3-3)-(①)
		準備学習: 20分 第3回実習書を予習する。第1回実習書を復習する。	
5月7日	木村 暢 稲葉 友良 須崎 智勝 北村 慶史 田中 紀裕 白野 学	窩洞形成(4) OSCE 課題 IV-3-5)-(1)	1) 2級コンポジットレジン修復窩洞を説明する。(E-3-3)-(1)-⑥) 2) 2級コンポジットレジン修復窩洞を形成する。(F-3-3)-(①) 3) 歯間分離を行う。(F-3-3)-(①) 4) 齲蝕染色液を用いて感染歯質を除去する。(F-3-3)-(①)
		準備学習: 20分 第4回実習書を予習する。第1回実習書を復習する。	
5月16日 (金)	平 賢久 有田 祥子 永井 悠太	窩洞形成(5)	1) 2級メタルインレー修復窩洞を説明する。(E-3-3)-(1)-⑥) 2) 2級メタルインレー修復窩洞を形成する。(F-3-3)-(①)
		準備学習: 20分 第5回実習書を予習する。第1回実習書を復習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月21日 午前	海老原 隆 佐藤 史明 高橋 天佑 鈴木 雅也 関 秀明 宮野 侑子 若木 卓 山口 耀平 (非常勤) 片岡 昌士 川嶋 里貴 高橋 弘直 大久保 達人 吉田 孝 木村 暢 稲葉 友良 須崎 智勝 北村 慶史 田中 紀裕 白野 学 平 賢久 有田 祥子 永井 悠太	窩洞形成(6)	1) 2級コンポジットレジンインレー修復窩洞を説明する。 (E-3-3)-(1)-(6)) 2) 2級コンポジットレジンインレー修復窩洞を形成する。(F-3-3)-(1))
		準備学習: 20分 第6回実習書を予習する。第1回実習書を復習する。	
5月21日 午後		ラバーダム防湿 (多数歯露出法) 補講①	1) ラバーダム防湿 (多数歯露出法) を行う。(F-3-1)-(3))
		準備学習: 20分 第7回実習書を予習する。第1回実習書を復習する。	
6月11日		隔壁装着	1) 隔壁 (トッフルマイヤー型リテーナー) を装着する。(F-3-3)-(1)) 2) ラバーダム防湿を行う。(F-3-1)-(3))
		準備学習: 20分 第8回実習書を予習する。第1, 7回実習書を復習する。	
6月18日		コンポジットレジン修復(1) OSCE 課題 IV-3-5)-(2)	1) 5級コンポジットレジン修復を行う。(F-3-3)-(1)) 2) ラバーダム防湿を行う。(F-3-1)-(3))
		準備学習: 20分 第9回実習書を予習する。第1回実習書を復習する。	
6月25日		コンポジットレジン修復(2)	1) 3級コンポジットレジン修復を行う。(F-3-3)-(1)) 2) ラバーダム防湿を行う。(F-3-1)-(3)) 3) 歯間分離を行う。(F-3-3)-(1)) 4) 隔壁を装着する。(F-3-3)-(1))
		準備学習: 20分 第10回実習書を予習する。第2, 9回実習書を復習する。	
7月2日		コンポジットレジン修復(3) OSCE 課題 IV-3-5)-(1), (2)	1) 1級コンポジットレジン修復を行う。(F-3-3)-(1)) 2) ラバーダム防湿を行う。(F-3-1)-(3)) 3) 齲蝕染色液を用いて感染歯質を除去する。(F-3-3)-(1))
		準備学習: 20分 第11回実習書を予習する。第3, 9回実習書を復習する。	
7月9日		コンポジットレジン修復(4) OSCE 課題 IV-3-5)-(1)	1) 2級コンポジットレジン修復を行う。(F-3-3)-(1)) 2) ラバーダム防湿を行う。(F-3-1)-(3)) 3) 歯間分離を行う。(F-3-3)-(1)) 4) 齲蝕染色液を用いて感染歯質を除去する。(F-3-3)-(1)) 5) 隔壁を装着する。(F-3-3)-(1))
		準備学習: 20分 第12回実習書を予習する。第4, 9回実習書を復習する。	
7月16日		コンポジットレジン修復(5) 補講②	1) くさび状欠損にコンポジットレジン修復を行う。(F-3-3)-(1)) 2) 歯肉排除を行う。(F-3-3)-(1))
		準備学習: 20分 第13回実習書を予習する。第5, 9回実習書を復習する。	
7月23日		シミュレーションテスト 客観試験	1) 指定された部位に窩洞を形成する。(F-3-3)-(1)) 2) 指定された部位にコンポジットレジン修復を行う。(F-3-3)-(1)) 3) 修復手技を正しく説明する。(E-3-3)-(1)-(3))
		準備学習: 20分 第1~13回実習書を復習する。	

歯周疾患治療学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 聡	4	前期	水曜日	9:00～12:00	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

歯周病患者の歯周組織を健全なものとし、長期的に維持するために、ホームケアを基本とした歯周治療の実施に必要な基本的知識、技能、態度を身につける。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 沼部幸博ら 編集主幹	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店
参考書 村上伸也ら 編	臨床歯周病学	第3版	医歯薬出版株式会社

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☒ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (10%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☒ ポートフォリオ (25%) ☒ シュミレーションテスト (40%)
- ☒ 観察記録 (15%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目について、各実習の際のポートフォリオ (25%), シュミレーションテスト (40%) と多選択肢形式 (10%) の客観試験, 観察記録 (15%), 忘れ物などを含む実習に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

月曜日・17:00～18:00・新潟病院4階 歯周病学講座研究室
 ※事前にメール (ga-shishu(at)ngt.ndu.ac.jp) で要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月9日	佐藤 聡 大森みさき 両角 祐子 高塩 智子 丸山 昂介 八坂 直道 金谷 一彦 村山 恵子	歯周組織検査	1) 歯周病の検査を説明する。(F-1-1)-①, ② 2) 歯周治療に必要な器具器材を準備する。(F-1-2)-①～④ 3) 歯肉の形態変化を検査する。(F-2-2)-④, ⑫ 4) 歯周ポケット検査を実施する。(F-2-2)-④, ⑪ 5) 歯の動揺度検査を実施する。(F-2-2)-④, ⑪ 6) 根分岐部病変の検査を実施する。(F-2-2)-④, ⑪
		準備学習: 30分 教科書 p76-90 の要点を確認する。	
4月16日		歯周病の病状の説明	1) 歯周病の症状と徴候を説明する。 (E-3-3)-(3)-①, F-1-1)-①～⑤⑦, F-2-1)-①～⑦ 2) 歯周疾患患者に対して歯周病の病状の説明をする。 (E-3-3)-(3)-①②, F-1-1)-①～⑤⑦, F-2-1)-①～⑦
		準備学習: 30分 教科書 p90-103 の要点を確認する。	
4月23日		ブラッシング指導	1) ブラークコントロールの意義を説明する。(E-3-3)-(3)-③ 2) 機械的ブラークコントロールを説明する。(E-3-3)-(3)-③ 3) ブラッシング方法を説明する。(E-3-3)-(3)-③ 4) 歯周疾患患者に対して適切なブラッシング法を指導する。 (F-2-1)-①, F-3-3)-④
		準備学習: 30分 教科書 p120-128 の要点を確認する。	
5月7日		スケーリング・ルートプレーニング (I)	1) スケーリング・ルートプレーニングを説明する。(E-3-3)-(3)-③ 2) 適切なスケーラーを選択する。(E-3-3)-(3)-③, F-3-3)-⑤ 3) スケーリング・ルートプレーニングを実施する。 (F-1-2)-①～④, F-2-1)-④, F-3-3)-⑤ 4) 歯面研磨を実施する。(F-3-3)-⑤
		準備学習: 30分 教科書 p120-128 の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月14日	佐藤 聡 大森みさき 両角 祐子 高塩 智子 丸山 昂介 八板 直道 金谷 一彦 村山 恵子	スケーリング・ルートプレーニング (2)	1) スケーリング・ルートプレーニングを説明する。(E-3-3)-(3)-(3)) 2) 適切なスケーラーを選択する。(E-3-3)-(3)-(3), F-3-3)-(5)) 3) スケーリング・ルートプレーニングを実施する。 (F-1-2)-(1)~(4), F-2-1)-(4), F-3-3)-(5))
		準備学習: 30分 教科書 p120-128 の要点を確認する。	
6月4日		スケーリング・ルートプレーニング (3) シャープニング	1) スケーラーの構造を説明する。(E-3-3)-(3)-(3)) 2) シャープニングを説明する。(E-3-3)-(3)-(3)) 3) シャープニングを実施する。(F-1-2)-(1))
		準備学習: 30分 教科書 p125 の要点を確認する。	
6月4日 (午後)		暫間固定	1) 暫間固定を説明する。(E-3-3)-(3)-(3), F-1-1)-(3)) 2) エナメルボンディングレジンを固定を実施する。 (F-1-2)-(1)~(4), F-3-3)-(6)) 3) ワイヤレジンを固定を実施する。(F-1-2)-(1)~(4), F-3-3)-(6))
		準備学習: 30分 教科書 p128-130 の要点を確認する。	
6月11日		歯肉切除術	1) 歯周外科治療の治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-(4), F-1-1)-(3)) 2) 歯肉切除術の術式を説明する。(E-3-3)-(3)-(4)) 3) 歯肉切除術を実施する。(F-1-2)-(1)~(4)) 4) 歯周パックを実施する。(F-1-2)-(1)~(4))
		準備学習: 30分 教科書 p156 の要点を確認する。	
6月18日		フラップ手術(1)	1) 歯周外科治療の治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-4, F-1-1)-(3)) 2) フラップ手術 (Widman 改良フラップ手術) の術式を説明する。 (E-3-3)-(3)-4) 3) フラップ手術 (Widman 改良フラップ手術) を実施する。 (F-1-2)-1 ~ 4)
		準備学習: 30分 教科書 p152-155 の要点を確認する。	
6月25日		フラップ手術(2)	1) 歯周外科治療の治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-(4), F-1-1)-(3)) 2) フラップ手術の術式を説明する。(E-3-3)-(3)-(4)) 3) フラップ手術を実施する。(F-1-2)-(1)~(4))
		準備学習: 30分 教科書 p152-155 の要点を確認する。	
6月30日 (月)		GTR 法	1) 歯周組織再生療法の治療方針を説明する。 (E-3-3)-(3)-(4), F-1-1)-(3)) 2) GTR 法の術式を説明する。(E-3-3)-(3)-(4)) 3) GTR 法を実施する。(F-1-2)-(1)~(4))
		準備学習: 30分 教科書 p162-166 の要点を確認する。	
7月9日		根分岐部病変の治療	1) 根分岐部病変の治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-(4), F-1-1)-(3)) 2) 根分岐部病変の検査を実施する。(F-1-2)-(1)~(4), F-2-2)-(4)) 3) ルートセパレーションを実施する。(F-1-2)-(1)~(4))
		準備学習: 30分 教科書 p183-187 の要点を確認する。	
7月16日		治療計画の立案	1) 歯周病の病態を説明する。(F-1-1)-(1)) 2) 歯周病を分類する。(F-1-1)-(2)) 3) 歯周病の治療計画を立案する。(F-1-1)-(3), ④)
		準備学習: 30分 4/9 ~ 7/9 の実習内容を確認する。	
7月23日		試験	
		準備学習: 30分 4/9 ~ 7/16 の実習内容を確認する。	

小児歯科学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
黒木 淳子	4	前期	火曜日	10:40～12:00	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

人の一生 (life cycle) の中で胎児期から成人にいたる小児の口腔ならびに顎顔面領域の健康を維持増進させ、健全な顎口腔の形態と機能を予防育成し、疾患や異常を治療するとともに、口腔の健康管理を行うための理論と方法を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	編集主幹 新谷誠康 編集委員 木本茂成, 黒木淳子, 齊藤一誠, 齊藤正人, 島村和宏, 星野倫範	小児歯科学ベーシックテキスト 小児歯科学クリニカルテキスト	第3版	永末書店
参考書	編著 白川哲夫, 福本敏, 岩本勉, 森川和政	小児歯科学	第6版	医歯薬出版株式会社

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (95%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (5%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (95%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (5%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

・対面を希望する場合: 講義を行った日の 16:00～16:30 の間 (メールにて要予約) で、小児歯科学講座医局にて行う。 ・メールを希望する場合: 講座の課題提出・質問用メールアドレス宛に、「講義担当者名・質問」のタイトルで質問内容を送信する。
--

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月8日	黒木 淳子	小児の歯内療法(1)	1) 乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察, 検査と診断を説明する。(E-4-2)-(4))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p247-254, 262-265, 270, 273 を学習する。	
4月15日	黒木 淳子	小児の歯内療法(2)	1) 乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類, 適応症, 手順, 留意点及び予後を説明する。(E-4-2)-(5))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p254-262, 265-269, 270-279 を学習する。	
4月22日	北澤 裕美	小児の外科的処置	1) 小児の局所麻酔の術式と留意点について説明する。(E-1-4)-(3)-(5)) 2) 乳歯の抜歯の適応症と禁忌症について説明する。(E-1-5)-(1)) 3) 乳歯の抜歯における術式と留意点について説明する。(E-1-5)-(3)) 4) 過剰歯の抜歯における術式と留意点について説明する。(E-1-5)-(1), (9)) 5) 小児歯科臨床で想定される偶発症の予防や発症時の対応を説明する。(A-6-2)-(3), (4), (E-1-6)-(1))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p281-298 を学習する。	
5月13日	黒木 淳子	小児の顎骨と口腔軟組織の疾患	1) 小児の顎骨の疾患を説明する。(E-2-4)-(3)-(6)) 2) 小児の口腔軟組織疾患の種類と特徴, 処置を説明する。(E-2-4)-(4)-(1), (2), E-2-4)-(5)-(1), (2), E-4-2)-(7))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p299-312 を学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月20日	黒木 淳子	小児の口腔領域の外傷(1)	1) 小児の歯の外傷の診察・検査・診断を説明する。(E-4-2)-(7)) 2) 小児の歯の外傷の治療方針を説明する。(E-4-2)-(7))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p313-320 を学習する。	
5月27日	黒木 淳子	小児の口腔領域の外傷(2)	1) 小児の口腔領域の外傷の処置および治癒転帰を説明する。(E-4-2)-(7))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p320-329 を学習する。	
6月3日	黒木 淳子	小児の口腔領域の外傷(3)	1) 小児の歯の外傷の影響について説明する。(E-4-2)-(7)) 2) 小児外傷の予防について説明する。(E-4-2)-(7))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p330-334 を学習する。	
6月10日	三瓶 伸也	咬合誘導(1) 咬合誘導の意義・目的 歯列および咬合の診査と診断	1) 咬合誘導の概念を説明する。(E-4-2)-(8)) 2) 咬合誘導のための診察・検査・診断を説明する。(E-4-2)-(8))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p335-343 を学習する。	
6月17日	三瓶 伸也	咬合誘導(2) 静的咬合誘導	1) 保隙の目的を説明する。(E-4-2)-(9)) 2) 保隙装置の種類と設計を説明する。(E-4-2)-(9)) 3) 保隙装置の適応症を説明する。(E-4-2)-(9)) 4) 保隙装置の留意点を説明する。(E-4-2)-(9))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p344-351 を学習する。	
6月24日	三瓶 伸也	咬合誘導(3) 動的咬合誘導 口腔習癖への対応	1) 動的咬合誘導を説明する。(E-4-1)-(3)) 2) 口腔習癖の種類を説明する。(E-4-2)-(12)) 3) 口腔習癖が歯列・咬合に及ぼす影響を説明する。(E-4-2)-(12)) 4) 口腔習癖への対応を説明する。(E-4-2)-(12))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p351-354, 360-365 を学習する。	
7月1日	坂井 幸子	小児の摂食・嚥下障害	1) 小児の摂食・嚥下発達について説明する。 (C-3-2)-(1), (3), (4), E-2-1)-(9), E-2-3)-(2)) 2) 小児の摂食嚥下障害とその対応について説明する。 (E-1-1) ①～⑥, E-2-4)-(11)-(1), (2), E-5-2)-(5), (6)) 3) 小児の窒息・誤嚥への対応を説明する。(E-1-6)-(2))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p368-376 を学習する。	
7月8日	坂井 幸子	小児の顎関節症 心身障害児への歯科対応	1) 小児の顎関節症の特徴を説明する。(E-2-4)-(7)-(1)) 2) 小児の顎関節症への対応を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)) 3) 心身障害児の身体的, 精神的及び心理的特徴を説明する。 (E-5-2)-(2)) 4) 心身障害児の歯科治療に必要な留意点を説明する。(E-5-2)-(3))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p378-386, 388-404 を学習する。	
7月15日	三瓶 素子	小児の注意すべき全身疾患 と口腔所見(1)	1) 遺伝性疾患の発症機序と特徴的な口腔内病態ならびに歯科対応法を説明する。(E-2-4)-(1)-(1), E-2-4)-(10)-(5), (6)) 2) 染色体異常について特徴的な染色体とその病態を説明する。 (E-2-4)-(1)-(1), E-2-4)-(10)-(5), (6))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p405-414 を学習する。	
7月22日	三瓶 素子	小児の注意すべき全身疾患 と口腔所見(2)	1) 感染症の口腔内所見と歯科治療時の留意点を説明する。 (E-2-4)-(10)-(2)) 2) 内分泌疾患の歯の異常について説明する。(E-2-4)-(10)-(3)) 3) 血液疾患の口腔内所見と歯科治療時の留意点を説明する。 (E-2-4)-(10)-(1)) 4) 腎疾患の臨床症状, および歯科治療時の留意点を説明する。 (E-2-4)-(10)-(5)) 5) ビタミン欠乏症の臨床症状, および歯科治療時の留意点を説明する。 (E-2-4)-(10)-(9))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 講義資料をダウンロードし, 小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p414-430 を学習する。	

小児歯科学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
坂井 幸子	4	前期	月曜日	9:00～12:00	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

小児の健全な口腔形態機能の育成に向けて、顎顔面口腔領域の疾患や異常を治療または予防するとともに、口腔健康管理に必要な知識、技能、態度を身につける。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書	小児歯科学実習書	第1版	日本歯科大学
参考書	編集主幹 新谷誠康 編集委員 木本茂成, 黒木淳子, 齊藤一誠, 齊藤正人, 島村和宏, 星野倫範 小児歯科学ベーシックテキスト 小児歯科学クリニカルテキスト	第3版	永末書店

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☐ 客観試験 (%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☒ レポート (47%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
☒ 観察記録 (43%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目について、レポート (47%)、観察記録 (処置, 製作物) (43%)、態度 (実習態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日 時間: 17:00～17:30 場所: 小児歯科学講座研究室 (新潟病院 4 階)
 事前に, ga-shoshigaku(at)ngt.ndu.ac.jp ヘメールし, 予約を取ること。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月7日	黒木 淳子 坂井 幸子 上津 豪洋	小児の治療計画: 保護者への医療面接, 診察・検査, 診断, 治療計画の立案	1) 保護者への医療面接内容を診療録へ記載する。(F-2-1)-③) 2) 現症を診療録へ記載する。(F-2-2)-⑫) 3) 検査所見を診療録へ記載する。(F-2-2)-⑪) 4) 患児の問題点を整理する。(F-2-2)-⑪) 5) 診断を診療録へ記載する。(F-2-2)-⑪) 6) 治療計画を診療録へ記載する。(E-1-1)-④) 7) 保護者に対し診断結果と治療計画を説明する。(F-2-1)-⑦)
	三瓶 伸也 三瓶 素子 北澤 裕美 梅津 英裕 鈴木 広幸 馬場 宏俊 中山寿賀子	乳歯の歯冠修復: 乳臼歯のコンポジットレジン修復	1) ラバーダム防湿を実施する。(F-3-1)-③) 2) 適切な窩洞形成を実施する。(F-3-3)-①) 3) 隔壁を装着する。(F-3-3)-①) 4) コンポジットレジンを充填する。(F-3-3)-①) 5) 形態修正と研磨を実施する。(F-3-3)-①)
4月14日	神戸 正人 松田 貴絵 松井 大介 上津 誠司 荒井 千鶴 小島 功嗣 本間 裕章	小児の齲蝕予防(1): 幼若永久歯の予防填塞, フッ化物歯面塗布, フッ化物洗口	1) レジン系充填材で予防填塞する。(F-3-6)-②) 2) グラスアイオノマーセメント系充填材で予防填塞する。(F-3-6)-②) 3) フッ化物歯面塗布を実施する。(F-3-6)-①) 4) フッ化物洗口液を調整する。(B-3-2)-②) 5) フッ化物洗口を実施する。(B-3-2)-②)
4月21日	赤坂 明子	小児の齲蝕予防(2): 保護者へのブラッシング指導	1) ブラークチャートを作成する。(F2-2)-④) 2) ブラークチャートからリスクを評価する。(F-3-2)-①) 3) 保護者へ口腔衛生指導を実施する。(F-3-6)-③)
5月12日			

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月19日	黒木 淳子 坂井 幸子 上津 豪洋 三瓶 伸也 三瓶 素子 北澤 裕美 梅津 英裕 鈴木 広幸 馬場 宏俊 中山 寿賀子 神戸 正人 松田 貴絵 松井 大介 上津 誠司 荒井 千鶴 小島 功嗣 本間 裕章 赤坂 明子	乳歯外傷への対応(1): 乳歯外傷の診察・検査, 治療計画の立案, 予後の推測, 暫間固定(レジンワイヤー法)	1) 乳歯外傷の診察・検査を実施する。(E-4-2)-(7) 2) 外傷歯の記録表を記載する。(E-4-2)-(7) 3) 乳歯外傷の予後を推測する。(E-4-2)-(7) 4) 乳歯外傷の暫間固定を実施する。(F-3-3)-(6)
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p63-71 を読む。	
5月26日		乳歯の歯内療法: 乳臼歯の生活歯髄切断法	1) ラバーダム防湿を実施する。(F-3-1)-(3) 2) 髄腔開拓を実施する。(F-3-3)-(3) 3) 歯髄切断を実施する。(F-3-3)-(3) 4) 歯髄切断後, 薬剤を貼付する。(F-3-3)-(3) 5) グラスアイオノマーセメントで裏層する。(F-3-3)-(3) 6) 清潔に配慮し実施する。(F-1-2)-(2)
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p73-80 を読む。	
6月2日		乳歯外傷への対応(2): 乳歯外傷の暫間固定除去, 固定保険装置の製作(1): 咬合誘導装置計画書の作成, 保護者への固定保険装置の説明	1) 乳歯外傷の暫間固定を除去する。(F-3-3)-(6) 2) 保険のための咬合誘導装置計画書を作成する。(E-4-2)-(9) 3) 保護者に対し固定保険装置を説明する。(F-2-1)-(7)
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p71-72, p81-86 を読む。	
6月9日	黒木 淳子 坂井 幸子 上津 豪洋 三瓶 伸也 三瓶 素子 北澤 裕美 梅津 英裕 鈴木 広幸 馬場 宏俊 中山 寿賀子 神戸 正人 松田 貴絵 松井 大介 上津 誠司 荒井 千鶴 小島 功嗣 本間 裕章 赤坂 明子	固定保険装置の製作(2): 乳歯用既製金属冠の支台歯形成と調整, 作業模型製作のための印象採得と石膏注入	1) 乳歯用既製金属冠の支台歯形成を実施する。(E-4-2)-(4) 2) 乳歯用既製金属冠を適切に調整する。(E-4-2)-(4)
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p86-94 を読む。	
6月16日		固定保険装置の製作(3): 作業模型の調整, ワイヤーベンディング, 鑲着	1) 作業模型を調整する。 2) 適切にワイヤーを屈曲する。
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p95-100 を読む。	
6月23日	黒木 淳子 坂井 幸子 上津 豪洋 三瓶 伸也 三瓶 素子 北澤 裕美 梅津 英裕 鈴木 広幸 馬場 宏俊 中山 寿賀子 神戸 正人 松田 貴絵 松井 大介 上津 誠司 荒井 千鶴 小島 功嗣 本間 裕章 赤坂 明子	固定保険装置の製作(4): 研磨, 乳臼歯の分割抜歯, 固定保険装置の装着	1) 乳歯用既製金属冠とワイヤーを鑲着する。 2) 固定保険装置を研磨する。 3) 乳臼歯を分割抜歯する。(F-3-5)-(1) 4) 固定保険装置を装着する。
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p101-107 を読む。	
7月2日(水) 1-2限	6月30日(月) 1-2限と入替	可撤保険装置の製作(1): 外傷歯の記録表の作成, 咬合誘導装置計画書の作成, 作業模型製作のための印象採得と石膏注入	1) 外傷歯の記録表を記載する。(E-4-2)-(7) 2) 保険のための咬合誘導装置計画書を作成する。(E-4-2)-(9) 3) 作業模型製作のための印象採得と石膏注入を実施する。
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p109-116 を読む。	
7月7日	黒木 淳子 坂井 幸子 上津 豪洋 三瓶 伸也 三瓶 素子 北澤 裕美 梅津 英裕 鈴木 広幸 馬場 宏俊 中山 寿賀子 神戸 正人 松田 貴絵 松井 大介 上津 誠司 荒井 千鶴 小島 功嗣 本間 裕章 赤坂 明子	可撤保険装置の製作(2): 作業模型の調整, 人工歯の調整と排列, レジン填入	1) 作業模型を調整する。 2) 人工歯を調整し配列する。 3) レジン填入を実施する。
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p115-122 を読む。	
7月14日	黒木 淳子 坂井 幸子 上津 豪洋 三瓶 伸也 三瓶 素子 北澤 裕美 梅津 英裕 鈴木 広幸 馬場 宏俊 中山 寿賀子 神戸 正人 松田 貴絵 松井 大介 上津 誠司 荒井 千鶴 小島 功嗣 本間 裕章 赤坂 明子	可撤保険装置の製作(3): 可撤保険装置の形態修正・研磨, 装着, 調整	1) 可撤保険装置を適切に形態修正・研磨する。 2) 可撤保険装置を装着する。 3) 可撤保険装置を調整する。
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p122-126 を読む。	
7月28日	黒木 淳子 坂井 幸子 上津 豪洋 三瓶 伸也 三瓶 素子 北澤 裕美 梅津 英裕 鈴木 広幸 馬場 宏俊 中山 寿賀子 神戸 正人 松田 貴絵 松井 大介 上津 誠司 荒井 千鶴 小島 功嗣 本間 裕章 赤坂 明子	混合歯列期の模型分析: 回帰方程式を用いる方法(小野の方法), 診断と治療方針の立案, 咬合誘導装置の設計, 保護者への咬合誘導装置の説明	1) 回帰方程式による模型分析を実施する。(F-3-6)-(4) 2) 模型分析の結果から診断と治療方針を決定する。(F-3-6)-(4) 3) 咬合誘導装置を設計する。(E-4-2)-(8) 4) 保護者に対し咬合誘導装置を説明する。(E-4-2)-(8)
		準備学習: 15分 小児歯科学基礎実習書 p127-135 を読む。	

部分床義歯補綴学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
水橋 史	4	前期	木曜日	16:20～17:40	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

予知性の高い部分床義歯治療を行うために必要な前処置, 印象採得, 咬合採得, 咬合構成, 義歯構成要素, 義歯装着, 義歯調整, 義歯修理, 経過観察および治療の評価に関する一連の知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	三谷春保 編	歯学生のパーシャルデンチャー	第6版	医歯薬出版
参考書	中原 泉, 藤井一維	常用歯科辞典	第4版	医歯薬出版
	日本補綴歯科学会	歯科補綴学専門用語集	第6版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (60%) ☒ 論述試験 (25%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (15%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (60%) と論述形式筆記試験 (25%) および毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (15%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日, 金曜日 時間帯: 12:00～13:00 場所: 歯科補綴学第1講座研究室 (7号館3階)
 事前にメール (ga-hotetsul(at)ngt.ndu.ac.jp) で要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	浅沼 直樹	口腔内前処置	1) 広義と狭義の前処置を列挙する。(E-3-4)-(2)-①) 2) 狭義の前処置について説明する。(E-3-4)-(2)-④) 3) レストシートを付与する意義について説明する。(E-3-4)-(2)-④) 4) ガイドプレーンを付与する意義について説明する。(E-3-4)-(2)-④)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第17章を読み, 要点を確認する。	
4月17日	水橋 史	部分床義歯治療のステップ, 診査・診断	1) 部分床義歯の構造的特徴, 種類, 役割を説明する。(E-3-4)-(2)-③) 2) 部分床義歯治療の手順を説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 3) 部分的歯列欠損患者の診察, 検査を説明する。(E-3-4)-(2)-①) 4) プロブレムリストに基づく診断を説明する。(E-3-4)-(2)-①)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第14章を読み, 要点を確認する。	
5月8日	水橋 史	設計	1) 部分床義歯の設計概念を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 2) 部分床義歯設計の理論背景について説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 3) サベイングの目的を説明する。(E-3-4)-(2)-⑪) 4) 歯列欠損の分類に基づく設計について説明する。(E-3-4)-(2)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第16章・第20章を読み, 要点を確認する。	
5月13日 (火) 4限	渡會 侑子 5月15日(木) 5限と入替	印象採得	1) 部分床義歯の印象採得法の種類を列挙する。(E-3-4)-(2)-⑥) 2) 印象採得法の適応を説明する。(E-3-4)-(2)-⑥) 3) 使用材料について説明する。(E-3-4)-(2)-⑪) 4) 使用手順について説明する。(E-3-4)-(2)-⑪)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第18章を読み, 要点を確認する。	
5月22日	渡會 侑子	フレームワークの製作	1) 最終設計の手順を説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 2) ブロックアウト・リリーフについて説明する。(E-3-4)-(2)-⑪) 3) 耐火模型の製作手順について説明する。(E-3-4)-(2)-⑪) 4) フレームワークの製作手順を説明する。(E-3-4)-(2)-⑪)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第23章を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月29日	渡會 侑子	作業用模型の製作	1) 模型の種類と特徴を説明する。(E-3-4)-(1)-(⑪) 2) 模型材の種類を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪) 3) 作業用模型の製作方法を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪) 4) スプリットキャストの意義と製作法を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパースシャルデンチャー 第18章を読み、要点を確認する。	
6月5日	水橋 史	咬合採得	1) 顎間関係の記録法について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑦) 2) フェイスバウトランスファーの意義を説明する。(E-3-4)-(1)-(⑧) 3) チェックバイト法の意義について説明する。(E-3-4)-(1)-(⑪)-(⑧) 4) 咬合器の顎路調節法について説明する。(E-3-4)-(1)-(⑧)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパースシャルデンチャー 第19章を読み、要点を確認する。	
6月12日	渡會 侑子	前歯部の歯列構成	1) 前歯部歯冠形態の構成基準を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑨) 2) 形態に応じた審美的排列基準を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑫) 3) 部分床義歯の前歯部人工歯排列の特徴を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑫)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパースシャルデンチャー 第19章・第24章を読み、要点を確認する。	
6月19日	渡會 侑子	咬合様式, 臼歯部の歯列構成	1) 症例に応じた咬合様式の使い分けを説明する。(E-3-4)-(2)-(⑩) 2) 有歯顎での咬合様式を列挙する。(E-2-2)-(④) 3) 臼歯部人工歯の構成基準について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑨) 4) 臼歯部人工歯の排列基準について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑫)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパースシャルデンチャー 第6章・第19章・第24章を読み、要点を確認する。	
6月26日	水橋 史	歯肉形成, ろう義歯試適	1) 人工歯の構成基準について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑨) 2) 歯肉形成の意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑫) 3) ろう義歯試適の要点を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑫)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパースシャルデンチャー 第24章を読み、要点を確認する。	
7月3日	渡會 侑子	埋没, 重合	1) 埋没法について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑫) 2) 重合法について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑫) 3) 掘り出し・研磨法について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑫) 4) 完成義歯の保管方法について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑫)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパースシャルデンチャー 第25章を読み、要点を確認する。	
7月10日	水橋 史	部分床義歯の装着, 調整, 指導	1) 装着時の点検事項を説明する。(E-3-4)-(2)-(⑬) 2) 装着手順について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑬) 3) 装着時の調整について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑬) 4) 患者教育について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑬)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパースシャルデンチャー 第26章を読み、要点を確認する。	
7月17日	水橋 史	部分床義歯装着後の管理	1) 義歯の術後管理について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑭) 2) 義歯破損の原因について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑭) 3) 義歯の修理法について説明する。(E-3-4)-(2)-(⑭) 4) リラインとリベースについて説明する。(E-3-4)-(2)-(⑪)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパースシャルデンチャー 第27章・第28章を読み、要点を確認する。	
7月24日	水橋 史	義歯の種類, 総括	1) 暫間義歯, 即時義歯について説明する。(E-3-4)-(2)-(②) 2) 治療用義歯について説明する。(E-3-4)-(2)-(②) 3) インプラント補綴について説明する。(E-3-4)-(2)-(②) 4) 顎顔面補綴について説明する。(E-3-4)-(2)-(②)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパースシャルデンチャー 第29章～第32章を読み、要点を確認する。	

全部床義歯補綴学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
水橋 史	4	前期	金曜日	13:00 ~ 17:40	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

全部床義歯による機能回復と口腔組織の保全を図るために、全部床義歯の設計、製作、治療に必要な基本的知識、技術および態度を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	歯科補綴学第1講座 編	全部床義歯補綴学実習書	第16版	日本歯科大学新潟生命歯学部
参考書	市川哲雄, 大川周治, 大久保力廣, 水口俊介 編	無歯顎補綴治療学	第4版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☒ その他 (デモンストレーション)

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (20%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☒ 観察記録 (70%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (20%) と製作物の習得度についての観察記録 (70%) および実習に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日, 金曜日 時間帯: 12:00 ~ 13:00 場所: 歯科補綴学第1講座研究室 (7号館3階)
 事前にメール (ga-hotetsul(at)ngt.ndu.ac.jp) で要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月11日	水橋 史 猪子 芳美 浅沼 直樹 水橋 亮 渡會 佑子 片山 直人 栗田 武	概説, 全部床義歯 D2: F20 の診断と設計	1) 実習に必要な器具・器材を準備する。(E-3-4)-(2)-⑪) 2) 診断・設計模型を製作する。(E-3-4)-(2)-⑩) 3) LOのペイント模型を製作する。(E-3-4)-(2)-⑩) 4) FBOのペイント模型を製作する。(E-3-4)-(2)-⑩)
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第1章 を読み, 要点を確認する。	
4月18日		スプリットキャストの製作, 模型装着	1) 作業模型の前準備を実施する。(E-3-4)-(2)-⑤) 2) スプリットキャストの製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 3) 咬合平面板を用いた上顎模型の装着を実施する。(E-3-4)-(2)-⑧) 4) 咬合床を介した下顎模型の装着を実施する。(E-3-4)-(2)-⑧)
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第2章 を読み, 要点を確認する。	
5月9日		人工歯排列(1)	1) ワックス操作を適切に実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 2) 上顎前歯部人工歯の選択について説明する。(E-3-4)-(2)-⑨) 3) 上顎前歯部人工歯を基準に基づき排列する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 審美的な歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫)
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第3章 を読み, 要点を確認する。	
5月14日 (水)		人工歯排列(2), 前歯部削合	1) 下顎前歯部人工歯の選択について説明する。(E-3-4)-(2)-⑨) 2) 下顎前歯部人工歯を基準に基づき排列する。(E-3-4)-(2)-⑫) 3) 偏心位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 適正な被蓋関係の付与を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫)
13:00 ~ 17:40		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第4・5章 を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月23日	水橋 史 猪子 芳美 浅沼 直樹 水橋 亮 渡會 侑子 片山 直人 栗田 武	人工歯排列(3)	1) 下顎臼歯部人工歯の選択について説明する。(E-3-4)-(2)-(9)) 2) 全部床義歯の咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10)) 3) 下顎臼歯部の人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4) 上顎ろう堤に対する適切な排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(12))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第6章を読み、要点を確認する。	
5月28日		人工歯排列(4)	1) 上顎臼歯部人工歯の選択について説明する。(E-3-4)-(2)-(9)) 2) 全部床義歯の咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10)) 3) 上顎臼歯部の人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4) 下顎臼歯部人工歯に対する適切な排列を実施する。(E-3-4)-(2)-(12))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第7章を読み、要点を確認する。	
5月30日		臼歯部削合	1) 全部床義歯の咬合様式を説明する。(E-3-4)-(2)-(10)) 2) 中心咬合位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 3) 偏心位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4) 両側性平衡咬合の構成を実施する。(E-3-4)-(2)-(12))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第8章を読み、要点を確認する。	
6月6日		歯肉形成	1) ワックス操作を適切に実施する。(E-3-4)-(2)-(11)) 2) 周囲組織と調和した床研磨面形態の付与を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)) 3) 審美的な歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-(11))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第9章を読み、要点を確認する。	
6月13日		埋没	1) 上顎ろう義歯の埋没を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 2) 下顎ろう義歯の埋没を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 3) 二次埋没の意義を説明する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4) 適正な環境でフラスコを保管する。(E-3-4)-(2)-(11))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第10章を読み、要点を確認する。	
6月27日		流ろう, レジン填入, 重合	1) 流ろうを実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 2) 加熱重合レジンの混和を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 3) レジン填入を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4) 重合のための前準備を実施する。(E-3-4)-(2)-(12))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第11章を読み、要点を確認する。	
7月4日		掘り出し, リマウント, 削合(1)	1) フラスコからの義歯の掘り出しを実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 2) 正確な分割線の記入を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 3) 上下顎義歯の掘り出しを実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4) 適正な位置へのリマウントを実施する。(E-3-4)-(2)-(12))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第12章・第13章を読み、要点を確認する。	
7月11日		削合(2)	1) 中心咬合位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 2) 偏心位での削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 3) 咬合器の適切な使用を実施する。(E-3-4)-(2)-(8)) 4) 自動削合を実施する。(E-3-4)-(2)-(12))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第13章を読み、要点を確認する。	
7月18日		研磨	1) 研磨の正しい手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(12)) 2) 適切な器材で粗研磨を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 3) 適切な器材で中研磨を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4) 適切な器材で仕上げ研磨を実施する。(E-3-4)-(2)-(12))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第14章を読み、要点を確認する。	
7月25日		義歯完成	1) 義歯の完成を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 2) 完成義歯を水中保管する目的を説明する。(E-3-4)-(2)-(12)) 3) 咬合器の整備を実施する。(E-3-4)-(2)-(11))
		準備学習: 30分 全部床義歯補綴学実習書 第1～15章を読み、要点を確認する。	

歯冠補綴架工義歯学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
上田 一彦	4	前期	木曜日	9:00～10:20	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

1 歯ないし複数歯の実質欠損に対して機能的、審美的に良好な長期間の予後を確立するために、橋梁理論により歯冠形態、咀嚼、嚥下、発音機能および外観を回復するのに必要な理論および術式を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川 匠	クラウンブリッジ補綴学	第 6 版	医歯薬出版
参考書	中原 泉, 藤井一維	常用歯科辞典	第 5 版	医歯薬出版
	日本補綴歯科学会	歯科補綴学専門用語集	第 5 版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (80%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (80%) と、毎回の講義への出席状況 (遅刻, 早退含む) と課題の提出状況を含めた授業に対する関心・意欲・態度 (20%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 金曜日・時間: 16 時 30 分から 18 時 00 分まで・場所: 歯科補綴学第 2 講座研究室 (7 号館 4 階)
 * ga-hotetsu2(at)ngt.ndu.ac.jp までメールにて事前に予約を取った上で訪問すること。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4 月 10 日	瀬戸 宗嗣	支台築造	1) 支台築造の意義, 種類および特徴を説明する。((E-3-4)-(1)-(3)) 2) 支台築造の種類と方法を説明する。((E-3-4)-(1)-(3)) 3) 直接法と間接法を説明する。((E-3-4)-(1)-(3))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 第 6 版 クラウンブリッジ補綴学 p126-133 を予習する。	
4 月 17 日	上田 一彦	支台歯形成	1) 支台歯形成の意義, 種類および特徴を説明する。((E-3-4)-(1)-(4)) 2) 全部金属冠, 前装冠, ジャケットクラウン, 部分被覆冠の支台歯形成を説明する。((E-3-4)-(1)-(2)) 3) 支台歯形成に使用する器具を説明する。(D-1-①) 4) 支台歯形成時の注意事項を説明する。((E-3-4)-(1)-(4))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 第 6 版 クラウンブリッジ補綴学 p114-125 を予習する。	
5 月 8 日	上田 一彦	印象採得	1) クラウンブリッジの製作のための印象採得材料を説明する。((E-3-3)-(1)-(5)) 2) クラウンブリッジの製作のための印象採得方法を説明する。((E-3-4)-(1)-(5)) 3) クラウンブリッジの製作過程における印象採得時の基本的手技を説明する。((E-3-4)-(1)-(5)) 4) 歯肉圧排の目的と術式を説明する。((E-3-4)-(1)-(5))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 第 6 版 クラウンブリッジ補綴学 p134-144 を予習する。	
5 月 15 日	瀬戸 宗嗣	プロビジョナルレストレーション, 顎間関係の記録 (咬合採得)	1) クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明する。((E-3-4)-(1)-(8)) 2) プロビジョナルレストレーションの意義とその製法を説明する。((E-3-4)-(1)-(7)) 3) 仮着用セメントの要件と種類を説明する。 4) フェイスボウトランスファーの基本的操作を説明する。((E-3-4)-(1)-(5)) 5) 咬合関係の決定と記録法を説明する。((E-3-4)-(1)-(5))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 第 6 版 クラウンブリッジ補綴学 p145-161 を予習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月22日	上田 一彦	色調選択と患者情報の記録と伝達, ポンティック形態と適応症	1) 色調の選択, 伝達の意義と方法を説明する。((E-3-4)-(1)-⑥) 2) 技工指示書の記載と技工士とのコミュニケーションを説明する。 3) シェードテイキングを説明する。((E-3-4)-(1)-⑥) 4) ポンティック形態と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p162-169, 96-98 を予習する。	
5月29日	瀬戸 宗嗣	模型検査と作業模型, 咬合器	1) 研究用模型と作業用模型の目的と製作方法を説明する。((E-3-4)-(1)-⑨) 2) 平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明する。((E-3-4)-(1)-⑩) 3) 咬合器への模型の装着, 咬合器調整を説明する。((E-3-4)-(1)-⑩) 4) 模型材の種類を説明する。(D-1-②) 5) 調節性咬合器を説明する。((E-3-4)-(1)-⑩) 6) 下顎運動の記録法を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p52-54, 170-185 を予習する。	
6月5日	上田 一彦	ワックスパターン, 埋没・鋳造	1) ワックスパターンの要件を説明する。((E-3-4)-(1)-⑧) 2) ワックスパターン形成の種類を説明する。((E-3-4)-(1)-⑧) 3) ワックスパターン形成の実際を説明する。((E-3-4)-(1)-⑧) 4) ワックスの種類と特徴を説明する。(D-2-②) 5) 埋没材の種類を説明する。(D-1-②) 6) 埋没法を説明する。(D-1-②) 7) 鋳造用金属を説明する。(D-2-②) 8) 鋳造収縮の補正を説明する。((E-3-4)-(1)-⑧) 9) 鋳造欠陥とその原因を説明する。((E-3-4)-(1)-⑧)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p186-205 を予習する。	
6月12日	瀬戸 宗嗣	熱処理, 研磨, 試適	1) 熱処理を説明する。((E-3-4)-(1)-⑧) 2) 金属の研磨法を説明する。((E-3-4)-(1)-⑧) 3) クラウンブリッジの試適を説明する。((E-3-4)-(1)-⑪) 4) ク라운の試適時の調整手順を説明する。((E-3-4)-(1)-⑪) 5) ク라운の隣接面の調整方法を説明する。((E-3-4)-(1)-⑪) 6) ク라운の咬合面の調整方法を説明する。((E-3-4)-(1)-⑪)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p205-207, 218-225 を予習する。	
6月19日	上田 一彦	レジン前装冠, ハイブリッド型コンポジットレジンクラウン	1) レジン前装冠の適応症, 製作法を説明する。((E-3-4)-(1)-①, ②, ④, ⑧) 2) ハイブリッド型コンポジットレジンクラウンの適応症, 製作法を説明する。((E-3-4)-(1)-①, ②, ④, ⑧)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p257-269 を予習する。	
6月26日	瀬戸 宗嗣	陶材焼付冠, オールセラミッククラウン	1) 陶材焼付冠の適応症, 製作法を説明する。((E-3-4)-(1)-①, ②, ④, ⑧) 2) オールセラミッククラウンの適応症, 製作法を説明する。((E-3-4)-(1)-①, ②, ④, ⑧)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p270-291 を予習する。	
7月3日	上田 一彦	ブリッジの種類と製作法	1) ブリッジの種類と特徴, および製作法を説明する。((E-3-4)-(1)-①, ②, ④, ⑧)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p292-302 を予習する。	
7月10日	瀬戸 宗嗣	クラウン, ブリッジの装着	1) クラウンブリッジの装着を説明する。((E-3-4)-(1)-⑪) 2) 歯科用セメントの種類, 特徴を説明する。(D-2-③) 3) 被着面処理を説明する。(D-2-③)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p226-239 を予習する。	
7月17日	五味 治徳 (交換講義)	クラウンブリッジの新技法	1) 接着ブリッジの適応症, 製作法を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) CAD/CAMによるクラウンブリッジ修復法を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) ファイバー補強高強度硬質レジンブリッジを説明する。((E-3-4)-(1)-②)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p303-313, 208-217 を予習する。	
7月24日	瀬戸 宗嗣	術後管理(メンテナンス)	1) クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明する。((E-3-4)-(1)-⑫) 2) クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明する。((E-3-4)-(1)-⑬)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p240-256 を予習する。	

歯冠補綴架工義歯学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
上田 一彦	4	前期	月曜日	13:00 ~ 17:00	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

口腔の機能回復と残存組織の保全を図るために、クラウン・ブリッジ補綴装置の製作法を理解し、印象採得から前歯部ブリッジ製作のための技工操作、試適、装着までの基本的知識、技能、態度を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	日本歯科大学	歯冠補綴架工義歯学実習指針		
参考書	石橋寛二, 伊藤 裕, 川和忠治, 寺田善博, 福島俊士, 三浦宏之	クラウンブリッジテクニック	第1版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (20%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
☒ 実地試験 (50%) ☐ ポートフォリオ (%) ☒ シミュレーションテスト (10%)
☒ 観察記録 (10%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

実地試験としてブリッジの製作 (50%), 客観試験として多選択肢形式筆記試験 (20%), 毎回の実習で行う小テスト (10%), 毎回の実習の観察記録による評価 (10%), 遅刻や欠席などの態度評価 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 金曜日・時間: 16時30分から18時00分まで・場所: 歯科補綴学第2講座医局
* ga-hotetsu2(at)ngt.ndu.ac.jp までメールにて事前に予約を取った上で訪問すること。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月7日	猪子 芳美 上田 一彦 小澤 誠 勝田 康弘 笹川 敦夫 笹澤 武史 篠原 隆介 鈴木 翔平 鈴木 梨菜 杉木 隆之 瀬戸 宗嗣	ブリッジの精密印象, 咬合採得, 概形印象採得 OSCE 課題 (3-4)	1) 治療計画立案と補綴装置の設計を行う。(F-3-4)-1) 2) 概形印象採得を実施する。(F-3-1)-5) 3) 精密印象採得を適切に行う。(F-3-4)-6) 4) 咬合採得を適切に行う。(F-3-4)-8)
		準備学習: 30分 実習書 p2, 106-113 を予習する。	
4月14日		歯型可撤式作業模型製作(1)	1) ダウエルピンを用いた歯型可撤式作業模型を製作する。(F-3-4)-7)
		準備学習: 30分 実習書 p114-115 を予習する。	
4月21日		歯型可撤式作業模型製作(2), 咬合器への模型付着	1) ダウエルピンを用いた歯型可撤式作業模型を製作する。(F-3-4)-7) 2) 作業模型を咬合器装着する。(F-3-4)-8)
		準備学習: 30分 実習書 p116-118 を予習する。	
5月12日		ワックスアップの基本的操作 (1)	1) ドロップオンテクニックによるろう型形成を行う。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 準備学習: 実習書 p119-128 を予習する。	
5月19日		ワックスアップの基本的操作 (2)	1) ドロップオンテクニックによるろう型形成を行う。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 実習書 p129-130 を予習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月26日	猪子 芳美 上田 一彦 小澤 誠 勝田 康弘 笹川 敦夫 笹澤 武史 篠原 隆介 鈴木 翔平 鈴木 梨菜 杉木 隆之 瀬戸 宗嗣	ワックスアップの基本的操作 (3)	1) ドロップオンテクニックによるろう型形成を行う。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 実習書 p131 を予習する。	
6月2日		ワックスアップの基本的操作 (4)	1) ドロップオンテクニックによるろう型形成を行う。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 実習書 p132 を予習する。	
6月9日		ワックスアップの基本的操作 (5)	1) ドロップオンテクニックによるろう型形成を行う。(F-3-4)-3) 2) ポンティックに適切な基底面形態を付与する。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 実習書 p133 を予習する。	
6月16日		ワックスアップの基本的操作 (6), ろう型の埋没	1) ドロップオンテクニックによるろう型形成を行う。(F-3-4)-3) 2) ポンティックに適切な基底面形態を付与する。(F-3-4)-3) 3) ろう型の埋没操作を行う。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 実習書 p134-135 を予習する。	
6月23日		歯科精密鑄造法の基本的操作	1) 金銀パラジウム合金の歯科精密鑄造法を適切に行う。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 実習書 p136-139 を予習する。	
6月30日		口腔内試適, ろう付けのためのコア採得	1) ファントーム上でメタルフレームを試適する。(F-3-4)-3) 2) ろう付けのためのコアを採得する。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 実習書 p140 を予習する。	
7月7日		ろう付け, 金属研磨	1) ろう付け法を適切に行う。(F-3-4)-3) 2) 補綴装置の形態修正と研磨を行う。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 実習書 p141-143 を予習する。	
7月14日		メタルフレームの試適, 前装用光重合硬質レジンによる前装, 研磨	1) ファントーム上でメタルフレームを試適する。(F-3-4)-3) 2) 硬質レジンによる前装を行う。(F-3-4)-3)
		準備学習: 30分 実習書 p144-147 を予習する。	
7月28日		前歯部ブリッジの装着, 筆記試験	1) 完成したブリッジの試適・調整・装着を適切に行う。(F-3-4)-3) 2) 補綴装置装着後の維持管理, 定期健診の重要性を説明し, 指導する。 (E-3-4)-(1)-(12), (E-3-4)-(1)-(13))
		準備学習: 30分 実習書 p148-149 部を予習, p106-149 を復習する。	

口腔顎顔面外科学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
田中 彰	4	前期	火曜日	13:00～14:20	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

口腔・顎顔面領域に生じる疾患に適切な対応をするために、疾患の特徴と病因および診断、治療についての知識を習得する。
--

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 榎本昭二・道健一・天笠光雄・小村健 編	最新口腔外科学	第5版	医歯薬出版
山根源之・草間幹夫・久保田英朗・中村誠司 編	口腔内科学	第3版	永末書店
参考書 栗田賢一・覚道健治	SIMLE TEXT 口腔外科の疾患と治療	第6版	永末書店

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (90%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (90%) と、毎回の講義の出席状況 (10%) により評価を行う。
--

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

毎週木曜日 18 時から、18 時 30 分まで、口腔外科学講座研究室 (新潟病院 2 階) 事前予約を必要とする。(予約窓口: ga-kogegaku(at)ngt.ndu.ac.jp)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月8日	田中 彰	腫瘍性疾患(1) 歯源性腫瘍	1) 歯源性腫瘍の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-(5), (7)) 2) 歯源性腫瘍 (エナメル上皮腫・石灰化上皮性歯源性腫瘍・腺腫様歯源性腫瘍・角化嚢胞性歯源性腫瘍 (歯源性角化嚢胞 2017WHO)・エナメル上皮線維腫・歯牙腫・歯源性線維腫・歯源性粘液腫等) の一般的な症状, 診断法 (組織診, 画像診断) および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(5), (7))
	準備学習と時間	準備時間: 30 分	最新口腔外科学 p294-326, 766-775 を通読する。
4月15日	田中 彰	腫瘍性疾患(2) 血管・リンパ管系腫瘍・奇形・腫瘍類似疾患	1) 血管・リンパ管系腫瘍の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-(6)) 2) 血管・リンパ管系腫瘍 (血管系腫瘍, 血管奇形, リンパ管奇形) の一般的な症状, 診断法 (組織診, 画像診断) および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(6)) 3) エプーリスの特徴, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(9))
	準備学習と時間	準備時間: 30 分	最新口腔外科学 p329-331, 367-370, 766-775 を通読する。
4月22日	城井 友幸	腫瘍性疾患(4) 非歯源性腫瘍 (上皮性・非上皮性)・腫瘍類似疾患	1) 非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-(6)) 2) 非歯源性良性腫瘍 (乳頭腫, 線維腫, 神経鞘腫, 神経線維腫, 疣贅型黄色腫, 脂肪腫, 横紋筋腫・平滑筋腫, 軟骨腫, 骨腫等) の一般的な症状, 診断法 (組織診, 画像診断) および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(6)) 3) 腫瘍類似疾患 (骨形成線維腫, 骨性異形成症, 線維性骨異形成症, 外骨症, 巨細胞腫, ランゲルハンス細胞組織球症等) の種類と特徴を列挙する。(E-2-4)-(5)-(8))
	準備学習と時間	準備時間: 30 分	最新口腔外科学 p327-329, 332-338, 766-775 口腔内科学 p277-279 を通読する。
5月13日	田中 彰	腫瘍性疾患(5) 前癌病変・前癌状態・口腔癌	1) 前癌病変 (白板症, 紅板症) の特徴, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(10)) 2) 前癌状態の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-(11)) 3) 口腔癌の特徴, 予防, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(12)) 4) 口腔領域の悪性腫瘍の種類, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(13))
	準備学習と時間	準備時間: 20 分	最新口腔外科学 p340-366, 776-816 を通読する。
5月20日	佐久間 要	腫瘍性疾患(6) 非上皮系悪性腫瘍 (肉腫・悪性リンパ腫・悪性黒色腫)	1) 口腔領域の肉腫の種類, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(13)) 2) 悪性リンパ腫の分類, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(13)) 3) 悪性黒色腫の種類, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(13))
	準備学習と時間	準備時間: 20 分	最新口腔外科学 p349-361, 776-816 を通読する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月27日	佐久間 要	唾液腺疾患(1) 発育異常・唾石症・ 唾液腺炎・ウイルス性 唾液腺炎・Sjögren 症候群	1) 唾石症の特徴, 症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(2) 2) 唾液腺炎の種類と特徴, 症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(3) 3) ウイルス性唾液腺炎の特徴, 症状, 診断法および治療法を説明する。 (E-2-4)-(8)-(6) 4) Sjögren 症候群の特徴, 症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(7) 5) 唾液腺の発育異常の特徴, 症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(1)
	準備学習と時間	準備時間: 20 分 最新口腔外科学 p373-377, 382-388 を通読する。	
6月3日	田中 彰	唾液腺疾患(2) 良性腫瘍・悪性腫 瘍・腫瘍類似疾患・ ラヌーラ	1) 唾液腺良性腫瘍(多形腺腫, 筋上皮腫, Warthin 腫瘍)の特徴, 症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(4) 2) 唾液腺悪性腫瘍(腺様嚢胞癌, 粘表皮癌, 腺房細胞癌)の特徴, 症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(8)-(4) 3) 唾液腺腫瘍類似疾患を説明する。(E-2-4)-(8)-(5) 4) ラヌーラの特徴, 症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-(2)
	準備学習と時間	準備時間: 20 分 最新口腔外科学 p378-381, 805-807, 829-832 を通読する。	
6月10日	田中 彰	口腔粘膜疾患(1) アフタ・水疱性疾患・ ウイルス性疾患	1) 口内炎の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(4)-(1) 2) アフタおよびアフタ性病変の診断, 症状, 治療を説明する。(E-2-4)-(4)-(2) 3) 水疱性疾患(天疱瘡・類天疱瘡)の診断, 症状, 治療を説明する。(E-2-4)-(4)-(2) 4) ウイルス性疾患(HSV 感染症・带状疱疹・ヘルパンギーナ・手足口病・麻疹)の診断, 症状, 治療を説明する。(E-2-4)-(4)-(2)
	準備学習と時間	準備時間: 30 分 最新口腔外科学 p37-38, 214-235 を通読する。	
6月24日	田中 彰	口腔粘膜疾患(2) 角化性疾患・色素沈 着・カンジタ症・舌 の病変・口唇の病変	1) 角化性疾患(口腔扁平苔癬・白板症)の診断, 症状, 治療を説明する。 (E-2-4)-(4)-(2) 2) 色素沈着等を主徴とする粘膜疾患を概説する。(E-2-4)-(4)-(2) 3) 口腔カンジタ症の病態, 症状, 治療を概説する。(E-2-4)-(4)-(2) 4) 舌の病変, 口唇の病変の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(4)-(1)
	準備学習と時間	準備時間: 20 分 最新口腔外科学 p235-251 を通読する。	
7月1日	小林英三郎	神経性疾患: 三叉神 経痛, 顔面神経麻痺, 三叉神経麻痺	1) 三叉神経痛の原因, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(9)-(2) 2) 口腔・顔面痛について説明する。(E-2-4)-(9)-(1) 3) 顔面神経麻痺の原因, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(9)-(3) 4) 三叉神経麻痺(感覚麻痺, 運動麻痺)の原因, 症状および治療法を説明する。 (E-2-4)-(9)-(4)
	準備学習と時間	準備時間: 30 分 最新口腔外科学 p412-430 を通読する。	
7月8日	小林英三郎	心因性疾患	1) 口腔顔面領域に関連する精神・心身医学的病態を説明する。(E-5-3)-(1)② 2) 舌痛症の診断, 治療について説明する。(E-5-3)-(4) 3) 心理テストの概要を説明する。(E-5-3)-(3) 4) 心身医学的治療を説明する。(E-5-3)-(6) 5) 口腔・顎顔面領域の慢性の痛みを説明する。(E-5-3)-(1)② (E-2-4)-(10)-(11) 6) 歯科治療恐怖症を説明する。(E-5-3)-(5)
	準備学習と時間	準備時間: 20 分 最新口腔外科学 p431-441 を通読する。	
7月15日	城井 友幸	口唇・口腔・顎顔 面領域に症状を現 す疾患(1) アレルギー・膠原 病・免疫不全・薬 物の副作用・代謝 障害・ビタミン欠乏	1) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患, 膠原病, 免疫不全とそ れらの症状を説明する。(E-2-4)-(10)-(3) 2) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を説明する。(E-2-4)-(10)-(7) 3) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を説明する。 (E-2-4)-(10)-(8) 4) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を説明する。 (E-2-4)-(10)-(9) 5) ヒト免疫不全ウイルス感染症の検査法と口腔症状を説明する。(E-2-4)-(10)-(10)
	準備学習と時間	準備時間: 30 分 最新口腔外科学 p468-470, 有病者歯科学 p100-109 口腔内科学 p280-287 を通読する。	
7月22日	田中 彰	口唇・口腔・顎顔 面領域に症状を現す疾 患(2) 症候群・系統的骨疾 患・その他	1) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を説明する。 (E-2-4)-(10)-(5) 2) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状, 診断, 治療を説明する。 (E-2-4)-(10)-(6) 3) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患の症状を説明 する。(E-2-4)-(10)-(4)
	準備学習と時間	準備時間: 20 分 最新口腔外科学 p452-467 を通読する。	

高齢者歯科学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
白野 美和	4	前期	金曜日	10:40～12:00	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

高齢者および要介護者に対する歯科診療の困難性・環境・全身的特性・心理的特性を理解し、臨床で必要な知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	編集 羽村 章 他	老年歯科医学	第2版	医歯薬出版
	編著 向井美恵 他	新版 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学		医歯薬出版
参考書	向井美恵・山田好秋編	摂食・嚥下リハビリテーション学		医歯薬出版
	佐藤裕二 他 編	よくわかる 高齢者歯科学	第2版	永末書店

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (90%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (90%) と、授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

火曜日 17:00～18:00 訪問歯科口腔ケア科医局 (新潟病院1階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月11日	石井 瑞樹	少子・高齢・人口減少社会とその現状, 高齢者歯科の重要性	1) 高齢社会における歯科の役割について列挙する。(B-2-2)-⑤ 2) 平均寿命と健康寿命の特徴を比較する。(B-4-2)-② 3) 人口割合, 将来推計, 主要死因について説明する。(B-2-2)-⑤ 4) 高齢者の健康意識と疾病構造を説明する。(B-4-2)-①
	準備学習と時間	準備学習: 30分 1年次の健康科学で学習した人口統計および将来推計を復習する。	
4月18日	田中 彰	高齢者に多い基礎疾患と必要な医療連携	1) 高齢者に多い基礎疾患を説明する。(E-4-3)-③ 2) 高齢者医療における他職種間の連携・チーム医療の必要性について説明する。(A-7-3)-123, (B-2-2)-⑨ 3) 高齢者チーム医療における歯科医師の役割を説明する。(A-7-3)-123
	準備学習と時間	準備学習: 30分 老年歯科医学第2版 「高齢者に多い全身疾患」をまとめる。	
5月9日	田中 彰	高齢者における口腔顎顔面領域の疾患 高齢者の感染予防対策	1) 高齢者に多い口腔顎顔面疾患を説明する。(E-4-3)-3 2) 高齢者における感染予防策を説明する。 (E-4-3)-123 ⑥⑧ (C-3-1)-3 ⑥
	準備学習と時間	準備学習: 30分 老年歯科医学第2版 「高齢者に多い口腔疾患 軟組織, 硬組織に関連する。疾患, 神経疾患」を読み, まとめる。	
5月16日	竹野 敏彦	高齢者歯科医療における薬物療法の考え方	1) 高齢者薬物療法に影響を及ぼす身体的要因を説明する。 (C-2-3)-⑨, (C-5-3)-② 2) 高齢者の合併疾患による多剤服用の影響を説明する。(E-1-3)-⑧ 3) 高齢者の薬剤選択, 投与量の設定, 投与経路決定に関する考え方を説明する。(E-1-3)-⑨
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 p96-99 を読んで要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月23日	高橋 靖之	高齢者歯科における全身管理, バイタルサイン, 危機管理	1) 老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明する。(E-4-3)-2 2) 高齢者に多くみられる疾患を説明する。(E-4-3)-3 3) 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明する。(E-4-3)-⑥ 4) 要介護高齢者(在宅要介護者も含む)の歯科治療時の注意点を説明する。(E-4-3)-⑧
	準備学習と時間	準備学習: 30分 参考図書: 老年歯科医学第2版 p467-473 を参考に講義テーマについて学習する。	
5月28日(水)	白野 美和	口腔機能の検査と対応法	1) 高齢者の口腔機能の変化について説明する。(E-5-1)-1 2) 口腔機能の評価と対応方法を説明する。(E-5-1)-3
	準備学習と時間	準備学習: 30分 老年歯科医学第2版 p215-250 を読んで要点を確認する。	
5月30日	白野 美和	高齢者歯科の実践	1) 高齢者(要介護高齢者を含む)の保存治療について説明する。(E-4-3-1-⑦, E-4-3-1-⑧) 2) 高齢者(要介護高齢者を含む)の歯周治療について説明する。(E-4-3-1-⑦, E-4-3-1-⑧) 3) 高齢者(要介護高齢者を含む)の欠損補綴治療について説明する。(E-4-3-1-⑦, E-4-3-1-⑧)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 老年歯科医学第2版 p398 を読み, 歯肉炎と歯周炎の要点を確認する。 歯髓の加齢変化について調べる。	
6月6日	吉岡 裕雄	高齢者の栄養管理	1) 高齢者の食生活と食形態について説明する。(E-5-1)-⑩ 2) 要介護高齢者の栄養管理について説明する。(E-5-1)-⑩
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 老年歯科医学第2版 p167-181 を読んで要点を確認する。	
6月13日	吉岡 裕雄	摂食・嚥下リハビリテーション(1)	1) 摂食・嚥下障害の診察を説明する。(E-4-3)-⑩ 2) 摂食・嚥下障害の検査を説明する。(E-4-3)-⑩ 3) 摂食・嚥下障害の診断を説明する。(E-4-3)-⑩
	準備学習	準備学習: 30分 摂食嚥下機能について復習する。	
6月27日	高橋 圭三	摂食・嚥下リハビリテーション(2)	1) 摂食・嚥下リハビリテーションを説明する。(E-4-3)-⑩
	準備学習と時間	準備学習: 30分 リハビリテーションとは何か調べる。	
7月4日	両角 祐子	高齢者の口腔健康管理	1) 口腔健康管理を説明する。(E-5-1)-④ 2) 高齢者の口腔衛生管理を説明する。(E-5-1)-④
	準備学習と時間	準備学習: 30分 老年歯科医学第2版 p256-270 要点を確認する。	
7月11日	吉岡 裕雄	高齢者の特徴と対処の基本	1) 高齢者の心理的・精神的特徴を説明する。(C-3-3)-③, (E-5-1)-① 2) 高齢者の虐待の徴候と対応を説明する。(E-5-1)-⑪
	準備学習と時間	準備学習: 30分 老年歯科医学第2版 p1-3 を読んで要点を確認する。	
7月18日	道川 誠	認知症の特徴と対処の基本	1) 認知症の定義, 特徴を説明する。(E-5-1)-①, C-3-3)-③ 2) 認知機能の評価法について説明する。(E-5-1)-① 3) 認知症と歯科の関係について説明する。(E-5-1)-①
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 老年歯科医学第2版 p136-139, 383-386 を読んで要点を確認する。	
7月25日	白野 美和	在宅, 病院, 施設における高齢者の歯科治療	1) 歯科訪問診療の目的を説明する。(E-5-1)-⑦ 2) 歯科訪問診療の実践について説明する。(E-5-1)-⑤⑥⑦
	準備学習と時間	準備学習: 30分 老年歯科医学第2版 p276-316 を読んで要点を確認する。	

歯科心身医学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
井口 麻美	4	前期	木曜日	10:40～12:00	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯科領域における心身症を理解するために、診断・治療に必要な知識を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	榎本 昭二 他	最新口腔外科学	第5版	医歯薬出版株式会社
参考書	福島 和昭 他	歯科麻酔学	第8版	医歯薬出版株式会社
	和気 裕之 他	デンタルスタッフのための歯科心身症ガイドブック	第1版	医歯薬出版株式会社

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (60%) ☒ 論述試験 (30%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (60%), 論述試験 (30%), 講義の際のレポート, を含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。なお, 態度には授業態度, 遅刻, 欠席に加えて, 身だしなみ, 忘れ物を含む。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日, 水曜日, 木曜日
 時間: 16:00～18:00 場所: 歯科麻酔学講座研究室 (新潟病院 2 階) ※事前にメールで要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	井口 麻美	歯科心身医学総論	1) 歯科領域における心身医学を述べる。 2) 歯科診療とストレスの関係を説明する。 3) 心身相関を説明する。(E-5-3)-① 4) 口腔顔面領域に関連して現れる精神・心身医学的病態を説明できる。(E-5-3)-②
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 最新口腔外科学 第3章(12)歯科心身症 を読み, 要点を確認する。	
4月17日	井口 麻美	歯科治療恐怖症について	1) 歯科治療恐怖症の症状を述べる。 2) 歯科治療恐怖症の特徴を説明する。(E-5-3)-⑤ 3) 歯科治療恐怖症の治療法を述べる。
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 歯科麻酔学 第12章(6)を読み, 要点を確認する。	
5月8日	小林英三郎	舌痛症について	1) 舌痛症の症状を説明する。(E-4-5) ⑤ 2) 舌痛症の特徴を述べる。(E-4-5) ⑤ 3) 舌痛症の治療法を述べる。(E-4-5) ⑤⑦
	準備学習と時間	準備学習: 50 分 最新口腔外科学 第3章(2)を読み, 要点を確認する。	
5月15日	井口 麻美	不定愁訴について	1) 不定愁訴の症状を述べる。 2) 不定愁訴の特徴を述べる。 3) 不定愁訴の治療法を述べる。 4) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の心因性の痛みを説明する。(E-4-5) ③
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 配布資料を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
5月22日	井口 麻美	口腔異常症について	1) 口腔異常感症を説明する。 2) 口腔内セネストパチーの症状を述べる。 3) 口腔内セネストパチーの特徴を述べる。 4) 口腔内セネストパチーの治療法を述べる。(E-5-3)-⑥
	準備学習と時間	準備学習：30分 配布資料を読み、要点を確認する。	
5月29日	水橋 史	顎関節症について	1) 顎関節症の症状を説明する。(E-2-4)-(7)-②) 2) 顎関節症の診査を説明する。(E-2-4)-(7)-②) 3) 顎関節症の治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-②)
	準備学習と時間	準備学習：50分 最新口腔外科学 第3章(10)Ⅷ顎関節症 を読み、要点を確認する。	
6月5日	井口 麻美	歯科心身症に必要な検査について	1) 心理テストの目的と意義を説明する。(E-5-3)-③) 2) 心理テストの種類を述べる。
	準備学習と時間	準備学習：30分 歯科麻酔学 第12章 を読み、要点を確認する。	

臨床診査・検査学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
戸谷 収二	4	前期	木曜日	13:00～14:20	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯科医療において必要な全身および口腔顎顔面領域の臨床診査・検査を身につけ、的確な診断が行える歯科医師となるために、その特徴、種類および適応を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	榎本昭二 ほか監修, 又賀 泉 ほか編集	最新口腔外科学	第5版	医歯薬出版
参考書	鴨井久一, 又賀 泉 ほか	改訂版 歯科学学生のための診査・検査学入門	改訂版	永末書店

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (99%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (1%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (99%) と、講義の出席状態で (1%) で評価する。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

ga-kogeka(at)ml.ngt.ndu.ac.jp にメールで質問すること。(件名に学生No氏名, 授業担当者名を入れる)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	戸谷 収二	臨床検査学総論 一般診査	1) 診察, 検査および診断に必要な事項を列挙する。(E-1-1)-①) 2) 口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明する。(E-1-3)-⑤) 3) 病歴聴取などによって患者の現症を的確に説明する。(E-1-1)-③, ④) 4) 基本的診察を行った後, 次に必要となる検査を想定する。(E-1-1)-⑥)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 最新口腔外科学 p14-25 の要点を確認する。	
4月17日	戸谷 収二	血球検査 止血機能検査	1) 血球検査の種類を説明する。(E-1-3)-②) 2) 血球検査の基準値・異常値の意味を説明する。(E-1-3)-⑤) 3) 止血機能検査の種類を説明する。(E-1-3)-②) 4) 止血機能検査の基準値・異常値の意味を説明する。(E-1-3)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 最新口腔外科学 p48-52, 43-44, 254-271 の要点を確認する。	
5月8日	戸谷 収二	血液生化学検査	1) 血液生化学検査の意義を説明する。(E-1-3)-①) 2) 血液生化学検査の種類を説明する。(E-1-3)-②) 3) 血液生化学検査の基準値を説明する。(E-1-3)-⑤) 4) 血液生化学検査の異常値の意味を説明する。(E-1-3)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 最新口腔外科学 p52-60 の要点を確認する。	
5月15日	戸谷 収二	生体機能検査 一般尿検査 免疫学検査 微生物学的検査	1) 生体機能・尿検査を説明する。(E-1-3)-①, ②, ⑤) 2) 炎症・免疫検査, アレルギー, 腫瘍マーカーの検査を説明する。(E-1-1)-⑥), (E-1-3)-⑤) 3) 微生物学的検査を説明する。(E-1-1)-⑥), (E-1-3)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 最新口腔外科学 p45-48, 71-74 の要点を確認する。	
5月22日	宮野 侑子	歯の検査	1) 硬組織疾患の有無とその程度を知る検査を説明する。(E-3-3)-(1)-① 2) 歯髄疾患の検査を説明する。(E-3-3)-(2)-①
	準備学習と時間	準備学習: 30分 保存修復学・歯内治療学の項目の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月29日	両角 祐子	歯周組織の検査	1) 口腔衛生状態の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 2) 歯周組織検査を説明する。(E-3-3)-(3)-(2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 臨床歯周病学の歯周病の検査の項目の要点を確認する。	
6月5日	高橋 睦	唾液検査	1) 唾液の性状と役割を説明する。(E-2-2)-(5) 2) 唾液腺の構造と機能を説明する。(E-2-2)-(6) 3) 口腔乾燥症を概説する。(E-2-4)-(11)-(5) 4) Sjögren 症候群の特徴, 症状, 診断法および治療法を説明できる。(E-2-4)-(8)-(7)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 最新口腔外科学 p72, 588-589 の要点を確認する。	
6月12日	大橋 誠	呼吸の生理	1) 酸素の運搬を理解する。(C-3-4)-(8)-(1), (2) 2) 炭酸ガスの運搬を理解する。(C-3-4)-(8)-(1), (2) 3) 呼吸運動を理解する。(C-3-4)-(8)-(1), (2) 4) 換気障害を理解する。(C-3-4)-(8)-(1), (2), (E-1-3)-(5) 5) 呼吸機能検査を理解する。(E-1-3)-(4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科麻酔・全身管理学の手引き p60-64 の要点を確認する。	
6月19日	井口 麻美	循環の生理	1) 血圧を理解する。(E-1-4)-(1)-(1), (2) 2) 脈拍と心拍を理解する。(E-1-4)-(1)-(1), (2) 3) 心電図を理解する。(E-1-3)-(3) 4) 心機能検査を理解する。(E-1-3)-(4)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科麻酔・全身管理学の手引き p60-64 の要点を確認する。	
6月26日	水橋 史	顎口腔機能検査	1) 咀嚼運動パターンを説明する。(E-2-1)-(3) 2) 咀嚼機能の検査法と診断基準を説明する。(E-2-1)-(3) 3) 嚥下機能の検査法と診断基準を説明する。(E-2-4)-(11)-(2) 4) 顎関節の機能検査法と診断基準を説明する。(E-2-1)-(6)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 無歯顎補綴治療学 p36-44, 79-87 の要点を確認する。	
7月3日	大野 淳也	病理組織学検査	1) 病理組織学検査の種類を説明する。(E-1-1)-(6) 2) 病理組織学検査の方法を説明する。(E-1-1)-(6)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 最新口腔外科学 p67-71 の要点を確認する。	
7月10日	佐々木善彦	画像検査(1)	1) 放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明する。(E-1-2)-(2) 2) 放射線防護の基準と方法を説明する。(E-1-2)-(3) 3) エックス線画像の形成原理を説明する。(E-1-2)-(4) 4) エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明する。(E-1-2)-(5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科放射線学第6版 p13-106 の要点を確認する。	
7月17日	佐々木善彦	画像検査(2)	1) 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明する。(E-1-2)-(6) 2) 頭部エックス線撮影の適応を説明する。(E-1-2)-(8) 3) 造影検査法, 超音波検査法, コンピュータ断層撮影法(CT), 磁気共鳴撮像法(MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明する。(E-1-2)-(9) 4) エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明する。(E-1-2)-(5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科放射線学第6版 p107-235 の要点を確認する。	
7月24日	戸谷 収二	疾患と臨床検査	1) 臨床検査の意義を説明する。(E-1-3)-(1) 2) 基礎疾患の異常値を説明する。(E-1-3)-(5) 3) 各疾患の異常値を説明する。(E-1-3)-(5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 最新口腔外科学 p45-107 の要点を確認する。	

歯科医のための内科学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
大越 章吾	4	前期	火曜日	14:40～16:00	412 番教室

科目の到達目標（GIO）

歯科治療に際し患者の全身状態，健康状態を把握できる歯科医師となるために，内科的疾患を総論から各論まで系統的に習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	西田次郎，小島孝雄，大久保 直	歯科のための内科学	改訂第4版	南江堂
参考書	西田次郎，小島孝雄，大久保 直	歯科のための内科学	改訂第4版	南江堂

学習方略（重複可）

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議（PBL，TBLを含む） ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価と基準（比重や割合）

- ☐ 客観試験（ %） ☒ 論述試験（70%） ☐ 口頭試験（ %） ☐ レポート（ %）
☐ 実地試験（ %） ☐ ポートフォリオ（ %） ☐ シュミレーションテスト（ %）
☐ 観察記録（ %） ☒ 態度（授業態度，遅刻，欠席を含む）（30%）

成績評価方法

各授業で示した目標についての多選択肢形式筆記試験（70%）と毎回の講義の際の習得しようとする意欲・授業態度・学ぼうとする姿勢（30%）により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火曜日 時間帯：16:00～17:00 場所：7号館3階内科学教授室

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
4月8日	大越 章吾	内科の基本事項(1) 医の倫理	1) 患者の権利を説明する。(A-1-①) 2) 医の倫理と生命倫理を概説する。(A-2-①) 3) 患者との信頼関係を築く。(A-3-①)
	準備学習と時間	準備学習：10分 準備テキスト第1章の要点を確認する。	
4月15日	大越 章吾	内科の基本事項(2) 疾患の分類	1) 疫学とEBMの概念を説明する。(B-4-①) 2) 口腔と全身疾患との関連を説明する。(B-1-③) 3) 代表的な内科疾患を説明する。(E-4-6-①)
	準備学習と時間	準備学習：10分 準備テキスト第1章の要点を確認する。	
4月22日	大越 章吾	内科の基本事項(3) 診断の進め方	1) インフォームドコンセントを説明する。(A-4-①) 2) わかりやすい口頭を説明する。(A-4-②) 3) 患者の心理状態に配慮する。(A-4-④)
	準備学習と時間	準備学習：10分 テキスト第2章の要点を確認する。	
5月15日 (木) 5限	大越 章吾 5月13日(火) 4限と入替	内科の基本事項(4) 症状について	1) 代表的な内科の症候を説明する。(E-4-6-②) 2) 診察，診断に必要な事項を列挙する。(E-1-①) 3) 訴えから主訴を的確に捉える。(E-1-⑦)
	準備学習と時間	準備学習：10分 テキスト第2章の要点を確認する。	
5月20日	大越 章吾	内科の基本事項(5) 診察・身体所見	1) 診察，診断に必要な事項を列挙する。(E-1-①) 2) 主要な身体診察を説明する。(E-4-6-③) 3) バイタルサインを列挙し説明する。(E-1-3-①)
	準備学習と時間	準備学習：10分 テキスト第2章の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月27日	大越 章吾	内科の基本事項(6) 内科診断に必要な検査 1	1) 代表的な内科の症候を説明する。(E-4-6-②) 2) 診断に必要な検査を説明する。(E-1-④) 3) 検査の基準値を知り異常値を説明する。(E-1-1-⑮)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 テキスト第 2 章の要点を確認する。	
6月3日	大越 章吾	循環器疾患(1)	1) 循環器疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 循環器疾患の症候を説明する。(E-4-6-②) 3) 虚血, うっ血, 充血を説明する。(C-4-3-①)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 テキスト第 3 章の要点を確認する。	
6月10日	大越 章吾	循環器疾患(2)	1) 循環器疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 循環器疾患の症候を説明する。(E-4-6-①) 3) 血栓の転帰を説明する。(C-4-3-③)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 テキスト第 3 章の要点を確認する。	
6月24日	大越 章吾	循環器疾患(3)	1) 循環器疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 循環器疾患の症候を説明する。(E-4-6-②) 3) 塞栓の成因, 転帰を説明する。(C-4-3-④)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 テキスト第 3 章の要点を確認する。	
7月1日	大越 章吾	腎臓疾患	1) 腎臓疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 腎臓疾患の症候を説明する。(E-4-6-②) 3) 腎臓疾患の身体診察を説明する。(E-4-3-③)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 テキスト第 11 章の要点を確認する。	
7月8日	大越 章吾	アレルギー, 膠原病	1) アレルギーの分類を説明する。(C-3-2-⑤) 2) 膠原病を説明する。(E-4-6-②) 3) ショックの成因と種類を説明する。(C-4-3-⑦)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 テキスト第 12 章の要点を確認する。	
7月15日	大越 章吾	呼吸器疾患(1)	1) 呼吸器疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 呼吸器疾患の診察を説明する。(E-4-6-③) 3) 肺の構造と機能を説明する。(C-2-3-⑦)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 テキスト第 12 章の要点を確認する。	
7月22日	大越 章吾	呼吸器疾患(2)	1) 呼吸器疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 呼吸器疾患の症候を説明する。(E-4-6-②) 3) 化学療法を説明する。(C-3-1-④)
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 テキスト第 12 章の要点を確認する。	

第4学年 後期授業科目 目次

医 療 法 律 学	50
歯科医療コミュニケーション実習	52
歯科麻酔と救急処置	54
口腔顎顔面外科手術学	56
口腔外科学・全身管理学実習	58
歯 内 療 法 学 実 習	60
部分床義歯補綴学実習	62
歯冠補綴架工義歯学実習	64
口腔顎顔面外科診断治療学	66
障 害 者 歯 科 学	68
歯 性 感 染 症	70
顎咬合診断・口腔インプラント学	72
口腔インプラント学実習	74
歯科医のための内科学	76
外 科 学	78
耳 鼻 咽 喉 科 学	80
総合歯科医学演習	82

医療法学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
寺尾 昌樹	4	後期	木曜日	9:00～10:20	412 番教室

科目の到達目標（GIO）

歯科医師としての業務を遂行するために、歯科医師法、関連法規および患者の権利義務を理解し、歯科医師として求められる基本的な法律関係の知識と考え方を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	前田和彦 プリント	医事法講義（新編） 医療法学判例集	第5版	信山社 日本歯科大学
参考書	手島 豊	医事法入門	第2版	有斐閣
	前田和彦	医事法セミナー	第2版	医療科学社

学習方略（重複可）

☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議（PBL, TBLを含む） ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価と基準（比重や割合）

☒ 客観試験（100%） ☐ 論述試験（ %） ☐ 口頭試験（ %） ☐ レポート（ %）
☐ 実地試験（ %） ☐ ポートフォリオ（ %） ☐ シミュレーションテスト（ %）
☐ 観察記録（ %） ☐ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（ %）

成績評価方法

一般目標で示した項目についての筆記試験（100%）により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

寺尾－非常勤のため、質問事項等は教務部に問い合わせること。

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
9月18日	寺尾 昌樹	法の概念	法とは何か（法の体系、一般私法の基礎、歯科医師と法の関わり）を説明する。
	準備学習と時間	準備学習：15分 レジメの要点を確認する。	
10月2日	石井 瑞樹	医療と法(1)	歯科医師法の内容、歯科医師の法律上の義務、責任を説明する。 (A-3-⑤, C-2-1)-①) 歯科衛生士法および歯科技工士法を説明する。(C-2-1)-②～③)
	準備学習と時間	準備学習：20分 2年次購入「スタンダード社会歯科学」の該当箇所を確認する。	
10月9日	石井 瑞樹	医療と法(2)	医療法を説明する。(C-2-1)-②～③)
	準備学習と時間	準備学習：20分 2年次購入「スタンダード社会歯科学」の該当箇所を確認する。	
10月16日	寺尾 昌樹	医療と法(3)	医師法、薬剤師法を説明する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 テキスト第3章（1-2）及びレジメの要点を確認する。資料1乃至3について確認する。	
10月23日	寺尾 昌樹	医療と法(4)	医師法、薬剤師法を説明する。(C-2-1)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習：15分 テキスト第3章（1-2）及びレジメの要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
10月30日	寺尾 昌樹	医療と法(5)	医療に関わる刑事責任，刑法とは何かを説明する。
	準備学習と時間	準備学習：15分 テキスト第11章(2)及びレジメの要点を確認する。	
11月6日	寺尾 昌樹	医療と法(6)	医療行為が刑法において適法とされる根拠や条件とその具体的事例を説明する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 テキスト第11章(2)及びレジメの要点を確認する。歯科小児患者殴打事件の裁判例を確認する。	
11月13日	寺尾 昌樹	医療と法(7)	医療に関わる契約，権利義務，民法とは何かを説明する。
	準備学習と時間	準備学習：15分 テキスト第10章(1)及びレジメの要点を確認する。	
11月20日	寺尾 昌樹	医療と法(8)	医療に関わる契約，権利義務，民法とは何かを説明する。
	準備学習と時間	準備学習：15分 テキスト第10章(1)及びレジメの要点を確認する。	
11月27日	寺尾 昌樹	医療と法(9)	医療側と患者との権利義務を律する契約および医療契約を説明する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 テキスト第10章(1)及びレジメの要点を確認する。ルンバールショック事件の裁判例を確認する。	
12月4日	寺尾 昌樹	バイオエシックスと限界的医療	医療面におけるバイオエシックスとはどのような考え方が，限界的医療との関連を説明する。
	準備学習と時間	準備学習：30分 テキスト第12章（1，2，5，6）及びレジメの要点を確認する。 東海大学安楽死事件の裁判例を確認する。	
12月11日	寺尾 昌樹	患者の自己決定権，IC，説明義務	インフォームド・コンセントや自己決定権とその意義，また歯科医師の説明義務についての裁判例を説明する。（A-1-②，A-4-①）
	準備学習と時間	準備学習：15分 テキスト第10章(2)及びレジメの要点を確認する。	

歯科医療コミュニケーション実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
井口 麻美	4	後期	水曜日	9:00～12:00	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

患者との良好な信頼関係を築き、円滑なチーム医療を行うために、歯科医療上の種々の対人関係を理解し、歯科医師としてふさわしいコミュニケーションに必要な基本的知識・態度・技能を身につける。

著者・編者	書名	版	出版社
高木裕三, 田村康夫, 井上美津子, 白川哲夫 編	小児歯科学	第4版	医歯薬出版
岡野友宏 編	歯科放射線学	第6版	医歯薬出版
三谷春保 編	歯学生のパーシャルデンチャー	第6版	医歯薬出版
矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川 匠	クラウンブリッジ補綴学	第6版	医歯薬出版
参考書			

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☒ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (30%) ☒ 論述試験 (10%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☒ シミュレーションテスト (30%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (30%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (30%) と、論述試験 (10%), シミュレーションテスト (30%), 毎回の実習に対する関心・意欲・態度 (30%) により評価を行う。なお、態度には授業態度, 遅刻, 欠席に加えて, 身だしなみ, 忘れ物を含む。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日, 水曜日, 木曜日
 時間: 16:00～18:00 場所: 歯科麻酔学講座研究室 (新潟病院 2 階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月5日	水谷 太尊 二宮 一智 戸谷 収二 小椋 一朗 上田 一彦 水橋 史 佐々木 善彦 両角 祐子 小根山 隆浩 北澤 裕美 井口 麻美 織田 隆昭 赤柴 竜 瀬戸 宗嗣 瀬戸 淑子 丸山 昂介 富田 優也 渡會 侑子 中谷 佑哉 原 基 押切 孔 後藤 翔 太田 信 上津 豪洋	医療面接に必要なコミュニケーション技法と病歴聴取の流れ 慢性疾患初診患者に対する医療面接 (ロールプレイ) 初診時の医療面接 OSCE 課題 (Ⅲ .1.3)	1) コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明する。(A-4-1)-① 2) 適切な医療面接により, 患者との良好な関係を構築することを説明する。(A-3)-① 3) コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。(A-4-1)-② 4) 医療面接における基本的なコミュニケーションができる。(F-2-1)-② 5) 適切な身だしなみ, 言葉遣いおよび態度で接することができる。(F-2-1)-①
準備学習: 30 分 歯内治療学 第5章 歯髄疾患 を読み, 要点を確認する。			

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月12日		急性疾患初診患者に対する医療面接と診療録の記載(ロールプレイ) 初診時の医療面接 OSCE 課題 (Ⅲ .1.3) 処方箋の作成(シミュレーション)	1) 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。(A-4-2)-①) 2) 患者に分かりやすい言葉で説明する。(A-4-2)-②) 3) 病歴聴取(主訴, 原病歴, 既往歴, 家族歴, 生活歴, 社会歴)を説明する。(E-1-1)-③) 4) 医療チームや各構成員の役割分担と連携・責任体制について説明する。(A-5-1)-②) 5) 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し, 適切に取扱う。(A-5-1)-⑤) 6) 処方と処方箋の書き方を説明する。(E-1-1)-⑨)
		準備学習: 30分 歯内治療学	第5章 歯髄疾患を読み, 要点を確認する。
11月19日		欠損補綴の治療方針の説明(ロールプレイ) 歯質と歯の欠損の治療 技工指示書作成(シミュレーション)	1) インフォームド・コンセントを説明する。(E-1-1)-⑧) 2) 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。(A-4-2)-①) 3) 患者に分かりやすい言葉で説明する。(A-4-2)-②) 4) 技工指示書の書き方を説明できる。(E-1-1)-⑩)
		準備学習: 30分 準備学習	配布プリントの補綴物について参考書で確認する。
11月26日	水谷 太尊 二宮 一智 戸谷 収二 小椋 一朗 上田 一彦 水橋 史 佐々木 善彦 両角 祐子 小根山 隆浩 北澤 裕美 井口 麻美 織田 隆昭 赤柴 竜 瀬戸 宗嗣 瀬戸 淑子 丸山 昂介 富田 優也 渡會 侑子 中谷 佑哉 原 基孔 押切 翔 後藤 信 太田 信 上津 豪洋	保護者への保険装置の説明 保護者への矯正装置の説明(ロールプレイ, シミュレーション)	1) インフォームド・コンセントを説明する。(E-1-1)-⑧) 2) 患者情報から必要な診察, 検査を説明する。(F-1-1)-②) 3) 診断室における患者の心理と行動を説明できる。(E-1-1)-⑤) 4) 患者に診断結果と治療方針(保険装置, 矯正装置)を説明できる。(F-2-1)-⑦)
		準備学習: 30分 小児歯科学	装置について学習する。
12月3日		患者へのエックス線撮影の説明 エックス線写真の取り扱いと読影 患者への治療計画の説明(ロールプレイ, シミュレーション)	1) 口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。(E-1-2)-⑦) 2) 患者に分かりやすい言葉で説明する。(A-4-2)-②) 3) 患者情報を収集, 分析できる。(F-1-1)-①) 4) 患者のプライバシーに配慮できる。(F-2-1)-⑥)
		準備学習: 30分 歯科放射線	エックス線について学習する。
12月10日		模擬患者への医療面接(シミュレーション) OSCE 課題 ((Ⅲ .1.3)) 客観試験・実習のまとめ	1) 患者の病歴(主訴, 現病歴, 既往歴, 家族歴)を聴取できる。(F-2-1)-③) 2) 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し問題点を抽出, 整理できる。(F-2-1)-④) 3) 患者の不安, 不満や表情, 行動の変化に適切に対応できる。(F-2-1)-⑤)
		準備学習: 30分 歯科放射線	エックス線について学習する。

歯科麻酔と救急処置

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
井口 麻美	4	後期	金曜日	9:00～10:20	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

円滑な歯科診療を遂行するために必要な精神鎮静法・全身麻酔法の知識と全身管理に必要な知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	古屋英毅, 東理十三雄編集, 佐野公人, 砂田勝久 編	歯科麻酔・全身管理学の手引き	第5版	学建書院
参考書	今井 裕, 東理十三雄編集, 佐野公人, 砂田勝久 編	有病者歯科学	第1版	永末書店
	一戸竜也, 北畑 洋, 嶋田昌彦, 丹羽 均, 宮脇 卓也 編	歯科麻酔学	第8版	医歯薬出版株式会社

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (60%) ☒ 論述試験 (30%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (60%), 論述試験 (30%), 講義の際のレポート, を含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。なお, 態度には授業態度, 遅刻, 欠席に加えて, 身だしなみ, 忘れ物を含む。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日, 水曜日, 木曜日
時間: 16:00～18:00 場所: 歯科麻酔学講座研究室 (新潟病院 2 階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月19日	砂田 勝久 (生命歯学部)	精神鎮静法 (東京校交換授業)	1) 精神鎮静法の特徴と目的および種類を説明する。(E-1-4)-(2)-①) 2) 吸入鎮静法の適応と禁忌および使用薬剤を説明する。(E-1-4)-(2)-②) 3) 精神鎮静法の周術期の管理を説明する。(E-1-4)-(2)-④)
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第5章(1)を読み要点を確認する。	
9月26日	大橋 誠	静脈内鎮静法 全身麻酔総論	1) 静脈内鎮静法の適応と禁忌および使用薬剤を説明する。 (E-1-4)-(2)-③) 2) 静脈内鎮静法に用いる薬剤の薬理作用を説明する。 3) 精神鎮静法の周術期の管理を説明する。(E-1-4)-(4)-④) 4) 全身麻酔の理論と歴史を説明する。 5) 全身麻酔の目的と種類ならびに特徴を説明する。(E-1-4)-(4)-①)
	準備学習と時間	準備学習: 40 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第5章(2)(3), 第8章(1)(2)(4)を読み要点を確認する。	
10月3日	齋藤 芳秀	吸入麻酔薬 麻酔前投薬, 麻酔の種類	1) 全身麻酔法の種類と特徴を説明する。(E-1-4)-(4)-②) 2) 筋弛緩薬の種類と特徴を説明する。 3) 全身麻酔に必要な器具, 機材を説明する。 4) 麻酔前投薬の目的, 種類ならびに特徴を説明する。 5) 麻酔の導入方法の種類を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第8章, 5, 8を読み要点を確認する。	
10月10日	高橋 靖之	全身麻酔に関する呼吸の生理	1) 気道系 (鼻腔, 副鼻腔, 咽頭, 気管, 気管支) の構造と機能を説明する。 (C-3-4)-(8)-①) 2) 肺の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(8)-②) 3) 酸塩基平衡について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 40 分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第6章を読み要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月17日	井口 麻美	全身麻酔に関する循環の生理	1) 心臓の構造と機能を説明する。(C-3-4)-(4)-①) 2) 肺循環と体循環の2系統を説明する。(C-3-4)-(4)-②) 3) 動脈, 毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明する。(C-3-4)-(4)-③) 4) 血液循環と血管運動, 血圧の調節機構を説明する。(C-3-4)-(3)-④) 5) 心電図について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 40分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第7章を読み要点を確認する。	
10月24日	井口 麻美	術前検査と術前評価 歯科外来全身麻酔 高齢者の麻酔管理 小児の麻酔管理	1) 全身管理を説明する。(E-1-4)-(1)-⑥) 2) 術前検査, 手術危険度の評価を説明する。 3) 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明する。(E-1-4)-(1)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第8章9, 16, 17を読み要点を確認する。	
10月31日	高橋 靖之	静脈麻酔薬, 特殊な麻酔方法 心身障害者の麻酔管理	1) 全身麻酔法の種類と特徴を説明する。(E-1-4)-(4)-①) 2) balanced anesthesia, NLAについて説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第8章6, 7, 18を読み要点を確認する。	
11月7日	大橋 誠	全身麻酔の偶発症(1)	1) 全身麻酔時の周術期の管理を説明できる。(E-1-4)-(4)-③) 2) 呼吸系 低酸素血病, 高炭酸血病, 気道閉塞, 喉頭痙攣, 気管支痙攣, 無気肺について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 40分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第8章19を読み要点を確認する。	
11月14日	井口 麻美	全身麻酔の偶発症(2) 循環系, 血圧低下, 血圧上昇, 不整脈, ショック等	1) 全身麻酔時の周術期の管理を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 2) 循環系 血圧下降, 血圧上昇, 不整脈, ショックについて説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 40分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第8章19を読み要点を確認する。	
11月28日	高橋 靖之	術中管理(1) 呼吸管理	1) 全身麻酔時の周術期の管理を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 2) 患者監視と記録, 呼吸管理, 代謝管理について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第8章12, 13を読み要点を確認する。	
12月5日	大橋 誠	術中管理(2) 循環管理	1) 全身麻酔時の周術期の管理を説明する。(E-1-4)-(4)-③) 2) 循環器系疾患の麻酔管理, 緊急時の対応について説明する。 3) 輸液の種類と適応, 注意点について説明する。 4) 輸血の種類と適応, 注意点について説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第8章14, 15を読み要点を確認する。	
12月12日	井口 麻美	術中管理(3) 疼痛管理と麻薬 術後管理 総括	1) 術中の疼痛管理に用いる麻薬の種類と特徴を説明する。 2) 全身麻酔後の管理を説明する。(E-1-4)-(4)-③)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科麻酔・全身管理学の手引き第8章20, 21を読み要点を確認する。	

口腔顎顔面外科手術学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
戸谷 収二	4	後期	木曜日	14:40～16:00	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

口腔顎顔面領域における標準的な手術を安全かつ適切に行える歯科医師となるために、口腔外科手術に必要な基本的知識を身につける。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 榎本昭二 ほかに監修, 又賀 泉 ほかに編集	最新口腔外科学	第5版	医歯薬出版
参考書 白砂兼光・古郷幹彦 編	口腔外科学	第4版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (99%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シュミレーションテスト (%)
☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (1%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (99%) と, 講義の出席状態で (1%) で評価する。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

ga-kogeka(at)ml.ngt.ndu.ac.jp にメールで質問すること。(件名に学生No.氏名, 授業担当者名を入れる)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月18日	赤柴 竜	消毒法	1) 滅菌と消毒の違い, 代表的な方法および利点・欠点を説明する。(E-1-5)-⑧) 2) 手指と術野(皮膚・粘膜)の消毒について説明する。(E-1-5)-⑥) 3) 清潔と不潔の区別を説明する。(E-1-5)-⑦)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p485-491 を読み, 要点を確認する。
10月2日	戸谷 収二	外科的基本手技	1) 手術に必要な器具の用法と基本手技を説明する。(E-1-5)-③) 2) 切開法の種類と粘膜骨膜弁の形成法を説明する。(E-1-5)-④) 3) 縫合に必要な器具と方法および止血法について説明する。(E-1-5)-⑤)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p493-507, 533-540 を読み, 要点を確認する。
10月9日	小根山隆浩	抜 歯 周術期管理	1) 抜歯の適応・禁忌を説明する。(E-1-5)-①) 2) 抜歯の合併症(偶発症)を説明する。(E-1-5)-②) 3) 抜歯の基本手技と治癒過程を説明する。(E-1-5)-③⑨) 4) 周術期の管理・評価法, 偶発症を説明する。(E-1-5)-②⑥, (E-1-6)-①)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p584-595, 472-475, 654-677, 658-663 を読み, 要点を確認する。
10月16日	赤柴 竜	炎症の治療	1) 膿瘍の診断法, 消炎手術を説明する。(E-2-4)-(3)-③⑤) 2) 顎骨骨髓炎に対する治療を説明する。(E-2-4)-(3)-⑤⑥) 3) 炎症に対する薬物療法(抗菌薬, 鎮痛薬, 抗炎症薬)を説明する。
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p187-205, 741-750 を読み, 要点を確認する。
10月23日	小林英三郎	嚢胞の手術 移植と再生医療	1) 嚢胞の治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-②) 2) Partsch I 法, II 法, 開窓療法を説明する。 3) 根尖切除術を説明する。 4) 歯の再植と移植について説明する。(E-2-4)-(2)-③)
		準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p509-522, 677-687, 751-761 を読み, 要点を確認する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
10月30日	中谷 佑哉	補綴前外科としての手術 顎関節の手術	1) 補綴前処置としての手術を説明する。(E-1-5)-(3) 2) 歯槽骨整形術と歯槽堤形成術を説明する。 3) 小帯（唇小帯、頬小帯、舌小帯）の手術を説明する。 4) 顎関節脱臼の治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-(2) 5) 顎関節強直症の治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-(2) 6) 顎関節症の治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p388-392, 395-397, 401-405, 817-827, 689-695, 712-713 を読み、要点を確認する。	
11月6日	戸谷 収二	口唇・口蓋裂の治療	1) 口唇・口蓋裂の総合的な治療の流れを説明する。(E-2-4)-(1)-(2) 2) 口唇・口蓋裂の手術方法について説明する。(E-2-4)-(1)-(2) 3) 口唇・口蓋裂の患者管理について説明する。(E-2-4)-(1)-(2)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p700-711, 640-643 を読み、要点を確認する。	
11月13日	戸谷 収二	顎骨骨折の治療	1) 顎骨骨折の治療の原則を説明する。(E-2-4)-(2)-(2)(4) 2) 歯槽骨骨折、顎骨骨折の整復法および固定法を説明する。 (E-2-4)-(2)-(3)(4)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p158-165, 507-508, 731-740 を読み、要点を確認する。	
11月20日	水谷 太尊	顎変形症の治療	1) 顎変形症の治療法を説明する。(E-2-4)-(1)-(3) 2) 顎矯正手術の種類、特徴、適応、術式を説明する。
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p147-148, 714-730 を読み、要点を確認する。	
11月27日	猪子 芳美	閉塞性睡眠時無呼吸症（症候群）の治療	1) 睡眠時無呼吸症候群の原因、診察、検査、診断および治療方針を概説する。 (E-2-4)-(11)-(6) 2) 口腔内装置について説明する。
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p467, 475-479 を読み、要点を確認する。	
12月4日	松野 智宣	医療安全・感染予防	1) 歯科医療における医療安全を説明する。 2) 標準予防策を説明する。
	準備学習と時間	準備学習:30分 ハインリッヒの法則、KYT、医療事故調査制度、標準予防策について調べる。	
12月11日	戸谷 収二	腫瘍の手術	1) 良性腫瘍の治療法を説明する。(E-2-4)-(6)-(2) 2) 腫瘍切除、顎骨切除、再建法を説明する。(E-2-4)-(6)-(2)(3) 3) 頸部郭清術の種類と合併症を説明する。(E-2-4)-(6)-(3)
	準備学習と時間	準備学習:30分 教科書 p762-775, 782-794, 797-804 を読み、要点を確認する。	

口腔外科学・全身管理学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
小林英三郎	4	後期	月曜日	9:00～12:00	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階) 介護実習室(3号館1階)

科目の到達目標 (GIO)

全身の健康の回復と増進のために、口腔顎顔面領域の疾患に対して口腔外科治療を行うのに必要な基本的な技能、知識、態度を習得する。
--

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 日本歯科大学口腔外科編	口腔外科学実習書		
参考書 日本歯科大学新潟病院編	歯科麻酔科病院実習 サブノート		

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (30%) ☒ 論述試験 (30%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (70%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての客観試験・論述試験 (合わせて 30%) と、授業に対する関心・意欲・態度・出席状況 (70%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

ga-kogeka@ml.ngt.ndu.ac.jp にメールで質問すること。(件名に学生No.氏名、授業担当者名を入れる)
--

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月22日 (月)	赤柴 竜 花田 大地 水谷 太尊 梁 由美	感染予防対策 OSCE 課題 (3-2) 切開・縫合 OSCE 課題 (5-8)	1) 手術手洗いを実施し、滅菌手袋の装着ができる。E-1-1-2, D-5-4-4 2) 清潔に配慮した操作ができる。E-1-1-4 3) 小手術に必要な器具器材を準備する。D-5-4-3 4) 口腔粘膜の切開を模倣する。D-5-4-3 5) 基本的な縫合と抜糸を実施する。E-5-3-5-3, E-5-3-5-4
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 参考図書: 口腔外科学実習書の要点を確認する。	
9月25日 (木)	小根山隆浩 町田 東子 佐久間 要 吉田 稜平	普通抜歯 OSCE 課題 (5-5) 下顎埋伏智歯抜去	1) 抜歯に必要な器具器材を準備する。D-5-4-3 2) 普通抜歯を実施する。E-5-3-5-1 3) 清潔に配慮した操作ができる。E-1-1-4 4) 埋伏歯抜去に必要な器具器材を準備する。D-5-4-3 5) 下顎埋伏歯抜去を模倣する。D-5-4-5 6) 医療廃棄物を適切に分別し廃棄できる。E-1-1-5
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 参考図書: 口腔外科学実習書の要点を確認する。	
9月29日 (月)	城井 友幸 菊地 庸佑	膿瘍切開 骨瘤除去手術 歯根尖切除術	1) 小手術に必要な器具器材を準備する。D-5-4-3 2) 小手術の基本手技を模倣する。D-5-4-3, E-5-3-5-2 3) 清潔に配慮した操作ができる。E-1-1-4 4) 医療廃棄物を適切に分別し廃棄できる。E-1-1-5
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 参考図書: 口腔外科学実習書の要点を確認する。	
10月6日 (月)	小林英三郎 中谷 佑哉	口腔外診査 OSCE 課題 (2-3) 唾液検査・味覚検査	1) 頭頸部を構成する筋と顎関節の構造を理解する。 A-3-2-3, A-3-2-8 2) 顎顔面頸部の診査を実施する。D-2-2-2, E-2-2-1, E-2-2-2 3) 唾液分泌検査を実施する。E-2-2-6 4) 味覚検査を実施する。E-2-2-6
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 参考図書: 口腔外科学実習書の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月20日(月)	高塩 智子 大橋 誠 齋藤 芳秀 押切 孔 関 秀明	口腔内診査 OSCE 課題 (2-1)	1) 口腔内診査に必要な器具器材を準備する。D-2-2-1 2) 口腔内診査を実施する。D-2-2-2 3) 口腔内所見を適切に記載する。E-4-1-1
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 参考図書: 口腔内診査実習の配布資料の内容, 要点を確認する。	
10月27日(月)	大橋 誠 井口 麻美 高橋 靖之 齋藤 芳秀 押切 孔	バイタルサインの測定 OSCE 課題 (2-2) 心肺蘇生 OSCE 課題 (3-5)	1) バイタルサインを列挙し説明する。D-2-3-1, D-2-3-2 2) 血圧を測定し状況を把握する。D-2-3-2, D-2-3-3 3) 脈拍を測定し状況を把握する。D-2-3-2, D-2-3-3 4) 意識レベル, 呼吸および脈拍の状態を把握する。E-1-2-1 5) 気道確保と呼吸吹込みによる人工呼吸を模倣する。 D-1-1-2, E-1-2-2 6) 胸骨圧迫と自動体外式除細動器 (AED) の操作を模倣する。 D-1-1-2, E-1-2-2
	準備学習と時間	準備学習: 60 分 参考図書: 歯科麻酔科病院実習サブノート・事前配布プリント, 歯科麻酔学第 8 版 (医歯薬出版) p533-550, 歯科麻酔・全身管理学の手引き第 5 版 (学建書院) p159-176 を熟読する。	
11月5日(水) PM	大橋 誠 井口 麻美 高橋 靖之 齋藤 芳秀 押切 孔	局所麻酔 OSCE 課題 (3-1)	1) 局所麻酔の目的を説明する。D-1-2-1-1 2) 局所麻酔に必要な薬剤を準備する。D-2-2-1 3) 局所麻酔法の種類と特徴を説明する。D-1-2-1-2 4) 局所麻酔を模倣する。E-1-3-1
	準備学習と時間	準備学習: 60 分 参考図書: 歯科麻酔科病院実習サブノート・事前配布プリント, 歯科麻酔学第 8 版 (医歯薬出版) p140-158 を熟読する。	
11月10日(月)	赤柴 竜 花田 大地 水谷 太尊 梁 由美	感染予防対策 OSCE 課題 (3-2) 切開・縫合 OSCE 課題 (5-8)	1) 手術手洗いを実施し, 滅菌手袋の装着ができる。E-1-1-2, D-5-4-4 2) 清潔に配慮した操作ができる。E-1-1-4 3) 小手術に必要な器具器材を準備する。D-5-4-3 4) 口腔粘膜の切開を模倣する。D-5-4-3 5) 基本的な縫合と抜糸を実施する。E-5-3-5-3, E-5-3-5-4
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 参考図書: 9 月 22 日実習を復習し, 口腔外科学実習書の要点を確認する。	
11月17日(月)	小根山隆浩 町田 東子 小林英三郎 中谷 佑哉	普通抜歯 OSCE 課題 (5-5) 口腔外診査 OSCE 課題 (2-3)	1) 抜歯に必要な器具器材を準備する。D-5-4-3 2) 普通抜歯を実施する。E-5-3-5-1 3) 清潔に配慮した操作ができる。E-1-1-4 4) 医療廃棄物を適切に分別し廃棄できる。E-1-1-5 5) 頭頸部を構成する筋と顎関節の構造を理解する。A-3-2-3, A-3-2-8 6) 顎顔面頸部の診査を実施する。D-2-2-2, E-2-2-1, E-2-2-2
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 参考図書: 9 月 25 日, 10 月 6 日の実習を復習し, 口腔外科学実習書の要点を確認する。	
11月21日(金)	大橋 誠 井口 麻美 高橋 靖之 齋藤 芳秀 押切 孔	バイタルサインの測定 OSCE 課題 (2-2) 心肺蘇生 OSCE 課題 (3-5)	1) バイタルサインを列挙し説明する。D-2-3-1, D-2-3-2 2) 血圧を測定し状況を把握する。D-2-3-2, D-2-3-3 3) 脈拍を測定し状況を把握する。D-2-3-2, D-2-3-3 4) 意識レベル, 呼吸および脈拍の状態を把握する。E-1-2-1 5) 気道確保と呼吸吹込みによる人工呼吸を模倣する。 D-1-1-2, E-1-2-2 6) 胸骨圧迫と自動体外式除細動器 (AED) の操作を模倣する。 D-1-1-2, E-1-2-2
	準備学習と時間	準備学習: 60 分 参考図書: 10 月 27 日の実習内容を踏まえて, 歯科麻酔科病院実習サブノート・事前配布プリント, 歯科麻酔学第 8 版 (医歯薬出版) p140-158 を熟読する。	
12月1日(月)	大橋 誠 井口 麻美 高橋 靖之 齋藤 芳秀 押切 孔	局所麻酔 OSCE 課題 (3-1)	1) 局所麻酔の目的を説明する。D-1-2-1-1 2) 局所麻酔に必要な薬剤を準備する。D-2-2-1 3) 局所麻酔法の種類と特徴を説明する。D-1-2-1-2 4) 局所麻酔を模倣する。E-1-3-1
	準備学習と時間	準備学習: 60 分 参考図書: 10 月 29 日の実習を踏まえて, 歯科麻酔科病院実習サブノート・事前配布プリント, 歯科麻酔学第 8 版 (医歯薬出版) p140-158 を熟読する。	
12月8日(月)	小林英三郎 大橋 誠	客観試験・記述試験	
	準備学習	これまでの実習課題の内容を復習しておくこと。	

歯内療法学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
新井 恭子	4	後期	水曜日	13:00～17:40	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

歯髄疾患や根尖性歯周疾患に罹患した歯の疼痛軽減、感染除去、機能回復および審美的回復を行い、長期保存するために必要な歯内療法の臨床的な知識、技能、態度を習得する。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 日本歯科大学新潟生命歯学部歯科保存学第1講座	歯内療法学実習書(2025年度版)		日本歯科大学
参考書 勝海一郎 他編	歯内治療学	5	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (5%) ☐ 論述試験 () ☐ 口頭試験 () ☐ レポート ()
☐ 実地試験 () ☒ ポートフォリオ (30%) ☒ シミュレーションテスト (25%)
☒ 観察記録 (30%) ☒ 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目について実技実習を行い、毎回のプレテストによる客観試験 (5%), ポートフォリオによる形成的評価 (30%), 観察記録 (30%), 実習に対する意欲、真摯な態度 (10%) およびシミュレーションテスト (25%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

対面・メールともに随時受け付け、病院4階歯科保存学第1講座研究室で対応する。
※事前にメールで要予約 (メールアドレスは実習中に提示する)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月17日		オリエンテーション 電気回路付顎模型作製 デンタルエックス線撮影法	1) 必要な器具・器材を準備する。(F-3-1)-②) 2) 電気回路付顎模型を作製する。(F-3-1)-②) 3) デンタルエックス線撮影法を説明する。(E-1-2)-⑥, ⑦)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点、参考書の関連分野を確認する。	
9月24日	両角 俊哉 新井 恭子 清水 公太 鎗田 将史 宮本美智子 大石 繁康 木村 正子	ラバーダム防湿法 OSCE 課題 (IV.1.8) ブローチ綿栓作製	1) 清潔不潔の概念を持って無菌的処置を行う。(F-1-2)-②, ④) 2) ラバーダム防湿を行う。 (E-3-3)-(2)-①, F-1-2)-②, ④, F-3-1)-③) 3) ブローチ綿栓を作製する。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-③)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点、参考書の関連分野を確認する。	
10月1日	三好 敏朗 横須賀孝史 貝津 徹 井野場朗子 武村 幸彦 松田浩一郎 湊 華絵	髓室開拓 仮封セメント練和	1) 髓室開拓を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-③) 2) 仮封用セメントを練和する。 (D-2-③, ⑥, E-3-3)-(1)-⑦, E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-③)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点、参考書の関連分野を確認する。	
10月8日		ラバーダム防湿下での直接覆髄法 ラバーダム防湿下での生活歯髄切断法 OSCE 課題 (IV.1.8)	1) ラバーダム防湿を行う。 (E-3-3)-(2)-①, F-1-2)-②, ④, F-3-1)-③) 2) 歯髄保護の意義、種類および方法を説明する。(E-3-3)-(1)-⑤) 3) 歯髄疾患の症状、診断および治療法を説明する。(E-3-3)-(2)-①) 4) 直接覆髄法を行う。(E-3-3)-(2)-①, (F-3-3)-③) 5) 生活歯髄切断法を行う。(E-3-3)-(2)-①, (F-3-3)-③)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点、参考書の関連分野を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月15日	両角 俊哉 新井 恭子 清水 公太 鎗田 将史 宮本美智子 大石 繁康 木村 正子 三好 敏朗 横須賀孝史 貝津 徹 井野場朗子 武村 幸彦 松田浩一郎 湊 華絵	抜髄法(1)-1 髓室開拡, 抜髄, 根管形成, 根管貼薬, 仮封 (歯冠付・透明模型単根管, 歯冠付・透明模型2根管)	1) 髓室開拡を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 2) 抜髄, 根管口明示を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 3) 根管長測定を実施し, 作業長を決定する。 (E-3-3)-(2)-①, F-2-2)-(7), F-3-3)-(3) 4) 根管形成を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 5) 根管の化学的清掃を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 6) 根管貼薬を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 7) 仮封を行う。 (D-2-③, ⑥, E-3-3)-(1)-⑦, E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
10月22日		抜髄法(1)-2 根管充填 (歯冠付・透明模型単根管, 歯冠付・透明模型2根管)	1) 側方加圧根管充填を行う。 (D-2-⑥, E-3-3)-(2)-①, ②, (F-3-3)-(3)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
10月29日 AM 11月5日 と入替		電氣的根管長測定法(1) 髓室開拡, 抜髄, 電氣的根 管長測定法, 作業長決定 (個歯スタンド装着3根管 性上顎大臼歯)	1) 髓室開拡を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 2) 根管口明示を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 3) 電氣的根管長測定を実施する。 (E-3-3)-(2)-①, F-2-2)-(7), F-3-3)-(3) 4) デンタルエックス線撮影を行い, 作業長を決定する。 (E-1-2)-⑥, ⑦, E-3-3)-(2)-①, F-2-2)-(5), F-3-3)-(3)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
11月12日		電氣的根管長測定法(2) 根管形成, 根管貼薬 (個歯スタンド装着3根管 性上顎大臼歯)	1) ステンレススチールファイルで根管形成を行う。 (E-3-3)-(2)-①, (F-3-3)-(3) 2) Ni-Ti ロータリーファイルで根管形成を行う。 (E-3-3)-(2)-①, (F-3-3)-(3) 3) 歯科用実体顕微鏡による根管内の検査を行う。 (E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 4) 根管の化学的清掃を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 5) 根管貼薬を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
11月19日		抜髄法(2)-1 髓室開拡, 抜髄, 電氣的根 管長測定法, 作業長決定 (ファントム装着下顎大臼歯) OSCE 課題 (IV1.8)	1) ラバーダム防湿を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-1-2)-(2), ④, F-3-1)-(3) 2) 髓室開拡を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 3) 根管口明示を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 4) 電氣的根管長測定を実施する。 (E-3-3)-(2)-①, F-2-2)-(7), F-3-3)-(3) 5) デンタルエックス線撮影を行い, 作業長を決定する。 (E-1-2)-⑥, ⑦, E-3-3)-(2)-①, F-2-2)-(5), F-3-3)-(3)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
11月26日		抜髄法(2)-2 根管形成, 根管貼薬, 仮封 (ファントム装着下顎大臼歯) OSCE 課題 (IV1.8)	1) ラバーダム防湿を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-1-2)-(2), ④, F-3-1)-(3) 2) 根管形成を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 3) 根管の化学的清掃を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 4) 根管貼薬を行う。(E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3) 5) 仮封を行う。 (D-2-③, ⑥, E-3-3)-(1)-⑦, E-3-3)-(2)-①, F-3-3)-(3)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
12月3日		抜髄法(2)-3 根管充填 (ファントム装着下顎大臼歯) OSCE 課題 (IV1.8)	1) 側方加圧根管充填を行う。 (D-2-⑥, E-3-3)-(2)-①, ②, (F-3-3)-(3) 2) デンタルエックス線撮影を行う。(E-1-2)-⑥, ⑦, F-2-2)-(5) 3) 根管充填後の評価を行う。(E-3-3)-(2)-①, ②, ④)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点, 参考書の関連分野を確認する。	
12月10日		シミュレーションテスト	1) 必要な器具・器材を準備する。(F-3-1)-(2) 2) ラバーダム防湿を行う。 (E-3-3)-(2)-①, F-1-2)-(2), ④, F-3-1)-(3) 3) 直接抜髄即時根管充填法を行う。 (E-3-3)-(2)-①, ②, F-2-2)-(7), F-3-3)-(3) 4) デジタルエックス線撮影を行う。(E-1-2)-⑥, ⑦, F-2-2)-(5) 5) 自己評価を行う。(E-3-3)-(2)-①, ②, ④)
		準備学習: 70分 歯内療法学実習書の要点, 参考書の関連分野を確認する。	

部分床義歯補綴学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
水橋 史	4	後期	金曜日	13:00 ~ 17:40	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

部分床義歯による機能回復と口腔組織の保全を図るために、部分床義歯の設計、製作に必要な基本的知識、技術および態度を習得する。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書 歯科補綴学第1講座 編	部分床義歯補綴学実習書	第28版	日本歯科大学新潟生命歯学部
参考書 三谷春保 編	歯学生のパーシャルデンチャー	第6版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☒ その他 (デモンストレーション)

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (20%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (80%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (20%) と製作物の習得度についての観察記録 (70%) および実習に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日, 金曜日 時間帯: 12:00 ~ 13:00 場所: 歯科補綴学第1講座研究室 (7号館3階)
 事前にメール (ga-hotetsul(at)ngt.ndu.ac.jp) で要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月19日	水橋 史 浅沼 直樹 水橋 亮 渡會 侑子 片山 直人 栗田 武	診断+D2: F17・設計	1) 2種類の診断・設計模型の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 2) メタルフレームの形態を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)) 3) 完成義歯の形態を説明する。(E-3-4)-(2)-(4)) 4) 最終的な義歯の設計・形態を説明する。(E-3-4)-(2)-(5))
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第1章 を読み、要点を確認する。	
9月26日		設計(2) 下顎 Kennedy I 級	1) 適切な手順でサベイングを実施する。(E-3-4)-(2)-(11)) 2) 適切な位置へのアンダーカット付与を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)) 3) 根拠に基づいた設計を実施する。(E-3-4)-(2)-(5)) 4) ガイドプレーン記載を実施する。(E-3-4)-(2)-(11))
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第2章 を読み、要点を確認する。	
10月3日		設計(2) 上顎 Kennedy II 級 1 類 設計(3) 下顎 Kennedy II 級 2 類	1) 適切な手順でサベイングを実施する。(E-3-4)-(2)-(11)) 2) 適切な位置へのアンダーカット付与を実施する。(E-3-4)-(2)-(11)) 3) 根拠に基づいた設計を実施する。(E-3-4)-(2)-(5)) 4) ガイドプレーン記載を実施する。(E-3-4)-(2)-(11))
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第2章 を読み、要点を確認する。	
10月10日		ガイドプレーンの形成, レストシートの形成 (OSCE 課題), 個人トレー製作の前準備	1) 前処置に必要な器具を準備する。(E-3-4)-(2)-(11)) 2) 前処置の順番を説明する。(E-3-4)-(2)-(12)) 3) 前処置を人工歯上で実施する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4) 個人トレー製作の前準備を実施する。(E-3-4)-(2)-(11))
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第3章・第4章 を読み、要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月17日	水橋 史 浅沼 直樹 水橋 亮 渡會 侑子 片山 直人 栗田 武	個人トレー製作 (設計(2)の模型)	1) 個人トレーの外形線描記を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 2) 常温重合レジンの圧接を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 3) 適切な外形でトリミングを実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 4) レジン切削に関する方法に習熟する。(E-3-4)-(2)-⑪)
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第4章 を読み、要点を確認する。	
10月24日		ワイヤークラスプ製作 (設計(2)の模型)	1) ワイヤークラスプの形態を説明する。(E-3-4)-(2)-5) 2) 適切なブライヤー操作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 3) ワイヤークラスプの屈曲を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪)
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第5章 を読み、要点を確認する。	
10月31日		耐火模型製作 (設計(1)(2)の模型)	1) リリーフ, ブロックアウトを実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 2) ワックスステップの付与を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 3) 複印象を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪) 4) 耐火模型の製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪)
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第6章・第7章 を読み、要点を確認する。	
11月7日		キャストクラスプ, RPI クラスプ, リンガルバーの ワックスアップ	1) エーカースクラスプの形態を説明する。(E-3-4)-(2)-5) 2) RPI クラスプの形態を説明する。(E-3-4)-(2)-5) 3) ワックスアップに必要な器材を準備する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) ワックスアップを実施する。(E-3-4)-(2)-⑪)
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第6章・第7章 を読み、要点を確認する。	
11月14日		模型の咬合器装着, 咬合床 の製作	1) 咬合平面板を用いた上顎模型の咬合器装着を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 2) ジグを用いた下顎模型の咬合器装着を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 3) 人工歯排列のろう堤製作を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪)
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第8章 を読み、要点を確認する。	
11月28日		人工歯の排列	1) 人工歯排列の原則を説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 2) 下顎臼歯部人工歯の選択を説明する。(E-3-4)-(2)-9) 3) 適正な人工歯排列を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 削合に必要な器材を準備する。(E-3-4)-(2)-⑪)
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第9章 を読み、要点を確認する。	
12月5日		人工歯の削合, 歯肉形成	1) 中心咬合位の削合を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 2) 偏心位における削合を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 3) 歯肉形成を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 周囲組織と調和した研磨面形態付与を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫)
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第10・11章 を読み、要点を確認する。	
12月12日		完成・提出・筆記試験	1) 咬合関係の確認を実施する。(E-3-4)-(2)-⑫) 2) 歯肉形成の完成を実施する (E-3-4)-(2)-⑫) 3) 咬合器の整備を実施する。(E-3-4)-(2)-⑪)
		準備学習: 30分 部分床義歯補綴学実習書 第1-11章 を読み、要点を確認する。	

歯冠補綴架工義歯学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
上田 一彦	4	後期	月曜日	13:00 ~ 17:00	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

口腔の機能回復と残存組織の保全を図るために、クラウン・ブリッジの支台歯形態を理解し、支台歯形成からプロビジョナルレストレーションおよび印象採得までの基本的知識、技能、態度を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	日本歯科大学	歯冠補綴架工義歯学実習指針		
参考書	石橋寛二, 伊藤裕, 川和忠治, 寺田善博, 福島俊士, 三浦宏之	クラウンブリッジテクニック	第1版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☐ 講義 ☒ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (20%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
☒ 実地試験 (50%) ☐ ポートフォリオ (%) ☒ シュミレーションテスト (10%)
☒ 観察記録 (10%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

実地試験として支台歯形成試験 (50%), 客観試験として多選択肢形式筆記試験 (20%), 毎回の実習で行う小テスト (10%), 毎回の実習の観察記録による評価 (10%), 遅刻や欠席などの態度評価 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 金曜日・時間: 16時30分から18時00分まで・場所: 歯科補綴学第2講座医局
 * ga-hotetsu2(at)ngt.ndu.ac.jp までメールにて事前に予約を取った上で訪問すること。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月22日	猪子 芳美 上田 一彦 小澤 誠 勝田 康弘 笹川 敦夫 笹澤 武史 篠原 隆介 鈴木 翔平 鈴木 梨菜 杉木 隆之 瀬戸 宗嗣	切削練習 全部金属冠の形成 OSCE 課題 (5-3)	1) 適切なハンドピース操作を行う。(F-3-4)-③)
		準備学習: 30分 実習書 p1-23 を予習する。	
9月25日		全部金属冠とオールセラミッククラウンの支台歯形成 OSCE 課題 (5-3)	1) 支台歯形成の意義と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-④) 2) 適切な支台歯形態を説明する。(F-3-4)-1) 3) 適切に支台歯形成を行う。(F-3-4)-③)
		準備学習: 30分 実習書 p24-41 を予習する。	
9月29日		レジン前装冠とオールセラミッククラウンの支台歯形成 OSCE 課題 (5-3)	1) 支台歯形成の意義と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-④) 2) 適切な支台歯形態を説明する。(F-3-4)-1) 3) 適切に支台歯形成を行う。(F-3-4)-③)
		準備学習: 30分 実習書 p42-49 を予習する。	
10月6日		4/5冠の支台歯形成 OSCE 課題 (5-3)	1) 支台歯形成の意義と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-④) 2) 適切な支台歯形態を説明する。(F-3-4)-1) 3) 適切に支台歯形成を行う。(F-3-4)-③)
		準備学習: 30分 実習書 p50-54 を予習する。	
10月20日		レジン前装冠と3/4冠の支台歯形成 OSCE 課題 (5-3)	1) 支台歯形成の意義と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-④) 2) 適切な支台歯形態を説明する。(F-3-4)-1) 3) 適切に支台歯形成を行う。(F-3-4)-③)
		準備学習: 30分 実習書 p55-64 を予習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月27日	猪子 芳美 上田 一彦 小澤 誠 勝田 康弘 笹川 敦夫 笹澤 武史 篠原 隆介 鈴木 翔平 鈴木 梨菜 杉木 隆之 瀬戸 宗嗣	全部金属冠とオールセラミッククラウンの支台歯形成 OSCE 課題 (5-3)	1) 支台歯形成の意義と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-(4) 2) 適切な支台歯形態を説明する。(F-3-4)-1) 3) 適切に支台歯形成を行う。(F-3-4)-(3)
		準備学習: 30分 実習書 p65-72 を予習する。	
10月29日		オールセラミッククラウンの支台歯形成 (ブリッジ) OSCE 課題 (5-3)	1) 支台歯形成の意義と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-(4) 2) 適切な支台歯形態を説明する。(F-3-4)-1) 3) 適切に支台歯形成を行う。(F-3-4)-(3)
		準備学習: 30分 実習書 p73-80 を予習する。	
11月10日		4/5冠とプロキシマルハーフクラウンの支台歯形成 (ブリッジ) OSCE 課題 (5-3)	1) 支台歯形成の意義と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-(4) 2) 適切な支台歯形態を説明する。(F-3-4)-1) 3) 適切に支台歯形成を行う。(F-3-4)-(3)
		準備学習: 30分 実習書 p81-88 を予習する。	
11月17日		接着ブリッジの支台歯形成 OSCE 課題 (5-3, 3-4)	1) 支台歯形成の意義と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-(4) 2) 適切な支台歯形態を説明する。(F-3-4)-1) 3) 適切に支台歯形成を行う。(F-3-4)-(3)
		準備学習: 30分 実習書 p89-93 を予習する。	
11月21日		支台築造 (直接法, 間接法), 支台歯形成 (オールセラミッククラウン), 精密印象 OSCE 課題 (5-3)	1) 支台築造の意義・種類・特徴を説明する。(E-3-4)-(1)-(3) 2) 適切に支台築造窩洞形成を行う。(F-3-4)-(2) 3) 適切に支台築造を行う。(F-3-4)-(3) 4) 適切に印象採得を行う。(F-3-4)-(6)
		準備学習: 30分 実習書 p94-97 を予習する。	
12月1日		暫間被覆冠 (直接法) の製作, 仮着 OSCE 課題 (5-4)	1) 暫間被覆冠の意義と製法を説明する。(E-3-4)-(7) 2) 暫間被覆冠を製作し, 支台歯に適切に仮着する。(F-3-4)-(5)
		準備学習: 30分 実習書 p98-105 を予習する。	
12月8日		支台歯形成試験と筆記試験	1) 補綴装置の種類に応じた適切な支台歯形成を行う。(F-3-4)-(3) 2) 部位に応じた適切な支台歯形成を行う。(F-3-4)-(3)
		準備学習: 30分 実習書 p1-93 を予習する。	

口腔顎顔面外科診断治療学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
田中 彰	4	後期	金曜日	10:40～12:00	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

口腔・顎顔面領域に生じる疾患に対して、必要な臨床情報を収集統合し、適切な治療法を選択するために、診査と治療法の種類と特徴、配慮すべき事項、チーム医療、インフォームドコンセントについての知識を習得する。
--

著者・編者	書名	版	出版社
教科書	榎本昭二・道健一・天笠光雄・小村健 編 最新口腔外科学	第5版	医歯薬出版
	山根源之・草間幹夫・久保田英朗 編 口腔内科学	第3版	永末書店
	今井 裕・岩渕博史 編 有病者歯科学	第3版	永末書店
参考書	栗田賢一・覚道健治 SIMLE TEXT 口腔外科の疾患と治療	第6版	永末書店

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (90%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (90%) と、毎回の講義の出席状況 (10%) により評価を行う。
--

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 毎週木曜日 時間: 18:00～18:30 場所: 口腔外科学講座研究室 (新潟病院 2 階) 事前予約を必要とする。(予約窓口: ga-kogegaku(at)ngt.ndu.ac.jp)
--

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月19日	田中 彰	口腔顎顔面外科 診断・治療学総論・医療安全対策	1) 診察, 診査および診断技法を説明する。(E-1-1)-①～④, ⑥～⑧ 2) 必要な検査を行い, 診断, 治療方針立案にいたる過程を説明する。(E-1-1)-⑥, E-1-3)-①, ② 3) 患者の心理的・社会的背景・QOL の重要性を説明する。(E-1-1)-⑬ 4) 診断と治療のための患者の権利, 自己決定権, インフォームドコンセントについて説明する。(A-4-2)-①, ～④ E-1-1)-⑧ 5) 診断・治療に配慮を要する全身の症候・病態を説明できる。(E-1-3)-⑤ 6) 口腔外科処置時の医療安全対策について説明する。(A-6-3)-①～④, A-6-1)-①～⑦ 7) 院内感染の重要性とその対策法を説明する。A-6-1)-⑥, A-6-3)-②～④ 8) 口腔外科処置時の偶発症を説明する。A-6-1)-⑦ 9) 外科処置の際に重要な患者の全身状態について説明する。E-6-①～③
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 最新口腔外科学 p14-16, p590-594, 口腔内科学第2章と第9章を通読する。	
9月26日	田中 彰	口腔癌の診断と治療 各論(1) 画像診断・病理診断・TNM 分類・治療法の選択	1) 口腔癌の診断に必要な画像検査を説明する。(E-2-4)-(6)-③ 2) 口腔癌の診断に必要な病理検査を説明する。(E-2-4)-(6)-③ 3) TNM 分類について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 4) 口腔癌の治療法の適応と選択について説明する。(E-2-4)-(6)-③
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 最新口腔外科学 p340-366, 776-816 を通読する。	
10月3日	田中 彰	口腔顎顔面外科治療・歯科 治療時に配慮すべき全身疾患と対応(1)	1) 治療時の全身管理に配慮すべき腎泌尿器生殖器疾患と必要な対応。(E-1-4)-(1)-⑤⑥, E-6-② 2) 治療時の全身管理に配慮すべき肝疾患血液疾患と必要な対応。(E-1-4)-(1)-⑤⑥, E-6-② 3) 治療時の全身管理に配慮すべき免疫疾患と必要な対応。(E-1-4)-(1)-⑤⑥, E-6-② 4) 妊婦授乳婦の治療時に配慮すべき全身管理と必要な対応。E-6-③
	準備学習と時間	準備学習: 40 分 有病者歯科医療学 p156-194 を通読する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
10月10日	城井 友幸	口腔顎顔面外科治療・歯科治療時に配慮すべき全身疾患と対応(2)	1) 治療時の全身管理に配慮すべき循環器・脳血管疾患と必要な対応。 (E-1-4)-(1)-⑤⑥, E-6-② 2) 治療時の全身管理に配慮すべき呼吸器・神経運動器疾患と必要な対応。 (E-1-4)-(1)-⑤⑥, E-6-② 3) 治療時の全身管理に配慮すべき代謝性内分泌疾患と必要な対応。 (E-1-4)-(1)-⑤⑥, E-6-②
	準備学習と時間	準備学習: 40 分 有病者歯科医療学 p118-156 を通読する。	
10月17日	田中 彰	口腔癌の診断と治療各論(2) 口腔癌の外科的治療 腫瘍切除・頸部郭清術	1) 舌癌, 肉肉癌, 頬粘膜癌, 口蓋癌, 口底癌の外科的切除について説明する。 (E-2-4)-(6)-③ 2) 口腔癌の外科的切除の適応について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 3) 頸部郭清術の種類と適応について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 4) 外科的切除に伴う合併症について説明する。(E-2-4)-(6)-③
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 最新口腔外科学 p340-366, 776-816 を通読する。	
10月24日	小林英三郎	口腔癌の診断と治療各論(3) 口腔癌の外科的治療 組織再建術・後遺障害・リハビリテーション	1) 口腔癌切除後の軟組織再建について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 2) 口腔癌切除後の顎骨再建について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 3) 有茎皮弁について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 4) 血管柄付き皮弁, 骨皮弁について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 5) 口腔癌治療における後遺障害, リハビリテーションについて説明する。 (E-2-4)-(6)-③
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 最新口腔外科学 p340-366, 776-816 を通読する。	
10月31日	佐久間 要	口腔癌の診断と治療各論(4) 口腔癌の化学療法・放射線療法	1) 口腔癌治療における化学療法の目的と種類, 適応について説明する。 (E-2-4)-(6)-③ 2) 口腔癌治療における化学療法の有害事象について説明する。 (E-2-4)-(6)-③ 3) 動注放射線化学療法について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 4) 口腔癌治療における放射線治療の目的と種類, 適応について説明する。 (E-2-4)-(6)-③ 5) 口腔癌治療における放射線治療の晩発障害・放射線性骨壊死について説明する。(E-2-4)-(6)-③
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 最新口腔外科学 p340-366, 776-816 を通読する。	
11月7日	田中 彰	口腔癌の診断と治療各論(5) 口腔癌の免疫療法・温熱療法・緩和医療・終末期医療	1) 口腔癌治療における免疫療法の目的と種類について説明する。 (E-2-4)-(6)-③ 2) 口腔癌治療における温熱療法について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 3) 口腔癌治療における緩和医療について説明する。(E-2-4)-(6)-③ 4) 口腔癌治療における終末期医療医療について説明する。 (E-2-4)-(6)-③, A-5-1)-⑦
	準備学習と時間	準備時間: 20 分 最新口腔外科学 p340-366, 776-816 を通読する。	
11月14日	小根山隆浩	菌血症と心内膜炎の予防(抗菌薬予防投与), 菌性病巣感染, 抗血栓療法患者への対応	1) 菌性病巣感染の成立機序, 病態, 症状, 検査法および治療法を説明する。 (E-2-4)-(3)-④ 2) 抗血栓療法患者への対応を説明する。(E-1-4)-(1)-⑤, E-6 3) 口腔内常在菌の菌血症と心内膜炎の病態および対応, 抗菌薬の予防投与を説明する。(E-2-4)-(3)-④
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 最新口腔外科学 p209-210, 47, 689-660 口腔内科学 p288-291 を通読する。	
11月28日	里見 貴史	口腔癌 診断治療総論 交換講義	1) 口腔癌の診断, 治療の概要を説明する。(E-2-4)-(6)-③ 2) 口腔癌の手術, 化学療法, 放射線療法の概要を説明する。 (E-2-4)-(6)-③ 3) 口腔癌の再建について概要を説明する。(E-2-4)-(6)-③
	準備学習と時間	準備学習: 10 分 最新口腔外科学 p340-366, 776-816 を通読する。	
12月5日	小林英三郎	薬剤関連顎骨壊死	1) 薬剤に関連した発症する顎骨壊死の成因, 病態, 診断, 治療法について説明する。(C-5-4)-1, E-1-3)-(1)-7) 2) 骨吸収抑制薬, 血管新生阻害薬投与中の患者における歯科治療上の注意点を説明する。(C-5-4)-1, E-1-3)-(1)-7)
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 最新口腔外科学 p201-204, 口腔内科学 p291-294 を通読する。	
12月12日	田中 彰	急性期病院における口腔健康管理・周術期口腔機能管理 地域連携・病診連携	1) 口腔外科治療におけるチーム医療, 地域連携と病診連携の意義とその方法を説明する。(A-5-1) ①~④⑥ 2) 口腔と全身の健康, 疾病との関わりを説明する。(B-1-2) 3) あらゆるステージの患者に対する口腔健康管理・周術期口腔機能管理やセルフケア指導, 栄養指導の重要性を説明する (A-5-1) ①~④ 4) 地域包括ケアシステム, 地域医療計画における歯科医, 病院歯科の役割を説明する。(A-7-1) ②~④
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 有病者歯科医療学 p274-278 を通読する。	

障害者歯科学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
大橋 誠	4	後期	火曜日	10:40～12:00	412 番教室

科目の到達目標（GIO）

障害者の歯科治療を行うために必要な、障害者の身体的、精神的および心理的特徴と障害者を取り巻く社会環境を理解し、障害者の歯科治療を行う上で必要な知識と技能・態度の基本的事項を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	日本障害者歯科学会編	スペシャルニーズ デンティストリー 障害者歯科	第2版	医歯薬出版
参考書	日本有病者歯科医療学会編	有病者歯科学	第3版	永末書店

学習方略（重複可）

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む） ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（60%） ☒ 論述試験（30%） ☐ 口頭試験（ %） ☐ レポート（ %）
☐ 実地試験（ %） ☐ ポートフォリオ（ %） ☐ シュミレーションテスト（ %）
☐ 観察記録（ %） ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（10%）

成績評価方法

一般目標に示した内容について多選択肢式客観試験 60%＋論述試験 30%を行い、さらに遅刻、欠席等による態度 10%を加味して評価する。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火曜日 時間：18:00～20:00 場所：歯科麻酔・全身管理科医局（新潟病院2階）

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
11月4日	大橋 誠	障害者歯科概論	1) 障害者の定義を説明する。(B-1-3) 2) 障害者の分類を説明する。(B-1-13) 3) ノーマライゼーションとバリアフリーを説明する。(B-2-2)-7) 4) 障害のある人の社会的および心理的問題を説明する。(B-2-2)-6)
	準備学習と時間	準備学習：30分 テキストⅠ編総説第1章、第2章 p2-37 を講義テーマについて予習する。	
11月11日	三瓶 伸也	障害者各論(1) 精神発達・心理的発達と行動の障害	1) 知的能力障害の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 2) 自閉スペクトラム症の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 3) 注意欠如多動症の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 4) 限局性学習症の特徴を説明する。(E-4-4)-1)
	準備学習と時間	準備学習：30分 テキストⅡ編スペシャルニーズ各論第1章 p40-57 を講義テーマについて予習する。	
11月18日	三瓶 伸也	障害者各論(2) 神経・運動障害1	1) 運動障害を説明する。(E-4-4)-1) 2) 脳性麻痺の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 3) 重症心身障害児・者の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 4) 筋ジストロフィーの特徴を説明する。(E-4-4)-1)
	準備学習と時間	準備学習：30分 テキストⅡ編スペシャルニーズ各論第2章 p58-71 を講義テーマについて予習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月25日	三瓶 伸也	障害者各論(3) 神経・運動障害 2 感覚障害, 音声言語障害	1) てんかんの特徴を説明する。(E-4-4)-1) 2) 感覚障害の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 3) 音声言語障害の特徴を説明する。(E-4-4)-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 テキストⅡ編スペシャルニーズ各論第2・3・4章 p 93-126 を講義テーマについて予習する。	
12月2日	大橋 誠	障害者各論(4) 内部障害者 脳血管障害後遺症 精神および行動の障害	1) 内部障害者の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 2) 脳血管障害後遺症の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 3) 精神および行動の障害の特徴を説明する。(E-4-4)-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 テキストⅡ編スペシャルニーズ各論第2・6章 p81-89, 147-162 を講義テーマについて予習する。	
12月9日	高橋 靖之	障害者の歯科医療 非薬物的行動調整 薬物的行動調整 総括	1) 障害者とのコミュニケーション法を説明する。(E-4-4)-2) 2) 障害者の非薬物的行動調整法を説明する。(E-4-4)-2) 3) 障害者の歯科治療時の工夫を説明する。(E-4-4)-2) 4) 障害者の口腔ケア処置について説明する。(E-4-4)-4) 5) 障害者に対する笑気吸入鎮静法を説明する。(E-4-4)-2) 6) 障害者に対する静脈内鎮静法を説明する。(E-4-4)-2) 7) 障害者に対する全身麻酔法を説明する。(E-4-4)-2) 8) 障害者に対する薬物的対応の適応症を説明する。(E-4-4)-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 テキストⅢ編スペシャルニーズのある人の歯科治療第1章 p208-244 を講義テーマについて予習する。	

歯性感染症

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
水谷 太尊	4	後期	火曜日	10:40～12:00	412 教室

科目の到達目標（GIO）

歯性感染症の原因と病態を理解した歯科医療を実践するために、EBM に基づいた各領域の歯科医学の知識を統合する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	榎本昭二他 監修	最新口腔外科学	第5版	医歯薬出版
	槻木恵一, 岡田康男 編著	新スタンダード口腔病理学	第2版	学建書院
参考書	日本歯科医学会連合 監修	医療関連感染対策実践マニュアル	第1版	永末書店
	井上 孝, 岡田康男, 長谷川博雅, 前田初彦 編集主幹	病理学総論にもとづく口腔病理学	第3版	永末書店

学習方略（重複可）

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議（PBL, TBL を含む） ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（90%） ☐ 論述試験（ % ） ☐ 口頭試験（ % ） ☐ レポート（ % ）
☐ 実地試験（ % ） ☐ ポートフォリオ（ % ） ☐ シミュレーションテスト（ % ）
☐ 観察記録（ % ） ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（10%）

成績評価方法

一般目標、行動目標で示した項目についての多選択肢形式試験（90%）と授業に対する関心・意欲・態度（10%）により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火曜日 時間帯：17:30～18:00 場所：総合診療科医局（水谷 新潟病院3階）
 事前にメールで連絡すること（ga-soshin3(at)ngt.ndu.ac.jp）

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
9月16日	三上 正人	口腔内常在微生物叢の成立とバイオフィルム、歯性感染症の概要と全身に及ぼす影響	1) 歯性感染症の概要を局所から全身に渡って説明する。(E-2-4)-(3)-①) 2) 歯性感染症の原因菌を説明する。(E-2-4)-(3)-①) 3) 口腔細菌、歯垢および歯石について説明する。(E-3-2)-(4)
	準備学習と時間	準備学習:20分 口腔微生物学（第7版, 学建書院）第6章口腔微生物学と口腔感染症 p278-356 を予習する。	
9月30日	岡田 康男	歯性感染症における生体の病態病理	1) 歯性感染症の生体反応について説明する。(C-4-4)-①～④) 2) 不特定抗原に対する生体防御機構の病態・病理について説明する。(C-4-4)-①～④) 3) 特定抗原に対する生体防御機構の病態・病理について説明する。(C-3-2)-①～⑥) 4) 口腔・顎顔面領域感染症の病態・病理について説明する。(E-2-4)-(3)-①, ④)
	準備学習と時間	準備学習:20分 新スタンダード口腔病理学（第2版, 学建書院）2章口腔・顎顔面領域の炎症性疾患 p9-28, 病理学総論にもとづく口腔病理学（第3版, 永末書店）CHAPTER6 炎症および関連疾患 p69-101 を予習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
10月7日	両角 俊哉	菌性感染症における歯髄・根尖性歯周疾患の特徴・病因，および全身疾患との関連	1) 歯髄・根尖歯周疾患の病因と病態を説明する。(E-3-2)) 2) 歯髄・根尖歯周疾患の診断と症状を説明する。(E-3-3)-(2)) 3) 菌血症や菌性病巣感染の病態と症状を説明する。(E-2-4)-(3))
	準備学習と時間	準備学習：20分 歯内治療学（第5版，医歯薬出版）第5章歯髄疾患 p51-62，第6章根尖性歯周疾患 p85-107，第17章高齢者・有病者の歯内治療 p249-252を予習する。	
10月14日	丸山 昂介	菌性感染症における歯周疾患の特徴と感染経路，菌性病巣感染，敗血症	1) 歯周疾患の感染経路を説明する。(E-3-3)-(3)-1, 2) 2) 菌性感染症と菌性病巣感染の感染経路を説明する。(E-2-4)-(3)-1 3) 歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明する。(E-3-3)-(3)-5)
	準備学習と時間	準備学習：20分 臨床歯周病学（第3版，医歯薬出版）第2章歯周病の原因と症状 p15-22，第4章デンタルプラーク p32-41を予習する。	
10月21日	海老原 隆	菌性感染症としての齲蝕	1) 齲蝕の病因を説明する。(E-3-2)-(①) 2) 齲蝕の病態を説明する。(E-3-2)-(①) 3) 齲蝕の硬組織疾患に対する診察，検査および診断の方法を説明する。(E-3-3)-(1)-(①, ②) 4) 齲蝕の処置法（再石灰化療法を含む）を説明する。(E-3-3)-(1)-(①)
	準備学習と時間	準備学習：20分 保存修復学（第7版，医歯薬出版）第1章保存修復学概説 p14-27，第3章診断と治療計画 p58-64，第4章硬組織疾患の処置 p65-78を予習する。	
10月28日	水谷 太尊	歯科医療における医療関連感染対策	1) 滅菌と消毒の意義，種類及び原理を説明する。(C-4-1) 2) 器具の滅菌，消毒法を説明する。(E-1-5-⑧) 3) 針刺し・切創等に対する医療従事者の健康管理を説明する。(A-6-3))
	準備学習と時間	準備学習：20分 最新口腔外科学（第5版，医歯薬出版）第4章消毒法・滅菌法 p485-490を予習する。	

顎咬合診断・口腔インプラント学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
廣安 一彦	4	後期	火曜日	14:40～16:00	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

一口腔単位の歯科治療を行うために、咬合の診査・診断および咬合治療を理解するとともに、口腔の欠損に対して歯科インプラントを用いた補綴治療法、インプラント材料、インプラントと生体反応、周囲組織のメカニズム、口腔解剖と治療法、インプラント治療評価の基本的な知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	赤川安正, 他	よくわかる口腔インプラント学	第4版	医歯薬出版
参考書	日本口腔インプラント学会 日本口腔インプラント学会	口腔インプラント治療指針 2024 口腔インプラント学学術用語集	第5版	医歯薬出版 医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (60%) ☒ 論述試験 (30%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
- ☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シュミレーションテスト (%)
- ☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多肢選択形式筆記試験 (60%) および論述試験 (30%), 授業に関する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

基本的には毎週火曜日講義後, 17:00-18:00 口腔インプラント科医局とするが, 各担当先生に事前に確認する。
--

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月16日	廣安 一彦	口腔インプラント治療の特徴, 意義	1) デンタルインプラントの種類, 特徴, 目的および意義を説明する。(E-3-4)-(3)-1) 2) デンタルインプラントの基本構造を説明する。(E-3-4)-(3)-2) 3) デンタルインプラントの治療術式を説明する。(E-3-4)-(3)-2) 4) デンタルインプラントの歴史を説明する。(E-3-4)-(3)-1)
	準備学習と時間	準備学習: 20分	よくわかる口腔インプラント学第4版 p1-36 の要点を確認する。
9月30日	廣安 一彦	術前診査, インフォームドコンセント, 周術期コントロール, 手術に関する合併症	1) デンタルインプラントの基本構造を説明する。(E-3-4)-(3)-2) 2) デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明する。(E-3-4)-(3)-3) 3) デンタルインプラントの全身から診た適応症と禁忌症と合併症を説明できる。(E-3-4)-(3)-4)
	準備学習と時間	準備学習: 20分	よくわかる口腔インプラント学第4版 p71-133, 149-173, 266-273 の要点を確認する。
10月7日	瀬戸 宗嗣	インプラントを用いた補綴修復法: 印象採得	1) デンタルインプラントの治療計画, 治療手順を説明する。(E-3-4)-(3)-4) 2) デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明する。(E-3-4)-(3)-6) 3) デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明する。(E-3-4)-(3)-7)
	準備学習と時間	準備学習: 20分	よくわかる口腔インプラント学第4版 p171-189 の要点を確認する。
10月14日	瀬戸 宗嗣	インプラントを用いた補綴修復法: 上部構造	1) デンタルインプラントの種類, 特徴, 目的および意義を説明する。(E-3-4)-(3)-1) 2) デンタルインプラントの臨床術式を説明する。(E-3-4)-(3)-3)
	準備学習と時間	準備学習: 20分	よくわかる口腔インプラント学第4版 p190-234 の要点を確認する。
10月21日	辻村麻衣子	口腔インプラント周囲の骨組織	1) インプラントの周囲組織の特徴を説明する。(E-3-4)-(3)-1) 2) オッセオインテグレーションを説明する。(E-3-4)-(3)-1) 3) インプラント周囲骨の形成機序を説明する。(E-3-4)-(3)-1), (C-5-3)-4) 4) インプラント周囲の骨リモデリングを説明する。(E-3-4)-(3)-1)
	準備学習と時間	準備学習: 20分	よくわかる口腔インプラント学第4版 p31-36 の要点を確認する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月28日	五十嵐健輔	口腔インプラントと生体材料	1) 口腔インプラント用材料を説明する。(B-1-3, B-2-6) 2) インプラント体の表面性状を説明する。(B-1-3, B-2-6) 3) 上部構造やその他の材料を説明する。(B-1-3, B-2-6) 4) 骨補填材を説明する。(B-1-3, B-2-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 よくわかる口腔インプラント学第4版 p54-70, 基礎歯科理工学 p151-159 を参考に講義テーマについて学習する。	
11月4日	八板 直道	口腔インプラント周囲組織	1) デンタルインプラントの周囲組織の特徴を説明する。(E-3-4)-(3)-1) 2) デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明する。(E-3-4)-(3)-③) 3) デンタルインプラントの適応症と禁忌症を説明する。(E-3-4)-(3)-④) 4) インプラント粘膜炎とインプラント周囲炎を説明する。(E-3-4)-(3)-④)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 よくわかる口腔インプラント学第4版 p275-284 の要点を確認する。	
11月11日	廣安 一彦	インプラントのための硬・軟組織マネジメント	1) デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明する。(E-3-4)-(3)-③) 2) デンタルインプラントの治療術式を説明する。(E-3-4)-(3)-②)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 よくわかる口腔インプラント学第4版 p235-262 の要点を確認する。	
11月18日	小倉 晋 (交換講義)	インプラント治療のトラブルと合併症	1) インプラント治療における局所トラブルについて説明する。(E-3-4)-(3)-④) 2) インプラント上部構造に関するトラブルを説明する。(E-3-4)-(3)-④) 3) インプラント周囲の疾患について説明する。(E-3-4)-(3)-④) 4) インプラント周囲炎の治療法を説明する。(E-3-4)-(3)-④)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 よくわかる口腔インプラント学第4版 p285-312 の要点を確認する。	
11月25日	上田 一彦	下顎位と下顎運動顎間関係の記録	1) 下顎位・下顎運動の記録法を説明する。((E-3-4)-(1)-⑤) 2) 前歯部の誘導の意義と咬合誘導について説明する。((E-3-4)-(1)-⑤) 3) アンテリアガイダンスの咬合器調整を説明する。((E-3-4)-(1)-⑤) 4) 顎間関係を記録する下顎位と説明する。((E-3-4)-(1)-⑤) 5) フェイスボウトランスファーの意義と術式を説明する。((E-3-4)-(1)-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 p19-37, 151-161, 180-185 よくわかる口腔インプラント学 第4版 p185-186 を予習する。	
12月2日	瀬戸 宗嗣	デジタルを用いた補綴修復法	1) デンタルインプラントの治療計画, 治療手順を説明する。(E-3-4)-(3)-④) 2) デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明する。(E-3-4)-(3)-⑥) 3) デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明する。(E-3-4)-(3)-⑦)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 よくわかる口腔インプラント学第4版 p266-273 の要点を確認する。	
12月9日	廣安 一彦	インプラント治療の今後の展望およびまとめ	1) デンタルインプラントの種類, 特徴, 目的および意義を説明できる。(E-3-4)-(3)-1 2) デンタルインプラントの治療術式を説明する。(E-3-4)-(3)-②) 3) インプラント周囲の疾患について説明する。(E-3-4)-(3)-④)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 今までの授業内容の確認とよくわかる口腔インプラント学第4版 p323-329 の要点を確認する。	

口腔インプラント学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
廣安 一彦	4	後期	水曜日	9:00～12:00	マルチメディア臨床基礎実習室(1号館2階)

科目の到達目標 (GIO)

欠損部に対する補綴治療の一つとしてインプラント治療を行うために、臨床の流れを理解し、治療に必要な臨床操作、技能、態度を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	日本口腔インプラント学会教育委員会	口腔インプラント学実習書	第2版	永末書店
参考書	赤川安正, 宮本洋二, 細川隆司, 近藤尚知, 横山敦郎	よくわかる口腔インプラント学	第4版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☒ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (55%) ☐ 論文試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☒ レポート (10%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シミュレーションテスト (%)
- ☒ 観察記録 (20%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (15%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験と製作物 (75%), レポート含めた実習に対する関心・意欲・態度 (25%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日・時間 : 事前にメールにて要予約 (17:00～18:00) 場所: 口腔インプラント科医局 (1階 Y ショップ横)
 ※ implant(at)ngt.ndu.ac.jp にメールしアポイントを取る。件名に学年名前を入力すること。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月17日	佐藤 聡 廣安 一彦 上田 一彦	オリエンテーション 医療面接, 概形印象採得, 咬合採得, 研究用模型の製作, 咬合器への模型装着	1) 実際の患者さんを想定して 医療面接を行う。(A-4-2) 2) デンタルインプラントに必要な診察と検査を行う。(E-3-4)-(3)-(3)) 3) デンタルインプラントの適応症と合併症を説明する。(E-3-4)-(3)-(4)) 4) 概形印象採得を行い研究用模型を製作する。(E-3-4)-(1)-(9))
		準備学習: 20分 実習書 p1-8, 教科書 p71-105 を参考に実習内容について学習する。	
9月24日	小林英三郎 瀬戸 宗嗣 丸山 昂介 五十嵐健輔 杉木 隆之 木暮 ミカ 梅田 和徳 金田 恒 伊藤 秀俊 木村 勝年	エックス線検査の分析, サージカルガイドプレート の作製, 治療計画の立案と 患者への治療計画説明	1) デンタルインプラントに必要な診察と検査を行う。(E-3-4)-(3)-(3)) 2) シミュレーションソフトを用いてインプラント埋入位置を決定する。 (E-3-4)-(3)-(4)) 3) サージカルガイドプレートを作製する。 4) 患者に診断結果と治療方針を説明する。(E-3-4)-(3)-(4))
		準備学習: 20分 実習書 p9-10, 16-25 教科書 p106-133 を参考に実習内容について学習する。	
10月1日	上野 大輔 鈴木 梨菜	インプラント埋入手術 (1回法)	1) インプラント埋入手術に必要な器具, 器材を準備する。 2) インプラント埋入手術を適切に行う。(E-3-4)-(3)-(5)) 3) インプラント埋入手術の偶発症を説明する。(E-3-4)-(3)-(4))
		準備学習: 20分 実習書 p26-32 教科書 p140-161 を参考に実習内容について学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月8日	佐藤 聡 廣安 一彦	精密印象採得，作業模型の製作，咬合器への模型装着	1) インプラントの印象採得に必要な器具，器材を準備する。 2) インプラントの構造を理解し，印象採得を適切に行う。 (E-3-4)-(3)-⑥) 3) 印象材を適切に使用する。
		準備学習：20分 実習書 p35-43 教科書 p171-189 を参考に実習内容について学習する。	
10月15日	上田 一彦 小林英三郎 瀬戸 宗嗣 丸山 昂介 五十嵐健輔 杉木 隆之 木暮 ミカ 梅田 和徳 金田 恒 伊藤 秀俊 木村 勝年 上野 大輔 鈴木 梨菜	暫間補綴装置の製作と装着	1) インプラントの暫間上部構造に必要な器具，器材を準備する。 2) デンタルインプラントの構造を理解し，テンポラリークラウンを作製，装着する。(E-3-4)-(3)-⑦) 3) 材料を適切に使用する。
		準備学習：20分 実習書 p44-58 教科書 p190-213 を参考に実習内容について学習する。	
10月22日	上野 大輔 鈴木 梨菜	インプラント治療における予後とメンテナンス，インプラント体の抜去，インプラント埋入手術の偶発症，筆記試験	1) インプラント埋入手術の偶発症を説明する。(E-3-4)-(3)-④) 2) デンタルインプラントの定期健診を行う。(E-3-4)-(3)-⑧) 3) インプラント治療の失敗を想定してインプラント体を適切に除去する。
		準備学習：20分 実習書 p59-68 教科書 p274-311 を参考に実習内容について学習する。	

歯科医のための内科学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
大越 章吾	4	後期	火曜日	13:00～14:20	412 番教室

科目の到達目標（GIO）

患者の全身状態，健康状態を把握することは歯科治療を行うにあたり極めて重要である。特に歯学を修めるために必要と考えられる内科的疾患を総論から各論まで系統的に習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	西田次郎，小島孝雄，大久保 直	歯科のための内科学	改訂 4 版	南江堂
参考書	西田次郎，小島孝雄，大久保 直	歯科のための内科学	改訂 4 版	南江堂

学習方略（重複可）

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議（PBL，TBL を含む） ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価と基準（比重や割合）

- ☐ 客観試験（ %） ☒ 論述試験（70%） ☐ 口頭試験（ %） ☐ レポート（ %）
☐ 実地試験（ %） ☐ ポートフォリオ（ %） ☐ シュミレーションテスト（ %）
☐ 観察記録（ %） ☒ 態度（授業態度，遅刻，欠席を含む）（30%）

成績評価方法

各授業で示した目標についての他選択肢形式筆記試験（70%）と講義の際の習得しようとする意欲・授業態度・学ぼうとする姿勢（30%）により評価を行う。

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：火曜日 時間帯：16:00～17:00 場所：7 号館 3 階内科学教授室

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
9 月 16 日	大越 章吾	消化器疾患(1)	1) 消化器疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 消化器疾患の症候を説明する。(E-4-6-②) 3) 肝臓の構造と機能を説明する。(C-2-3-⑥)
	準備学習と時間	準備学習：20 分 テキスト第 5 章の要点を確認する。	
9 月 30 日	大越 章吾	消化器疾患(2)	1) 消化器疾患の症候を説明する。(E-4-6-②) 2) 消化器疾患の診察を説明する。(E-4-6-③) 3) 膵臓の特徴を説明する。(C-2-3-⑥)
	準備学習と時間	準備学習：20 分 テキスト第 5 章の要点を確認する。	
10 月 7 日	大越 章吾	代謝性疾患	1) 糖尿病や痛風を説明する。(E-4-6-①) 2) メタボリックシンドロームを説明する。(E-4-6-①) 3) 代謝性疾患の症候を説明する。(E-4-6-②)
	準備学習と時間	準備学習：20 分 テキスト第 8 章の要点を確認する。	
10 月 14 日	大越 章吾	内分泌疾患	1) 内分泌器官の機能を説明する。(C-2-3-①) 2) 内分泌疾患を説明する。(E-4-6-①) 3) 内分泌疾患の症候を説明する。(E-4-6-②)
	準備学習と時間	準備学習：20 分 テキスト第 7 章の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月21日	大越 章吾	血液疾患(1)	1) 血液疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 血液疾患の診察を説明する。(E-4-6-③) 3) 出血の原因, 機序を説明する。(C-4-3-②)
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 テキスト第 10 章の要点を確認する。	
10月28日	大越 章吾	血液疾患(2)	1) 血液疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 血液疾患の症候を説明する。(E-4-6-②) 3) 腫瘍の定義を説明する。(C-4-5-①)
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 テキスト第 10 章の要点を確認する。	
11月4日	大越 章吾	感染症	1) 感染症疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 病原体の基本を説明する。(C-3-1-②) 3) 新興, 再興感染症について説明する。(C-3-1-⑤)
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 テキスト第 13 章の要点を確認する。	
11月11日	大越 章吾	神経疾患(1)	1) 脳神経の支配領域を説明する。(C-2-3-①) 2) 末梢神経の機能分類を説明する。(C-2-3-②) 3) 自律神経の機能を説明する。(C-2-3-③)
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 テキスト第 9 章の要点を確認する。	
11月18日	大越 章吾	神経疾患(2)	1) 神経疾患を説明する。(E-4-6-①) 2) 神経疾患の症候を説明する。(E-4-6-②) 3) 神経疾患の診察を説明する。(E-4-6-③)
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 テキスト第 9 章の要点を確認する。	
11月25日	大越 章吾	歯科治療と内科疾患(1)	1) 医薬品の分類を説明する。(C-5-1-①) 2) バイタルサインの状態を把握する。(E-1-5-②) 3) 薬物の副作用を理解する。(C-5-4-①)
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 テキスト第 13 章の歯科関連事項を読む。	
12月2日	大越 章吾	歯科治療と内科疾患(2)	1) 歯科と関係した疾患を説明する (E-4-6-①) 2) 上記の症候を説明する (E-4-6-②) 3) 上記の診察を説明する (E-4-6-③)
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 テキスト第 13 章の歯科関連事項を読む。	
12月9日	大越 章吾	高齢者と内科疾患(1)	1) 老化の特徴を説明する。(E-4-3-①) 2) 高齢者の疾患を説明する。(E-4-3-③) 3) 高齢者の全身管理を説明する。(E-4-3-⑥)
	準備学習と時間	準備学習: 20 分 テキスト第 16 章の要点を確認する。	

外科学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
大竹 雅広	4	後期	火曜日	9:00～10:20	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

外科的診療を行う上で必要とされる基本的知識、及びそれを実践した場合の生体反応等の理解を通して、歯科医師として外科的処置を行う際の基本的な考え方を身につける。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書			
参考書	野本周嗣・久米 真	3	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (100%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シュミレーションテスト (%)
☐ 観察記録 (%) ☐ 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (%)

成績評価方法

行動目標等で示した項目について、多選択肢形式により評価を行う。
講義時間以外にも、自主的に学習することが望まれるので、成績評価の出題範囲は、講義内容及び教科書内容全てを含む。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日・時間：原則として、水・木・金曜日の8:00～18:00 場所：外科医局 (7号館3階)
(ただし、患者対応等で不在のこともあるのでメール等 (surgery(at)ngt.ndu.ac.jp) で、事前予約をすること。)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月16日	大竹 雅広	外科学の概念、 外科的診断法、 外科的基本手技	1) 外科医療に関わる医の倫理綱領を認識する。(A-1) 2) インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。(A-1, A-4) 3) 外科における診断法及び基本手技を修得する。(E-1-1, 5) 4) 外科的手技において必要な器具・器械を判断・使用できる。(E-1-5)
	準備学習と時間	準備学習: 30分, 復習: 30分	教科書: 第1編外科学総論の第1-3章を読む。
9月30日	大竹 雅広	滅菌・消毒法、 標準予防策	1) 滅菌と消毒の違いを述べる。(C-4-1) 2) 各種滅菌法の特徴を理解して、適切な方法を選択する。(C-4-1, E-6) 3) 標準予防策を理解し、説明できる。(C-4-1, E-6) 4) 院内感染対策の原則を理解する。(C-4-1, E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 30分, 復習: 30分	教科書: 第1編外科学総論の第4-5章を読む。
10月7日	大竹 雅広	術前、術中、 術後管理・術後合併症、 外科とリスクマネジメント	1) 術前術後管理と代表的な術後合併症を理解する。(E-1-5, E-6) 2) 外科的疾患における栄養管理の重要性とその概略を説明する。(E-1, E-6) 3) 医療安全対策の必要性とその基本概念を理解する。(A-6) 4) 医療事故と医療過誤の相違、ヒヤリハットの具体例を説明できる。(A-6)
	準備学習と時間	準備学習: 30分, 復習: 30分	教科書: 第1編外科学総論の第6章を読む。
10月14日	大竹 雅広	血液凝固・出血・止血、 水・電解質・輸液	1) 出血および止血における病態を理解する。(C-5-4) 2) 輸血の基本を説明できる。(C-6-3) 3) 外科的疾患における体液異常を説明できる。(C-5-2, E-6) 4) 外科的疾患における輸液管理の原則を理解する。(C-5-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30分, 復習: 30分	教科書: 第1編外科学総論の総論第7-8章を読む。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月21日	大竹 雅広	ショック・救急蘇生法, 損傷・炎症・創傷治癒	1) ショックの病態と治療の原則を述べる。(C-5-4) 2) 外科的救急処置を説明できる。(E-1-6) 3) 侵襲と生体反応の基本概念を理解する。(C-5) 4) 各種損傷の病態と創傷治癒の経過を説明する。(C-5-3)
	準備学習と時間	準備学習: 30 分, 復習: 30 分	教科書: 第 1 編外科学総論の第 9-10 章を読む。
10月28日	大竹 雅広	感染症・抗微生物化学療法	1) 外科的感染症の種類と病態を理解する。(C-4-1, E-6) 2) 外科的感染症の治療の原則を説明する。(C-4-1) 3) 抗微生物化学療法の作用機序及び薬剤耐性機序を理解する。(C-4-1)
	準備学習と時間	準備学習: 30 分, 復習: 30 分	教科書: 第 1 編外科学総論の第 11 章を読む。
11月4日	山本 正二 (Ai 情報センター)	医療における Ai (エーアイ) の役割	1) Ai の社会的意義及び解剖との違いを理解する。(B-2-3) 2) Ai 実施に必要な手続きと手順を説明する。(E-1-2) 3) Ai で得られた所見を臨床にフィードバックする。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 30 分	教科書: 該当なし。「死亡時画像診断」について概略を調べておく。事前配付資料(予定)を読む。
11月11日	大竹 雅広	腫瘍の発生・診断・治療, 外科免疫, 臓器移植	1) 正常組織と腫瘍の違いを述べる。(C-5-6) 2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明する。(C-5-6) 3) 悪性腫瘍の治療の原則を述べる。(C-5-6) 4) 緩和ケアの必要性と意義を説明する。(A-5, C-5-7)
	準備学習と時間	準備学習: 30 分, 復習: 30 分	教科書: 第 1 編外科学総論の第 12-13 章を読む。
11月18日	大竹 雅広	脳・脊髄, 顔面・頸部, 乳腺, 小児外科	1) 主な外科関連の脳・脊髄疾患について理解する。(E-6) 2) 主な外科関連の顔面・頸部の疾患について理解する。(E-6) 3) 乳腺疾患について理解する。(E-6) 4) 小児外科の特徴を理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 60 分, 復習: 60 分	教科書: 第 2 編外科学各論の第 1-3 章, 14 章を読む。
11月25日	大竹 雅広	気管・気管支・肺, 縦隔・胸膜・胸壁・横隔膜, 心臓・大血管・血管	1) 肺・縦郭・心臓の外科に必要な解剖, 生理を理解する。(C-3) 2) 敗・縦郭・心臓で, 外科関連の主な疾患を述べる。(E-6) 3) 主な外科関連の血管病変を理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 60 分, 復習: 60 分	教科書: 第 2 編外科学各論の 4-6 章を読む。
12月2日	大竹 雅広	食道・胃・十二指腸 小腸・大腸, 直腸, 肛門	1) 消化管全般(食道～肛門まで)の局所解剖, 生理を理解する。(C-3) 2) 消化管全般の外科的適応となる疾患を述べる。(E-6) 3) 消化管全般に対する。外科的手技・周術期管理を述べる。(E-6) 4) 消化管手術全般の術後合併症を理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 60 分, 復習: 60 分	教科書: 第 2 編外科学各論の第 7-8 章, 第 11-12 章を読む。
12月9日	大竹 雅広	肝臓・胆嚢・膵臓 腹壁・腹膜, 急性腹症・イレウス・腸閉塞	1) 肝・胆道・膵の解剖, 病態を理解する。(C-3) 2) 肝・胆道・膵疾患の治療法の要点を具体的に述べる。(E-6) 3) 腹壁ヘルニアの概念と好発部位・治療法を具体的に説明する。(C-3, E-6) 4) イレウス及び腸閉塞症, 急性腹症の概念と病態具体的に述べる。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 60 分, 復習: 60 分	教科書: 第 2 編外科学各論の第 9-10 章, 第 13-14 章を読む。

耳鼻咽喉科学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 雄一郎	4	後期	木曜日	13:00～14:20	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯科との境界領域疾患について知識を深めるために、耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の代表的疾患について学び、歯科領域疾患との関連性を理解し説明する能力を身につける。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	五十嵐文雄ら	歯科医のための耳鼻咽喉科頭頸部外科学	第1版	医歯薬出版株式会社
参考書				

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL, TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (90%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シュミレーションテスト (%)
☐ 観察記録 (%) ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (90%) と、講義で行う小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日・時間: 毎週水曜日 17:00～17:30 場所: 耳鼻咽喉科学教授室 (7号館3階) メールによる質問も可

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9月18日	佐藤雄一郎	医療者として求められる資質	1) プロフェッショナリズムを考える。(A-1) 2) 患者の権利, 自己決定権を理解する。(A-1-2) 3) 患者, 家族とのコミュニケーションスキルを理解する。(A-4-1) 4) 多職種連携について理解する。(A-5-1) 5) リサーチマインドの涵養について理解する。(A-8-1)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。	
10月2日	佐藤雄一郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の概論	1) 頭頸部領域の基本構造と機能を理解する。(E-2-1) 2) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科の診断手法を理解する。 3) 頭頸部領域疾患の局在と歯科診療との関連を理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 参考図書序文と目次を読む。事前配布のレジメンを確認する。	
10月9日	佐藤雄一郎	耳の解剖・生理・検査 外耳, 中耳疾患	1) 外耳, 中耳, 内耳の解剖と生理を理解する。(E-6) 2) 外耳・中耳の疾患を述べる。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。必要に応じて参考図書の該当する部分を読む。参考図書 p117 国家試験過去問解答例を読む。	
10月16日	伏木 宏彰	内耳, 後迷路疾患	1) めまい症状を呈する疾患の病態を理解する。(E-6) 2) 難聴, 末梢性顔面麻痺を呈する疾患の病態を理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。必要に応じて参考図書の該当する部分を読む。参考図書 p117 国家試験過去問解答例を読む。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月23日	佐藤雄一郎	鼻副鼻腔の解剖, 生理, 疾患	1) 鼻副鼻腔の解剖と整理を理解する。(E-6) 2) 鼻副鼻腔の疾患を述べる。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。必要に応じて参考図書の該当する部分を読む。参考図書 p118-121 国家試験過去問解答例を読む。	
10月30日	佐藤雄一郎	口腔咽頭の解剖, 生理, 疾患	1) 口腔, 咽頭の解剖と生理を理解する。(E-6) 2) 嚥下機能について説明する。(E-6) 3) 口腔咽頭疾患の病態を理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。必要に応じて参考図書の該当する部分を読む。参考図書 p121-122 p125 (第111回) 国家試験過去問解答例を読む。	
11月6日	佐藤雄一郎	医療の質と安全管理	1) 医療安全の重要性を説明する。(A-6-1) 2) ヒューマンエラーとシステムエラーを説明する。(A-6-1) 3) インシデントレポートについて理解する。(A-6-2) 4) 医療事故調査制度について理解する。(A-6-2) 5) 医療安全と質向上のための改善手法を理解する。(A-6-3)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。	
11月13日	佐藤雄一郎	大唾液腺疾患	1) 流行性耳下腺炎について説明する。(E-6) 2) シェーグレン症候群について説明する。(E-6) 3) 唾液腺良性・悪性腫瘍について説明する。(E-6) 4) 大唾液腺疾患の診断に頸部超音波検査が有用であることを理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。必要に応じて参考図書の該当する部分を読む。参考図書 p125 p126 (第110回, 114回) 国家試験過去問解答例を読む。	
11月20日	佐藤雄一郎	喉頭の解剖, 生理, 疾患	1) 喉頭の解剖, 機能を理解する。(E-6) 2) 嚥声をきたす疾患を述べる (E-6) 3) 喉頭癌の機能温存治療, 機能再獲得について理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。必要に応じて参考図書の該当する部分を読む。参考図書 p123 国家試験過去問解答例を読む。	
11月27日	佐藤雄一郎	気管・食道疾患	1) 気管・食道の解剖, 機能を理解する。(E-6) 2) 気管・気管支異物, 食道異物の病態を理解する。(E-6) 3) 気管切開の必要性について理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。必要に応じて参考図書の該当する部分を読む。参考図書 p124 国家試験過去問解答例を読む。	
12月4日	佐藤雄一郎	頸部疾患, 音声言語	1) 頸部腫瘍を呈する疾患について述べる。(E-6) 2) 甲状腺疾患について理解する。(E-6) 3) 言語障害, 構音障害, 失語症を理解する。(E-6)
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布のレジメンを確認する。必要に応じて参考図書の該当する部分を読む。参考図書 p124 p125 (第113回) 国家試験過去問解答例を読む。	
12月11日	佐藤雄一郎	全体のまとめ	
	準備学習と時間	準備学習: 20分 事前配布する講義1回-11回の重要点をまとめたレジメンを確認する。参考図書の国家試験問題回答例を再確認する。毎回, 講義の最後に行ったソクラテス問題を再確認する。	

総合歯科医学演習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 聡	4	後期	木曜日	10:40～12:00	412 番教室

科目の到達目標（GIO）

基礎系科目と臨床系科目の関連性を意識し、1年次～4年次の各科目のコアカリキュラムに則った内容を総合的に理解する。
--

著者・編者	書名	版	出版社
教科書			
参考書			

学習方略（重複可）

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議（PBL、TBLを含む） ☐ 実習
☒ その他（課題）

成績評価と基準（比重や割合）

- ☒ 客観試験（100%） ☐ 論述試験（ % ） ☐ 口頭試験（ % ） ☐ レポート（ % ）
☐ 実地試験（ % ） ☐ ポートフォリオ（ % ） ☐ シミュレーションテスト（ % ）
☐ 観察記録（ % ） ☐ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）（ % ）

成績評価方法

第4学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、総合試験Ⅰ・Ⅱで平均65点およびⅡ単独で68点以上で単位を認定する。 （当該科目は、後期日程にも記載してある。）

オフィスアワー（曜日・時間・場所等具体的に記載してください）

曜日：月～金曜日 時間：17:00～18:00 場所：各科目講座研究室

授業日	担当者	授業内容	行動目標（SBOs）
9月18日	鳥海 拓	解剖学①	1) 口腔・咽頭・喉頭の構造を説明する。 (C-3-4)-(7), (E-2-1)-①①①, (E-2-2)-①②③) 2) 頭頸部の骨・筋・脈管を説明する。(E-2-1)-②③④⑥)
	準備学習と時間	準備学習：30分 事前に配布するレジメをダウンロードし、該当範囲を教科書（口腔解剖学第2版、講義時も持参すること）で確認をする。	
10月2日	鳥海 拓	解剖学②	1) 臨床の疾患と絡めて脳と頭頸部の神経を説明する。 (C-3-4)-(5)-(4), (E-2-1)-(5)) 2) 鰓弓と顔面の発生を説明する。(C-3-4)-(2)-(4), (E-2-3)-①②③) 3) 歯の形態と異常を説明する。(E-3-1)-②③)
	準備学習と時間	準備学習：30分 事前に配布するレジメをダウンロードし、該当範囲を各教科書で確認をする。 ※口腔解剖学第2版を講義時に持参すること。	
10月9日	鴨田 剛司	衛生学①	1) 母子保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) 2) 学校保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) 3) 産業保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) 4) 成人・高齢者に対する保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①)
	準備学習と時間	準備学習：30分 「歯学生のための健康科学」を参考に該当項目を学習する。	
10月16日	鴨田 剛司	衛生学②	1) 社会保障制度のしくみを述べる。(B-2-2)-①) 2) 保健制度の概要を説明する。(B-2-2)-①) 3) 医療制度の概要を説明する。(B-2-2)-①) 4) 福祉制度の概要を説明する。(B-2-2)-④)
	準備学習と時間	準備学習：30分 「歯学生のための健康科学」を参考に該当項目を学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月23日	森田 貴雄	生化学 (生体基本物質と硬組織成分の種類と代謝)	1) 基本生体物質 (タンパク質・糖・脂質・核酸) の構造, 機能および代謝を理解する。C-2-1), 2), 3), C-2-2) ①③, 2) 硬組織の成分と代謝および骨リモデリングの調節機構を説明する。 C-2-4) ③, C-3-4)-(2)④⑤, E-3-1) ④, C-3-4)-(9)①
	準備学習と時間	準備学習: 30分 事前に配布する講義資料をダウンロードし, 該当する項目の要点を確認しておく。	
10月30日	佐藤 義英	興奮性膜と興奮伝導	1) 神経の活動電位の発生機序を説明する。(C-3-4)-(5)-(⑧) 2) 神経の活動電位の伝導機序を説明する。(C-3-4)-(5)-(⑧) 3) ニューロンの機能を説明する。(C-3-4)-(5)-(⑦)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書 p16-34 を読み, 要点を確認する。	
11月6日	岡田 康男	病理学	1) 歯原性腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-(①~③) 2) 唾液腺腫瘍の分類, 病態・病理, 診断について説明する。 (E-2-4)-(8)-(④)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 教科書の新スタンダード口腔病理学の4章A「歯原性腫瘍」と5章B「唾液腺の腫瘍」で講義テーマについて学習する。	
11月13日	三上 正人	微生物学	1) 病原微生物の構造を説明する。(C-4-1)-(①) 2) 病原微生物の病原因子を説明する。(C-4-1)-(②) 3) 感染症の病態を説明する。(C-4-1)-(③) 4) 免疫担当細胞の種類と機能を説明する。(C-4C2)-(③)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 2年次, 3年次の学習範囲を教科書と講義プリントで確認する。	
11月20日	二宮 一智	薬理学	1) 薬物と医薬品 医薬品の基本的事項 (分類, 開発と評価) を理解する。 (A-6-1) 2) 薬理作用の基本 薬物 (和漢薬を含む) の作用に関する基本的事項を理解する。(A-6-2) 3) 薬物の投与方法と体内動態 投与された薬物の生体内運命を理解する。 (A-6-3) 4) 薬物の副作用と有害事象を考慮した薬物治療の基本原則 薬物 (和漢薬を含む) の副作用・有害事象の種類及び連用と併用の影響を考慮した薬物治療の基本的事項を理解する。(A-6-4)
	準備学習と時間	準備学習: 45分 現代歯科薬理学-第7版-を復習する。	
11月27日	辻村麻衣子	組織学 (歯と歯周組織の構造)	1) エナメル質の組織構造を説明する。(E-3-1)-(④) 2) 象牙質の組織構造を説明する。(E-3-1)-(④) 3) 歯髄の組織構造を説明する。(E-3-1)-(⑤) 4) 歯周組織の組織構造を説明する。(E-3-1)-(⑥)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 口腔組織学の教科書「口腔の発生と組織」で, 歯と歯周組織の要点を確認する。	
12月4日	大熊 一夫	理工 コンポジットレジン修復における接着技術	1) 成形修復材の歯質接着の3工程について説明する。(D-2-③) 2) 象牙質接着システムの変遷について説明する。(D-2-③) 3) 機能性モノマーについて説明する。(D-2-③)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 基礎歯科理工学の歯科生体材料 p79-88, 接合技術 p214-221 を参考に講義テーマについて学習する。	
12月11日	石井 瑞樹	医療倫理 医療情報・医療管理学	1) 前期の医療倫理で学習した出題頻度の高い重要箇所を再確認しながら重要事項を説明する。 2) 前期の医療情報・医療管理学で復習した「医事衛生法規」および歯科医療管理に関する基本的知識を再確認しながら重要事項を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 医療倫理の講義資料, スタンダード社会歯科学第8版の「医療倫理」の範囲および, p51-90を確認する。	

総合歯科医学演習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 聡	4	後期	木曜日	16:20～17:40	412 番教室

科目の到達目標 (GIO)

基礎系科目と臨床系科目の関連性を意識し、1 年次～4 年次の各科目のコアカリキュラムに則った内容を総合的に理解する。
--

著者・編者	書名	版	出版社
教科書	各分野で指定された教科書		
参考書			

学習方略 (重複可)

- ☒ 講義 ☐ 示説 ☐ グループ討議 (PBL、TBL を含む) ☐ 実習
☐ その他 (課題)

成績評価と基準 (比重や割合)

- ☒ 客観試験 (100%) ☐ 論述試験 (%) ☐ 口頭試験 (%) ☐ レポート (%)
☐ 実地試験 (%) ☐ ポートフォリオ (%) ☐ シュミレーションテスト (%)
☐ 観察記録 (%) ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

第 4 学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、総合試験Ⅰ・Ⅱで平均 65 点およびⅡ単独で 68 点以上で単位を認定する。 (当該科目は、前期日程にも記載してある。)

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日 時間：17:00～18:00 場所：各科目講座研究室

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
9 月 18 日	鈴木 雅也	保存修復学	1) 歯の硬組織疾患の病因と病態を説明する。(E-3-2)-(①) 2) 歯の硬組織疾患の処置法を説明する。(E-3-3-(1)-(①)) 3) 修復方法の種類(直接法, 間接法)と特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-(①))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 保存修復学・第 7 版 (医歯薬出版) p6-27, p71-78, p141-170 の要点を復習する。	
10 月 2 日	両角 祐子	歯周疾患治療学	1) 歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-(③, ④) 2) 歯周病の症状を説明する。(E-3-3)-(3)-(①) 3) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-(②) 4) 歯周治療を説明する。(E-3-3)-(3)-(②～⑤))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 臨床歯周病学, ザ・ペリオドントロジーの要点を確認する。	
10 月 9 日	両角 俊哉	歯内療法学	1) 歯髄の構造と機能を説明する。(E-3-1)-(⑤) 2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の病因・病態を説明する。(E-3-2)-(②) 3) 歯髄・根尖性歯周疾患の病状を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 4) 歯髄・根尖性歯周疾患の検査法を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 5) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断を説明する。(E-3-3)-(2)-(①) 6) 歯内治療を説明する。(E-3-3)-(2)-(①～⑦))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 歯内療法学第 5 版 (医歯薬出版) の要点を確認する。	
10 月 16 日	小椋 一郎	歯科放射線学	1) 放射線治療を説明する。(E-2-4)-(6)) 2) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4)) 3) 画像所見を説明し、鑑別診断する。(E-2-4))
	準備学習と時間	準備学習: 30 分 歯科放射線学 (第 6 版, 医歯薬出版) 第 1～6 章の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月23日	渡會 侑子	全部床義歯補綴学 部分床義歯補綴学	1) 有床義歯の構造的特徴, 種類, 役割を説明する。(E-3-4)-(2)-(3)) 2) 義歯の設計原則を説明する。(E-3-4)-(2)-(5)) 3) 有床義歯治療の手順を説明する。(E-3-4)-(2)-(12)) 4) 有床義歯の術後管理について説明する。(E-3-4)-(2)-(14))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯学生のパーシャルデンチャー 第10章・第17章および無歯顎補綴治療学 第9章・第10章を読み, 要点を確認する。	
10月30日	黒木 淳子	小児歯科学	3年生後期ならびに4年生前期の小児歯科学シラバスに記載された各講義内容と他科目(基礎科目)との関連性を意識しながら, コアカリキュラムに沿って総合的に理解する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 3年生後期・4年生前期小児歯科学のシラバスに記載された教科書内容の復習をする。	
11月6日	戸谷 収二	口腔顎顔面外科学	口腔・顎顔面領域に生じる疾患について, 基礎系科目や他の臨床系科目との関連性を意識しながら各疾患の特徴, 症状, 検査, 診断, 治療法を説明する。
	準備学習と時間	準備学習: 30分 1～4年次の基礎系科目および口腔外科の教科書の要点を確認する。	
11月13日	太田 信	歯科矯正学	1) 矯正治療の流れを述べる。(E-4-1)-(3)) 2) 各種不正咬合の特徴を説明する。(E-4-1)-(3)) 3) 治療目標・治療方針・治療計画を立案する。(E-4-1)-(3)) 4) 矯正装置の特徴と適応症を説明する。(E-4-1)-(3))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 歯科矯正学第6版(医歯薬出版)と3年次配布資料で要点を復習する。	
11月20日	瀬戸 宗嗣	歯冠補綴架工義歯学 口腔インプラント学	1) 補綴前処置の意義, 目的および種類を説明する。(E-3-4)-(1)-① 2) 支台築造の意義, 目的および種類を説明する。(E-3-4)-(1)-③ 3) クラウン・ブリッジの意義, 目的および種類を説明する (E-3-4)-(1)-①, ② 4) デンタルインプラントの種類, 特徴, 目的を説明する。(E-3-4)-(3)-1 5) デンタルインプラントの基本構造を説明する。(E-3-4)-(3)-②
	準備学習と時間	準備学習: 30分 第6版 クラウンブリッジ補綴学 第6版, よくわかる口腔インプラント学 第4版の要点を確認する。	
11月27日	白野 美和	高齢者の特徴と歯科治療上の留意点について説明する。	1) 高齢者の生理的, 心理的及び行動的特徴を説明できる。(E-5-1)-(1)) 2) 高齢者に多く見られる疾患について説明する。(E-5-1)-(2)) 3) 要介護高齢者(在宅要介護者を含む)の歯科治療時の注意点を説明できる。 (E-5-1)-(6)) 4) 高齢者における口腔健康管理について説明する。 (E-5-1)-(3), E-5-1)-(4)) 5) 摂食嚥下障害の評価と対応について説明する。 (E-5-1)-(8), E-5-1)-(9), E-5-1)-(10))
	準備学習と時間	準備学習: 30分 4年前期高齢者歯科学の授業内容を復習しておくこと。	
12月4日	大橋 誠	歯科麻酔	1) 局所麻酔薬を分類し, その作用機序を説明する。(E-1-4)-(3)-② 2) 血管収縮薬の使用目的と種類, 特徴および臨床使用上の注意を説明する。 (E-1-4)-(3)-④ 3) 局所麻酔時の合併症(偶発症)を説明する。(E-1-4)-(3)-⑤ 4) 全身疾患と局所麻酔との関連について説明する。(E-6)-(1)) 5) 一次救命処置の理論と方法を説明する。(E-1-6)-② 6) 神経疾患の原因, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-① 7) 全身麻酔法の種類と特徴を説明する。(E-1-4)-(4)-① 8) 全身状態に影響を及ぼす基礎疾患を説明する。(E-1-4)-①
	準備学習と時間	準備学習: 30分 4年前・後期の「歯科麻酔と救急処置」のノートで要点を確認すること	
12月11日	大橋 誠	障害者歯科学	1) 障害のある人の社会的および心理的問題を説明する。(B-2-2)-6) 2) 自閉スペクトラム症の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 3) 重症心身障害児・者の特徴を説明する。(E-4-4)-1) 4) 障害者に対する薬物的対応の適応症を説明する。(E-4-4)-2) 5) 障害者の非薬物的行動調整法を説明する。(E-4-4)-2)
	準備学習と時間	準備学習: 30分 日本障害者歯科学会編スペシャルニーズデンティストリー(第2版)の要点を確認する	

